

平成30年6月26日

工事名称 平成30年度 石岡運動公園体育館改修工事

# 工 事 設 計 書

各 工 事 別 明 細 書

平成30年度 石岡運動公園体育館改修工事

(RC造)

¥ - (㎡当り ¥ -)

但し 建築面積 5076.54 ㎡ 延面積 5936.28 ㎡

内 訳

本工事費 一式 ¥ -

積算年月日 平成30年6月26日

本 工 事 費 内 訳 書							
番 号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	平成30年度 石岡運動公園体育館改修工事						
	総括表						
A	直接工事費		1.0	式			
	共通費		1.0	式			
	純工事		1.0	式			
	現場管理費		1.0	式			
	工事原価		1.0	式			
	一般管理費		1.0	式			
	工事価格		1.0	式			
	改め計						
	消費税相当額	8%	1.0	式			
	請負に対する額		1.0	式			

本 工 事 費 内 訳 書							
番 号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A	直接工事費						
I	建築工事		1.0	式			
II	電気設備工事		1.0	式			
III	機械設備工事		1.0	式			
	直接工事費計						

本 工 事 費 内 訳 書							
番 号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	◎ 共通仮設費内訳						
		敷地測量、敷地整理、仮設用借地料、現場事務所、仮囲い、工事用道路路、災害防止設備、安全管理・合図等の要員					
		動力用水費、工事用電気、水道料、試験調査費、建設機械器具等損料、管理清掃・養生費 等					
	◎ 現場管理費内訳						
		労務管理、租税公課、保険料、人件費(現場)、福利厚生費(現場)、事務用品費、交通通信費、補償費 等					
	◎ 一般管理費内訳						
		諸給与、法定福利費、福利厚生費、維持修繕費、事務用品費、交通通信費、動力用水光熱費、広告宣伝費、					
		原価償却費、租税公課、保険料、契約保障費 等					
	◎	本内訳書内の数量については、工事見積書作成のための参考資料であるから、請負者は図面を参照し再検討されたい。					
		工事にあたり、本書記載資料の不足が生じた場合は、請負者の負担で実施されたい。					

本 工 事 費 内 訳 書							
番号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	共通仮設費						
	共通仮設費	率	1.0	式			
	共通仮設積上げ						
	仮囲い	シート囲い H-2.0m 4ヶ月	417	m			
	キャスターゲート	W3.0×H1.8 4ヶ月	2	箇所			
	敷き鉄板	t22鋼板 7日	762	m2			
	交通誘導員B		90	日			
	交通誘導員B		17	日			
	VOC濃度測定	14品目	5	箇所			

本 工 事 費 内 訳 書							
番号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	事務室用発電機		1	式			
	小計						
	計						

様式第6号(建築工事用)

本 工 事 費 内 訳 書							
番号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	現場管理費						
	現場管理費	率	1.0	式			
	計						
	一般管理費						
	一般管理費	率	1.0	式			
	契約保障費		1.0	式			
	計						

様式6号(建築工事用)

本 工 事 費 内 訳 書							
番 号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	平成30年度石岡運動公園体育館改修工事						
A	直接工事費						
I	建築工事		1.0	式			
	合 計						

様式6号(建築工事用)

本 工 事 費 内 訳 書							
番 号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
I	体育館改修 建築工事						
1	既存床ワックス剥離、ワックス塗布新設。一部床仕上撤去・新設		1.0	式			
2	防火シャッター用安全装置設置		1.0	式			
3	1階玄関・ホール既存排煙オペレーター撤去、露出型ハンドル式新		1.0	式			
4	小体育館既存排煙オペレーター撤去、露出型ハンドル式新設		1.0	式			
5	1・2階男女トイレ便器撤去・新設		1.0	式			
6	1・2階男女トイレブース撤去・新設		1.0	式			
7	会議室壁仕上げビニルクロス張替え		1.0	式			
8	小体育館裏外部堅樋塗一部堅樋交換		1.0	式			
9	1階2階内部名称サイン		1.0				
10	産業廃棄物処分		1.0	式			
	計						

様式6号(建築工事に用)

本 工 事 費 内 訳 書							
番 号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
I	体育館改修 建築工事						
1	既存床ワックス剥離、ワックス塗布新設。一部床仕上撤去・新設						
	(内装工事)						
	1階ワックス剥離洗浄清掃ワックス塗布		338	m2			
	既存下足入れ取り外し再取付		1.0	式			
	床塩ビシート貼り	t-2.0	143	m2			
	同上ワックス塗布	樹脂ワックス塗布3回	143	m2			
	(仮設工事)						
	仕上墨出し	RC造	143	m2			
	竣工時清掃	RC造	143	m2			
	小計						

様式6号(建築工事用)

本 工 事 費 内 訳 書							
番 号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	防火シャッター用安全装置設置						
	(建具工事)						
	SS-1 既存防火シャッター安全装置	W2.265×H3.29 クロスタイプ°	1.0	箇所			
	同上取付工事費		1.0	箇所			
	SS-2 既存防火シャッター安全装置	W5.7×H2.4 パネルタイプ°	1.0	箇所			
	同上取付工事費		1.0	箇所			
	SS-3 既存防火シャッター安全装置	W2.03×H2.4 クロスタイプ°	2.0	箇所			
	同上取付工事費		2.0	箇所			
	小運搬費		4.0	箇所			
	試運転調整費		4.0	箇所			
	運搬費		1.0	式			
	廃材処分費		1.0	式			

様式6号(建築工事用)

本 工 事 費 内 訳 書							
番号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	(仮設工事)						
	床養生	仕上養生 RC造	25.1	m2			
	移動式足場	ローリングタワー H-3.29 30日	4.0	基			
	小計						

様式6号(建築工事用)

本 工 事 費 内 訳 書							
番 号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	1階玄関・ホール既存排煙オペレーター撤去、露出型ハンドル式新設						
	(建具工事)						
	交換オペレーター 露出型ハンドル式取付	既存排煙オペレーター撤去・処分共	1.00	式			
	(仮設工事)						
	床養生	仕上養生 RC造	9.00	m2			
	脚立足場	H-2.4m 並列 30日	9.00	m2			
	小計						

様式6号(建築工事用)

本 工 事 費 内 訳 書							
番号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	小体育館既存排煙オペレーター撤去、露出型ハンドル式新設						
	(建具工事)						
	交換オペレーター 露出型ハンドル式取付	8箇所 既存排煙オペレーター撤去・処分共	1.0	式			
	(木工事)						
	(材料費) 構造材 米椈平割り	特1等	0.07	m3			
	造作材 杉1等	上小節	0.08	m3			
	シナ合板	t-12	35.2	m2			
	(施工費) 胴縁組		35.2	m2			
	額縁	24×60	58.1	m			
	シナ合板	t-12 目透し張I類	35.2	m2			
	(塗装工事)						
	合板オイルステインクリアラッカー	B種 素地ごしらえ共	35.2	m2			
	額縁合成樹脂調合ペイント	B種 素地ごしらえ共	5.50	m2			

様式6号(建築工事用)

本 工 事 費 内 訳 書							
番 号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	(ユニット及びその他の工事)						
	床コンクリートコア抜き	φ16 H-170	8.00	箇所			
	(仮設工事)						
	床養生	ビニールテープ、専用シート及びベニヤ等	87.0	m2			
	枠組本足場	手摺先行方式 W900 90日	130	m2			
	同上運搬費		130	m2			
	安全手摺	枠組本足場用 90日	33.6	m			
	同上運搬費		33.6	m			
	枠組本足場(キヤットワーク部)	手摺先行方式 W600 90日	52.5	m2			
	同上運搬費		52.5	m2			
	安全手摺	枠組本足場用 90日	17.5	m			
	同上運搬費		17.5	m			
	(撤去工事)	積込み共					
	壁合板撤去	t-12	35.2	m2			

様式6号(建築工事用)

本 工 事 費 内 訳 書							
番号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	壁間柱・胴縁撤去		35.2	m2			
	小計						

様式6号(建築工事用)

本 工 事 費 内 訳 書							
番 号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	1・2階男女トイレ便器撤去・新設						
	(防水工事)						
	コンクリート面下地調整	ポリマーセメントペースト	4.81	m2			
	和風便器内ウレタン塗膜防水	t-3.0	4.81	m2			
	(左官工事)						
	床モルタル敷き		17.9	m2			
	床モルタル金鍍仕上	t-50 貼物下地	17.9	m2			
	(内装工事)						
	床塩ビシート貼り	t-2.5	22.7	m2			
	(和洋リモデル工法)						
	墨出し費		8.0	箇所			
	内部養生費		8.0	箇所			
	整理整頓費		8.0	箇所			
	既存和風便器・周囲床特殊カット	ダイヤモンドカッター共	8.0	箇所			

様式6号(建築工事用)

本 工 事 費 内 訳 書							
番 号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	既存床仕上げ材撤去		8.0	箇所			
	既存給水管処理		8.0	箇所			
	和洋リモデル工法	超速硬モルタル ワイヤーマッシュ共	8.0	箇所			
	(ユニット及びその他の工事)						
	床見切り材	SUS加工 t=10	25.8	m			
	(仮設工事)						
	床養生	仕上養生 RC造	22.70	m2			
	仕上墨出し	RC造	22.70	m2			
	竣工時清掃	RC造	33.0	m2			
	(撤去工事)	積込み共					
	床撤去部カッター入れ	D50	52.9	m			
	床撤去	タイル・下地モルタルD50	22.7	m2			
	スラブ穴埋め費		1.0	式			
	小計						

様式6号(建築工事用)

本 工 事 費 内 訳 書							
番 号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	1・2階男女トイレブース撤去・新設						
	(ユニット及びその他の工事)						
	トイレブース新設	TB-1 W4.21×D1.3(1.2)×H2.0	4.0	箇所			
	トイレブース新設	TB-2 W2.215×D1.2×H2.0	2.0	箇所			
	トイレブース新設	TB-3 W3.13×D1.2×H2.0	2.0	箇所			
	(仮設工事)						
	脚立足場	H-1.8並列 30日	32.9	m2			
	(撤去工事)	積込み共					
	トイレブース撤去	TB-1 W4.21×D0.98×H1.825	4.0	箇所			
	トイレブース撤去	TB-2 W2.215×D1.02×H1.825	2.0	箇所			
	トイレブース撤去	TB-3 W3.105×D1.06×H1.825	2.0	箇所			
	小計						

様式6号(建築工事用)

本 工 事 費 内 訳 書							
番 号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7	会議室壁仕上げビニルクロス張替え						
	(内装工事)						
	壁ビニルクロス貼		55.3	m <sup>2</sup>			
	幅木ソフト幅木貼	H-75	23.6	m			
	(仮設工事)						
	床養生	仕上養生 RC造	34.0	m <sup>2</sup>			
	脚立足場	H-1.8m並列 30日	34.0	m <sup>2</sup>			
	仕上墨出し	RC造	55.3	m <sup>2</sup>			
	竣工時清掃	RC造	55.3	m <sup>2</sup>			
	(撤去工事)	積込み共					
	既存壁ビニルクロス撤去		55.3	m <sup>2</sup>			
	既存幅木ソフト幅木撤去	H-75	23.6	m			
	小計						

様式6号(建築工事用)

本 工 事 費 内 訳 書							
番 号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8	小体育館裏外部堅樋塗一部堅樋交換						
	(防水工事)						
	外部堅樋新設	VP-100 φ100 支持金物共	8.00	m			
	(塗装工事)						
	同上耐候性塗料塗り	A-2種	2.51	m <sup>2</sup>			
	(仮設工事)						
	床養生	仕上養生 RC造	10.8	m <sup>2</sup>			
	枠組本足場	手摺先行方式 W900 60日	63.7	m <sup>2</sup>			
	同上運搬費		63.7	m <sup>2</sup>			
	安全手摺	60日	5.4	m			
	同上運搬費		5.4	m			
	ネット状養生シート貼	60日	82.6	m <sup>2</sup>			

様式6号(建築工事用)

本 工 事 費 内 訳 書							
番 号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	(撤去工事)	積込み共					
	外部既存縦樋撤去	VP-100 ø100	8.00	m			
	小計						

様式6号(建築工事用)

本 工 事 費 内 訳 書							
番号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
9	1階2階内部名称サイン						
	(ユニット及びその他の工事)						
	平付室名板(トイレ表示)	200×200 表示基板:t-0.5SUS304HL仕上UV印刷フレームベース:アルミ型材アルマイト仕上	2.0	箇所			
	平付室名板(室名表示)	200×200 表示基板:t-0.5SUS304HL仕上UV印刷フレームベース:アルミ型材アルマイト仕上	4.0	箇所			
	突出し室名板(室名表示)	272×78 表示基板:t-1.0樹脂板ケース:ポリカーネート成形板	5.0	箇所			
	サインデータ作成費		1.0	式			
	(撤去工事)						
	既存室名札撤去	200角 SUS製	6.0	箇所			
	既存室名札撤去	ポリカーボネート製	5.0	箇所			
	小計						

様式6号(建築工事用)

本 工 事 費 内 訳 書							
番 号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
10	産業廃棄物処分						
	廃材運搬費		2.0	台			
	廃材処分費		1.0	式			
	小計						

本 工 事 費 内 訳 書

番号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
Ⅱ	電気設備工事						
1	高圧受変電設備工事		1.0	式			
2	処分費		1.0	式			
3	トイレ改修コンセント設備工事		1.0	式			
	計						

## 本 工 事 費 内 訳 書

番号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	高圧受変電設備工事						
	ケーブル撤去	6kV CVT60sq(FEP内)	253.0	m			
	ケーブル撤去	6kV CVT60sq(管内)	4.0	m			
	ケーブル撤去	6kV CVT60sq(露出)	8.0	m			
	ケーブル撤去	CV-S2.0sq-12C(FEP内)	253.0	m			
	ケーブル	6kV EM-CET60sq(FEP内)	253.0	m			
	ケーブル	6kV EM-CET60sq(管内)	4.0	m			
	ケーブル	6kV EM-CET60sq(露出)	8.0	m			
	端末処理材撤去	屋外 6kV CVT60sq	1.0	組			
	端末処理材撤去	屋内 6kV CVT60sq	1.0	組			
	端末処理材	屋外 6kV CVT60sq	1.0	組			
	端末処理材	屋内 6kV CVT60sq	1.0	組			
	キュービクル撤去	5面体	1.0	面			
	キュービクル新設	3面体	1.0	面			
	高圧進相コンデンサー	100kVA	1.0	台			

本 工 事 費 内 訳 書

番号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	直列リアクトル	100kVA用	1.0	台			
	高圧進相コンデンサー撤去	50kVA	3.0	台			
	直列リアクトル撤去	50kVA用	3.0	台			
	ラフタークレーン車使用料	25t(オペレーター付)	1.0	日			
	高所作業車使用料	トラック架装リフト 13~14m	1.0	日			
	PCB含有試験費		8.0	ヶ所			
	小 計						



## 本 工 事 費 内 訳 書

番号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	トイレ改修コンセント設備工事						
	ケーブル	EM-EEF2.0-2C(天井内)	24.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0-2C(モール内)	16.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0-3C(天井内)	100.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0-3C(モール内)	33.0	m			
	メタルモール	A型	16.0	m			
	メタルモール	B型	33.0	m			
	埋込コンセント	2P15A*2(新金属プレート)	8.0	個			
	埋込コンセント	2P15A*1 ET付(新金属プレート)	12.0	個			
	埋込コンセント撤去	2P15A*2(新金属プレート)	2.0	個			
	メタルモールコーナーボックス	A型	8.0	個			
	メタルモースイッチボックス	1個用	20.0	個			
	メタルモールジャンクションボックス	B型	2.0	個			
	小 計						

本 工 事 費 内 訳 書							
番 号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	平成29年度 石岡運動公園体育館改修工事						
Ⅲ	機械設備工事						
1	衛生器具設備工事		1.0	式			
2	給水設備		1.0	〃			
3	排水設備工事		1.0	〃			
4	換気設備工事		1.0	〃			
5	撤去工事		1.0	〃			
6	発生材処分		1.0	〃			
	計						

本 工 事 費 内 訳 書							
番 号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	衛生器具設備工事						
	フラッシュタンク式洋風大便器	CFS497BMC 掃除口付、	11.0	組			
		ウォシュレット(擬音装置付)、 棚付二連紙巻器(YH702)、					
		他付属品一式					
	〃	CFS497BMC 掃除口付、ウォシュレット、	8.0	〃			
		棚付二連紙巻器(YH702)、 他付属品一式					
	冷水器取外し・復旧費		1.0	台			
	小計						

本 工 事 費 内 訳 書

番号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	給水設備						
	(中水系統) 水道用硬質塩ビライニング鋼管	(機械室・便所) VB20	19.0	m			
	(上水系統) 水道用硬質塩ビライニング鋼管	(機械室・便所) VB20	105.0	〃			
	保温工事		1.0	式			
	止水栓取外し・復旧費		1.0	〃			
	配管切断・接続費		1.0	〃			
	小計						

本 工 事 費 内 訳 書

番号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	排水設備工事						
	硬質塩化ビニル管	(機械室・便所) VP75	7.0	m			
	耐火二層管	(機械室・便所) TMP75	1.0	〃			
	床上掃除口	COB 100	1.0	個			
	配管切断・接続費		1.0	式			
	はつり補修費		1.0	〃			
	小計						

本 工 事 費 内 訳 書

番号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	換気設備工事						
	FV-1 有圧換気扇	低騒音形 能力:250Φ×1000CMH×20Pa	2.0	台			
	有圧扇電動式シャッター	250φ用	2.0	個			
	小計						

本 工 事 費 内 訳 書							
番号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	撤去工事						
	衛生器具類撤去費		1.0	式			
	配管類撤去費		1.0	〃			
	配管保温材撤去費		1.0	〃			
	配管撤去用はつり		1.0	〃			
	換気扇・付属品撤去費		1.0	〃			
	小計						

本 工 事 費 内 訳 書							
番 号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	発生材処分						
	撤去材処分費	(金属類)収集運搬費共	1.0	式			
	〃	(混合廃棄物)収集運搬費共	1.0	〃			
	小計						

# 平成30年度 石岡運動公園体育館改修工事 設計図

平成30年

(有)クボタ建築設計事務所





3 防 水 改 修 工 事	9. ルーフドレイン	※ 鋳鉄製 ※ 縦型 ・ 横型	<3.8.2><表3.8.2>	4 外 壁 改 修 工 事	3. 浮き部改修	・ モルタル塗り仕上げ	<4.4.4><4.4.8~15>		
	10. アルミニウム製笠木	部材の種類 ・ 押出 250形 ・ 押出 300形 ・ 押出 350形 ・ 板材折曲げ形 付属部品の材料、角各部並びに突当り部等の役物は、笠木本体製作所の仕様による。 表面処理 ※ B-1種 ・ B-2種	<3.9.2><表3.9.1>		4. 外壁改修工事	・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充てん工法	1箇所 の面積 (mm)	浮き代 (mm)	アンカーピン (本/m)
4 外 壁 改 修 工 事	11. 防水保証	アスファルト防水、改質アスファルトシート防水及び合成高分子系ルーフィングシート防水の保証期間は、引渡しの日から10年間とし、メーカー・施工業者との連名の上、保証書を提出する。 塗膜防水及びケイ酸質系塗布防水については、メーカー・施工業者が通常定めている期間とし、保証書を作成し提出する。	<3.9.2><表5.2.2>	4 外 壁 改 修 工 事	4. 外壁改修工事	・ モルタル塗り仕上げ	<4.4.5~7>		
	1. ひび割れ部改修	・ コンクリート打放し仕上げ 工 法 材 料	<4.3.4~6>		4. 外壁改修工事	・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充てん工法	1箇所 の面積 (mm)	浮き代 (mm)	アンカーピン (本/m)
2 欠 損 部 改 修	2. 欠損部改修	・ モルタル塗り仕上げ 工 法 材 料	<4.3.4~6>	2 欠 損 部 改 修	4. 外壁改修工事	・ タイル張り仕上げ	<4.5.5~8><4.5.16>		
	1. ひび割れ部改修	※ シール工法 ※ 樹脂注入工法 ※ Uカットシール材充てん工法	<4.3.4~6>		4. 外壁改修工事	・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充てん工法	1箇所 の面積 (mm)	浮き代 (mm)	アンカーピン (本/m)
2 欠 損 部 改 修	2. 欠損部改修	・ モルタル塗り仕上げ 工 法 材 料	<4.3.4~6>	2 欠 損 部 改 修	4. 外壁改修工事	・ タイル張り仕上げ	<4.5.5~8><4.5.16>		
	1. ひび割れ部改修	※ シール工法 ※ 樹脂注入工法 ※ Uカットシール材充てん工法	<4.3.4~6>		4. 外壁改修工事	・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充てん工法	1箇所 の面積 (mm)	浮き代 (mm)	アンカーピン (本/m)

3 防 水 改 修 工 事	9. ルーフドレイン	※ 鋳鉄製 ※ 縦型 ・ 横型	<3.8.2><表3.8.2>	4 外 壁 改 修 工 事	3. 浮き部改修	・ モルタル塗り仕上げ	<4.4.4><4.4.8~15>		
	10. アルミニウム製笠木	部材の種類 ・ 押出 250形 ・ 押出 300形 ・ 押出 350形 ・ 板材折曲げ形 付属部品の材料、角各部並びに突当り部等の役物は、笠木本体製作所の仕様による。 表面処理 ※ B-1種 ・ B-2種	<3.9.2><表3.9.1>		4. 外壁改修工事	・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充てん工法	1箇所 の面積 (mm)	浮き代 (mm)	アンカーピン (本/m)
4 外 壁 改 修 工 事	11. 防水保証	アスファルト防水、改質アスファルトシート防水及び合成高分子系ルーフィングシート防水の保証期間は、引渡しの日から10年間とし、メーカー・施工業者との連名の上、保証書を提出する。 塗膜防水及びケイ酸質系塗布防水については、メーカー・施工業者が通常定めている期間とし、保証書を作成し提出する。	<3.9.2><表5.2.2>	4 外 壁 改 修 工 事	4. 外壁改修工事	・ モルタル塗り仕上げ	<4.4.5~7>		
	1. ひび割れ部改修	・ コンクリート打放し仕上げ 工 法 材 料	<4.3.4~6>		4. 外壁改修工事	・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充てん工法	1箇所 の面積 (mm)	浮き代 (mm)	アンカーピン (本/m)
2 欠 損 部 改 修	2. 欠損部改修	・ モルタル塗り仕上げ 工 法 材 料	<4.3.4~6>	2 欠 損 部 改 修	4. 外壁改修工事	・ タイル張り仕上げ	<4.5.5~8><4.5.16>		
	1. ひび割れ部改修	※ シール工法 ※ 樹脂注入工法 ※ Uカットシール材充てん工法	<4.3.4~6>		4. 外壁改修工事	・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充てん工法	1箇所 の面積 (mm)	浮き代 (mm)	アンカーピン (本/m)

5 建 具 改 修 工 事	8. 木製建具	塗膜の劣化部の除去工法 ・ サンダー工法 ※ 既存仕上全体 ・ 高圧水洗工法 ・ 塗膜はく離剤工法 ・ 水洗い工法	処 理 範 囲 <4.6.3>	5 建 具 改 修 工 事	5. 建具改修工事	1. 一般事項	改修工法 ・ かぶせ工法 ・ 撤去工法 新規建具周囲の補修方法及び範囲は図示による。	<5.1.3>
	9. 建具用金物	・ 金物の種類 ・ シリンダー箱錠 ・ 本締り付きモノロック ・ モノロック ・ シリンダー本締り錠 ・ グレモン錠 ・ ドアクローザー ・ フロアヒンジ ・ ヒンジクローザー ・ ビレットヒンジ ・ レバーハンドル	型 式 製 造 所		5. 建具改修工事	2. アルミニウム製建具	1. 一般事項	改修工法 ・ かぶせ工法 ・ 撤去工法 新規建具周囲の補修方法及び範囲は図示による。
5 建 具 改 修 工 事	8. 木製建具	塗膜の劣化部の除去工法 ・ サンダー工法 ※ 既存仕上全体 ・ 高圧水洗工法 ・ 塗膜はく離剤工法 ・ 水洗い工法	処 理 範 囲 <4.6.3>	5 建 具 改 修 工 事	5. 建具改修工事	1. 一般事項	改修工法 ・ かぶせ工法 ・ 撤去工法 新規建具周囲の補修方法及び範囲は図示による。	<5.1.3>
	9. 建具用金物	・ 金物の種類 ・ シリンダー箱錠 ・ 本締り付きモノロック ・ モノロック ・ シリンダー本締り錠 ・ グレモン錠 ・ ドアクローザー ・ フロアヒンジ ・ ヒンジクローザー ・ ビレットヒンジ ・ レバーハンドル	型 式 製 造 所		5. 建具改修工事	2. アルミニウム製建具	1. 一般事項	改修工法 ・ かぶせ工法 ・ 撤去工法 新規建具周囲の補修方法及び範囲は図示による。
5 建 具 改 修 工 事	8. 木製建具	塗膜の劣化部の除去工法 ・ サンダー工法 ※ 既存仕上全体 ・ 高圧水洗工法 ・ 塗膜はく離剤工法 ・ 水洗い工法	処 理 範 囲 <4.6.3>	5 建 具 改 修 工 事	5. 建具改修工事	1. 一般事項	改修工法 ・ かぶせ工法 ・ 撤去工法 新規建具周囲の補修方法及び範囲は図示による。	<5.1.3>
	9. 建具用金物	・ 金物の種類 ・ シリンダー箱錠 ・ 本締り付きモノロック ・ モノロック ・ シリンダー本締り錠 ・ グレモン錠 ・ ドアクローザー ・ フロアヒンジ ・ ヒンジクローザー ・ ビレットヒンジ ・ レバーハンドル	型 式 製 造 所		5. 建具改修工事	2. アルミニウム製建具	1. 一般事項	改修工法 ・ かぶせ工法 ・ 撤去工法 新規建具周囲の補修方法及び範囲は図示による。

5 建 具 改 修 工 事	8. 木製建具	塗膜の劣化部の除去工法 ・ サンダー工法 ※ 既存仕上全体 ・ 高圧水洗工法 ・ 塗膜はく離剤工法 ・ 水洗い工法	処 理 範 囲 <4.6.3>	5 建 具 改 修 工 事	5. 建具改修工事	1. 一般事項	改修工法 ・ かぶせ工法 ・ 撤去工法 新規建具周囲の補修方法及び範囲は図示による。	<5.1.3>
	9. 建具用金物	・ 金物の種類 ・ シリンダー箱錠 ・ 本締り付きモノロック ・ モノロック ・ シリンダー本締り錠 ・ グレモン錠 ・ ドアクローザー ・ フロアヒンジ ・ ヒンジクローザー ・ ビレットヒンジ ・ レバーハンドル	型 式 製 造 所		5. 建具改修工事	2. アルミニウム製建具	1. 一般事項	改修工法 ・ かぶせ工法 ・ 撤去工法 新規建具周囲の補修方法及び範囲は図示による。
5 建 具 改 修 工 事	8. 木製建具	塗膜の劣化部の除去工法 ・ サンダー工法 ※ 既存仕上全体 ・ 高圧水洗工法 ・ 塗膜はく離剤工法 ・ 水洗い工法	処 理 範 囲 <4.6.3>	5 建 具 改 修 工 事	5. 建具改修工事	1. 一般事項	改修工法 ・ かぶせ工法 ・ 撤去工法 新規建具周囲の補修方法及び範囲は図示による。	<5.1.3>
	9. 建具用金物	・ 金物の種類 ・ シリンダー箱錠 ・ 本締り付きモノロック ・ モノロック ・ シリンダー本締り錠 ・ グレモン錠 ・ ドアクローザー ・ フロアヒンジ ・ ヒンジクローザー ・ ビレットヒンジ ・ レバーハンドル	型 式 製 造 所		5. 建具改修工事	2. アルミニウム製建具	1. 一般事項	改修工法 ・ かぶせ工法 ・ 撤去工法 新規建具周囲の補修方法及び範囲は図示による。
5 建 具 改 修 工 事	8. 木製建具	塗膜の劣化部の除去工法 ・ サンダー工法 ※ 既存仕上全体 ・ 高圧水洗工法 ・ 塗膜はく離剤工法 ・ 水洗い工法	処 理 範 囲 <4.6.3>	5 建 具 改 修 工 事	5. 建具改修工事	1. 一般事項	改修工法 ・ かぶせ工法 ・ 撤去工法 新規建具周囲の補修方法及び範囲は図示による。	<5.1.3>
	9. 建具用金物	・ 金物の種類 ・ シリンダー箱錠 ・ 本締り付きモノロック ・ モノロック ・ シリンダー本締り錠 ・ グレモン錠 ・ ドアクローザー ・ フロアヒンジ ・ ヒンジクローザー ・ ビレットヒンジ ・ レバーハンドル	型 式 製 造 所		5. 建具改修工事	2. アルミニウム製建具	1. 一般事項	改修工法 ・ かぶせ工法 ・ 撤去工法 新規建具周囲の補修方法及び範囲は図示による。

5 建具 改修 工事	14. ガラス	ガラスの留め材 ※ シーリング ・ ガスケット (可動アルミ製建具に限る) 防火戸のガラスの留め材は建築基準法の認定を受けたシーリング材とする。 ガラスの溝幅については、〈表5.13.1〉による。ただし強化ガラス、合わせガラス及び倍強度ガラスの溝幅は図示による。 複層ガラスの保証期間は引き渡し日から10年間とし、メーカー保証書を提出する。										
	15. ガラスブロック(中空)	表面形状 (JIS A5212) <table border="1"> <tr> <th>モジュール呼び寸法による区分 (長さ×高さ)</th> <th>厚さによる区分</th> </tr> <tr> <td>正方形</td> <td>125×125 ・ 160×160</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td></td> <td>200×200 ・ 320×320</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>長方形</td> <td>250×125 ・ 320×160</td> <td>125</td> </tr> </table>	モジュール呼び寸法による区分 (長さ×高さ)	厚さによる区分	正方形	125×125 ・ 160×160	80		200×200 ・ 320×320	95	長方形	250×125 ・ 320×160
モジュール呼び寸法による区分 (長さ×高さ)	厚さによる区分											
正方形	125×125 ・ 160×160	80										
	200×200 ・ 320×320	95										
長方形	250×125 ・ 320×160	125										

6 内装 改修 工事	14. ビニル床 タイル・ビニル 床シートの特 殊機能	帯電防止 ・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 1.2~3.1程度 又は耐電圧 (JIS L 1023)3kV以下 ・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 3.2~5.1程度 又は漏えい抵抗値 (JIS A 1454) 1×10 <sup>10</sup> オーム未満 ・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 5.2以上 又は漏えい抵抗値 (JIS A 1454) 1×10 <sup>7</sup> オーム未満 耐動荷重 JIS A 1454によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、層間剥離強度試験(発泡層のあるビニルシートのみ)およびキャスター性試験等の試験後異常がないこと。
	15. 視覚障害者用 床タイル	材質 ・ 塩化ビニル系 ・ セッター質タイル系 寸法 (mm) 300×300

6 内装 改修 工事	22. 遮音シール材 ⑳ 壁紙張り	・ アクリル系シーリング材 ※ ジョイントコンパウンド 〈6.13.2〉							
	24. タイル張り	タイルの種類 JIS A 5209のJIS表示認証製品 施工箇所 形状寸法 (mm) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形状寸法 (mm)</th> <th>施工箇所</th> <th>形状寸法 (mm)</th> </tr> <tr> <td>1階 会議室</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	形状寸法 (mm)	施工箇所	形状寸法 (mm)	1階 会議室		
施工箇所	形状寸法 (mm)	施工箇所	形状寸法 (mm)						
1階 会議室									

塗装の種類	塗装面	工程	
		塗替え	新規
・合成樹脂 エマルジョン 模様塗料塗り (EP-T)	屋内のコンクリート面、珪藻土面、 フラスコ面、せっこうボード面、 木材等	・ A種 ※B種 ・ C種 (改7.11.2)	・ A種 ・ B種 (改7.11.2)
・ウレタン樹脂 ワニス塗り (UC)	木部	・ A種 ※B種 (改7.12.2)	・ A種 ※B種 (改7.12.2)
○クリアラッカー 塗り (CL)	木部	・ A種 ※B種 (改7.5.2)	・ A種 ※B種 (改7.5.2)
○オイルステイン 塗り (OS)	木部	(改7.14.2)	(改7.14.2)
・木材保護塗料 塗り (WP)	木部	・ A種 ※B種 (改7.15.2)	・ A種 ※B種 (改7.15.2)
合成樹脂調合ペイント塗りの塗料の種類別		※1種 (改7.4.2)	

6 内装 改修 工事	① 改修範囲	既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ○ 図示の範囲 天井の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※ 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ○ 図示の範囲 天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※ 既存のまま ○ 図示の範囲				
	② 既存床の撤去 ・下地補修	合成樹脂塗床の除去方法 ・ 目荒工法 ・ 機械的除去工法				
	③ 改修後の 床の清掃範囲	○ 当該室全体 ○ 図示の範囲				
	4. 既存壁の撤去 ・下地補修	間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修方法 ※ 〈4.4.9〉による ( )				
	⑤ 木 材	表面仕上げの程度 ・ A種 ・ B種 ・ C種 含水率 下地材 ※ A種 ・ B種 造作材 ※ A種 ・ B種 造作材の材面の品質 ※ A種 ・ B種 代用樹種を使用しない箇所 ※ なし ・ あり ( )				
	6. 集成材	造作用集成材は〈6.5.2(c)(ii)〉による 見付け材面等 <table border="1"> <tr> <th>JASによる集成材</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>※ 1等</td> <td>※ JAS集成材1等同等</td> </tr> </table>	JASによる集成材	その他	※ 1等	※ JAS集成材1等同等
	JASによる集成材	その他				
	※ 1等	※ JAS集成材1等同等				
	7. 床張り用合板	床下貼り用合板 (12.2.1) ※ JASの構造用合板 特類 2等以上 C-D以上 ( )				
	8. 防菌・防蟻 ・防虫処理	薬剤の加圧注入による防菌・防蟻処理 適用部位 ( ) 保存処理性能区分 ・ K2 ・ K3 ・ K4 薬剤の加圧注入処理を行ったのち、現場における加工、切断、孔あけ等を行った箇所は、現場にて薬剤の塗布等による防菌・防蟻処理を行う。 防虫処理 ラワン材 保存処理性能区分 ※ K1				
9. 軽量鉄骨 壁下地材	野縁などの種類 屋内 ※ 19型 ・ 25型 (室名: ) 屋外 ・ 19型 ※ 25型 インサート ・ 既存インサートを使用する ・ あと施工アンカーを設ける あと施工アンカーの引抜き試験 ※ 行わない ・ 行う (補強方法及補強箇所は図示による)					
10. 軽量鉄骨 壁下地材	耐震性を考慮した補強 ※ 行わない ・ 行う (補強方法及補強箇所は図示による) 耐風圧性を考慮した補強 (ピロティ、屋外軒天井等) ※ 行わない ・ 行う (補強方法及補強箇所は図示による)					

6 内装 改修 工事	16. ビニル幅木	材質 ・ 塩化ビニル系 ・ セッター質タイル系 寸法 (mm) 300×300																																													
	17. カーペット 敷き	材質 ・ タフテッドカーペット 施工箇所 バイル形状 バイル長さ (mm) 工 法 品質 帯電性 ※ 全面接着工法 ・ グリッパー工法による																																													
	18. 合成樹脂塗床	材料の種類 ・ 厚膜型塗床材 ・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材 ・ エポキシ樹脂系塗床材 ・ 薄膜型塗床材 (エポキシ樹脂系塗床材)																																													
	19. フローリング 張り	仕上の種類 ・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ 単層フローリング <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>樹種</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>工 法</th> <th>塗装</th> </tr> <tr> <td>・ フローリング</td> <td>※ナラ</td> <td>※15 幅 75</td> <td>・ 釘止め工法</td> <td>※ウレタン樹脂</td> </tr> <tr> <td>・ ボード</td> <td>・ A種</td> <td>長さ500以上</td> <td>・ 接着工法</td> <td>ワニス塗り</td> </tr> <tr> <td>・ フローリング</td> <td>※ナラ</td> <td>※15 303×303</td> <td>・ モルタル</td> <td>・ オイルステ</td> </tr> <tr> <td>・ ブロック</td> <td>・ B種</td> <td></td> <td>埋込み工法</td> <td>塗りの上</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 接着工法</td> <td>ワックス</td> </tr> <tr> <td>・ モザイク</td> <td>※ナラ</td> <td>・ 6 ・ 8 ・ 9</td> <td>・ 接着工法</td> <td>・ 生地のまま</td> </tr> <tr> <td>・ パーケット</td> <td>・ C種</td> <td></td> <td></td> <td>ワックス</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 既塗装品</td> </tr> </table>	種 別	樹種	厚さ (mm)	工 法	塗装	・ フローリング	※ナラ	※15 幅 75	・ 釘止め工法	※ウレタン樹脂	・ ボード	・ A種	長さ500以上	・ 接着工法	ワニス塗り	・ フローリング	※ナラ	※15 303×303	・ モルタル	・ オイルステ	・ ブロック	・ B種		埋込み工法	塗りの上				・ 接着工法	ワックス	・ モザイク	※ナラ	・ 6 ・ 8 ・ 9	・ 接着工法	・ 生地のまま	・ パーケット	・ C種			ワックス					・ 既塗装品
	種 別	樹種	厚さ (mm)	工 法	塗装																																										
	・ フローリング	※ナラ	※15 幅 75	・ 釘止め工法	※ウレタン樹脂																																										
	・ ボード	・ A種	長さ500以上	・ 接着工法	ワニス塗り																																										
	・ フローリング	※ナラ	※15 303×303	・ モルタル	・ オイルステ																																										
	・ ブロック	・ B種		埋込み工法	塗りの上																																										
				・ 接着工法	ワックス																																										
・ モザイク	※ナラ	・ 6 ・ 8 ・ 9	・ 接着工法	・ 生地のまま																																											
・ パーケット	・ C種			ワックス																																											
				・ 既塗装品																																											
20. 畳敷き	畳の種類 ・ A種 ・ B種 ※ C種 ・ D種 ( )																																														
㉑ 石こうボード その他ボード 張り	種類又は記号 種類など 厚 さ (mm) 規格番号 けい酸カルシウム板 (繊維強化セメント板) 0.8FK又は1.0FK 壁 ・ 8(不燃) ・ 10(不燃) ・ 12(不燃) JIS A 5430 (タイP2) 天井 ・ 6(不燃) ・ 12(不燃)																																														
	グラスウール 吸音ボード (吸音材料) GW-B ガラスクロス (JIS A 3414 EP18程度) 線縁張り品 普通 ※ 9(不燃) ・ 12(不燃) JIS A 6301 (32K) ロックウール 化粧吸音板 (吸音材料) DR ※ 内部用 ・ 軒天用 立休 模様 ※ 9(不燃) ・ 12(不燃) ・ 15(不燃) ・ 19(不燃) JIS A 6301																																														
	せっこうボード (せっこうボード製品) GB-R 壁 ・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃) ・ 15(不燃) JIS A 6901 天井 ・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)																																														
	シーリング せっこうボード (せっこうボード製品) GB-S 壁 12.5(準不燃) JIS A 6901 天井 9.5(準不燃) ※12.5(準不燃)																																														
	化粧せっこうボード (せっこうボード製品) GB-NC トラバーチン模様 色 ※白 壁 ・ 9.5(不燃) JIS A 6901 天井 9.5(不燃) ※12.5(不燃)																																														
	化粧せっこうボード (せっこうボード製品) GB-NC トラバーチン模様 色 ※白 壁 ・ 9.5(不燃) JIS A 6901 天井 9.5(不燃) ※12.5(不燃)																																														

6 内装 改修 工事	7. 防火材料	※ 屋内の壁及び天井の仕上げは、建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるものとする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。 ( ) 建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量 ※ F☆☆☆☆ ・ F☆☆☆																																								
	2. 下地調整	下地の種類 下地調整の種類 備考 木部 ・ RA種 (※RB種) 鉄鋼面 ・ RA種 (※RB種) 垂鉛めつき面 (鋼製建具) ・ RA種 (※RB種) 垂鉛めつき面 (鋼製建具) ※RB種 ・ RC種 モルタル面及びプラスチック面 ・ RA種 (※RB種) コンクリート及びALCパネル面 ・ RA種 (※RB種) (2-UE), (2-ASE) び (2-FUE)は除く																																								
	3. 錆止め塗料塗り	既存モルタル下地面等のひび割れ部の補修 (改表7.2.5~6) ※ 行わない ○ 行う (補修範囲及び補修方法は図示)																																								
	4. 塗料塗り	塗料種類 鉄鋼面錆止め塗料 EP-G以外 ※A種 鉛・クロムフリー錆止めペイント1種 ※B種 EP-G ※C種 垂鉛めつき面錆止め塗料 EP-G以外 ※A種 ・ B種 EP-G ※C種																																								
	塗装の種類	<table border="1"> <tr> <th>塗装の種類</th> <th>塗装面</th> <th>塗替え</th> <th>工程</th> </tr> <tr> <td rowspan="5">・合成樹脂調合 ペイント塗り (SOP)</td> <td>木部 (外部)</td> <td>※B種 (改7.4.3)</td> <td>※A種 (改7.4.3)</td> </tr> <tr> <td>木部 (内部)</td> <td>※B種 (改7.4.3)</td> <td>※B種 (改7.4.3)</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種 (改7.4.4)</td> <td>※A種 ・ B種 (改7.4.4)</td> </tr> <tr> <td>垂鉛めつき鋼面</td> <td>※B種 (改7.4.5)</td> <td>※B種 (改7.4.5)</td> </tr> <tr> <td>鋼製建具</td> <td>※A種 (改7.4.5)</td> <td>※B種 (改7.4.5)</td> </tr> <tr> <td>・フタル酸樹脂 エナメル塗り (FE)</td> <td>屋内木部 鉄鋼面 垂鉛めつき鋼面</td> <td>※A種 (改7.6.2) ※A種 (改7.6.3) ※A種 (改7.6.3)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・アクリル樹脂系 水分散系塗料 塗り (NAD)</td> <td>屋内のコンクリート面、モルタル面</td> <td>※B種 (改7.7.2)</td> <td>※B種 (標18.6.2)</td> </tr> <tr> <td>・耐候性塗料塗り (DP)</td> <td>鉄鋼面 上塗り ・ 1級 (フッ素樹脂塗料) ・ 2級 (7/10シリコン樹脂塗料) ・ 3級 (シリコン樹脂塗料) (改7.8.2) 垂鉛めつき鋼面 上塗り ・ 1級 (フッ素樹脂塗料) ・ 2級 (7/10シリコン樹脂塗料) ・ 3級 (シリコン樹脂塗料) (改7.8.3) コンクリート面</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種 (改7.8.2) ・ A種 ・ B種 ・ C種 (改7.8.3)</td> <td>※A種 (改7.8.2) ※A種 (改7.8.3)</td> </tr> <tr> <td>・つや有り 合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り (EP-G)</td> <td>屋内木部 屋内鉄鋼面 屋内垂鉛めつき鋼面</td> <td>※B種 (改7.9.3) ※B種 (改7.9.4) ※B種 (改7.9.5)</td> <td>※A種 (改7.9.3) ※A種 ・ B種 (改7.9.4) ※A種 ・ B種 (改7.9.5)</td> </tr> <tr> <td>・合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り (EP)</td> <td>塗装面 コンクリート面 モルタル面 プラスター面 せっこうボード面</td> <td>※B種 (改7.10.2) ※B種 (改7.10.2) ※B種 (改7.10.2) ※B種 (改7.10.2)</td> <td>・ A種 ・ B種 (改7.10.2) ・ A種 ・ B種 (改7.10.2) ・ A種 ・ B種 (改7.10.2) ・ A種 ・ B種 (改7.10.2)</td> </tr> </table>	塗装の種類	塗装面	塗替え	工程	・合成樹脂調合 ペイント塗り (SOP)	木部 (外部)	※B種 (改7.4.3)	※A種 (改7.4.3)	木部 (内部)	※B種 (改7.4.3)	※B種 (改7.4.3)	鉄鋼面	※B種 (改7.4.4)	※A種 ・ B種 (改7.4.4)	垂鉛めつき鋼面	※B種 (改7.4.5)	※B種 (改7.4.5)	鋼製建具	※A種 (改7.4.5)	※B種 (改7.4.5)	・フタル酸樹脂 エナメル塗り (FE)	屋内木部 鉄鋼面 垂鉛めつき鋼面	※A種 (改7.6.2) ※A種 (改7.6.3) ※A種 (改7.6.3)		・アクリル樹脂系 水分散系塗料 塗り (NAD)	屋内のコンクリート面、モルタル面	※B種 (改7.7.2)	※B種 (標18.6.2)	・耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面 上塗り ・ 1級 (フッ素樹脂塗料) ・ 2級 (7/10シリコン樹脂塗料) ・ 3級 (シリコン樹脂塗料) (改7.8.2) 垂鉛めつき鋼面 上塗り ・ 1級 (フッ素樹脂塗料) ・ 2級 (7/10シリコン樹脂塗料) ・ 3級 (シリコン樹脂塗料) (改7.8.3) コンクリート面	・ A種 ・ B種 ・ C種 (改7.8.2) ・ A種 ・ B種 ・ C種 (改7.8.3)	※A種 (改7.8.2) ※A種 (改7.8.3)	・つや有り 合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り (EP-G)	屋内木部 屋内鉄鋼面 屋内垂鉛めつき鋼面	※B種 (改7.9.3) ※B種 (改7.9.4) ※B種 (改7.9.5)	※A種 (改7.9.3) ※A種 ・ B種 (改7.9.4) ※A種 ・ B種 (改7.9.5)	・合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り (EP)	塗装面 コンクリート面 モルタル面 プラスター面 せっこうボード面	※B種 (改7.10.2) ※B種 (改7.10.2) ※B種 (改7.10.2) ※B種 (改7.10.2)	・ A種 ・ B種 (改7.10.2)
	塗装の種類	塗装面	塗替え	工程																																						
	・合成樹脂調合 ペイント塗り (SOP)	木部 (外部)	※B種 (改7.4.3)	※A種 (改7.4.3)																																						
		木部 (内部)	※B種 (改7.4.3)	※B種 (改7.4.3)																																						
		鉄鋼面	※B種 (改7.4.4)	※A種 ・ B種 (改7.4.4)																																						
		垂鉛めつき鋼面	※B種 (改7.4.5)	※B種 (改7.4.5)																																						
鋼製建具		※A種 (改7.4.5)	※B種 (改7.4.5)																																							
・フタル酸樹脂 エナメル塗り (FE)	屋内木部 鉄鋼面 垂鉛めつき鋼面	※A種 (改7.6.2) ※A種 (改7.6.3) ※A種 (改7.6.3)																																								
・アクリル樹脂系 水分散系塗料 塗り (NAD)	屋内のコンクリート面、モルタル面	※B種 (改7.7.2)	※B種 (標18.6.2)																																							
・耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面 上塗り ・ 1級 (フッ素樹脂塗料) ・ 2級 (7/10シリコン樹脂塗料) ・ 3級 (シリコン樹脂塗料) (改7.8.2) 垂鉛めつき鋼面 上塗り ・ 1級 (フッ素樹脂塗料) ・ 2級 (7/10シリコン樹脂塗料) ・ 3級 (シリコン樹脂塗料) (改7.8.3) コンクリート面	・ A種 ・ B種 ・ C種 (改7.8.2) ・ A種 ・ B種 ・ C種 (改7.8.3)	※A種 (改7.8.2) ※A種 (改7.8.3)																																							
・つや有り 合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り (EP-G)	屋内木部 屋内鉄鋼面 屋内垂鉛めつき鋼面	※B種 (改7.9.3) ※B種 (改7.9.4) ※B種 (改7.9.5)	※A種 (改7.9.3) ※A種 ・ B種 (改7.9.4) ※A種 ・ B種 (改7.9.5)																																							
・合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り (EP)	塗装面 コンクリート面 モルタル面 プラスター面 せっこうボード面	※B種 (改7.10.2) ※B種 (改7.10.2) ※B種 (改7.10.2) ※B種 (改7.10.2)	・ A種 ・ B種 (改7.10.2)																																							
8. 鉄筋の種類	規格名称 種類の記号 径 (mm) 鉄筋コンクリート用棒鋼 ※ SD295A ※ D16以下 ・ ※ SD345 ※ D19以上																																									
9. 溶接金網	※ JIS G 3551のJIS表示認証製品 線径 (mm) 6.0 × 網目 (mm) 100																																									
10. 鉄筋の継手	径 19mm 以上 ※ ガス圧接 ○ 重ね継手																																									
11. 柱の帯筋	○ 図示																																									
12. 圧接完了後の 抜取試験	試験方法 ※ 超音波探傷試験 ・ 引張り試験																																									

8 1 2 耐 震 改 修 工 事 ( コ ン ク リ ー ト 工 事 )	① 設計基準強度	普通コンクリート (N/mm <sup>2</sup> ) 設計基準強度 適用箇所 ※ 21 コンクリート立上り
	② レディー ミクスト コンクリート	種類 ※ I類 ・ II類
	3. 打放し 仕上げの種類	種 別 適用 箇所 ・ A種 ・ B種 ・ C種
	4. セメントの 種類	※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種
	5. 骨 材	細骨材の塩分含有量 (NaCl換算) ※ 0.04 %wt 以下
	6. 混和材料	混和剤 ※ AE剤又はAE減水剤標準形I種
	7. 軽量 コンクリート	種 別 適用 箇所 気乾単位容積質量 (t/m <sup>3</sup> )

8-1-2	耐震改修工事（コンクリート工事）	8. 無筋コンクリート 適用箇所は(6.14.1)によるほか、下記による。 (6.14.1)	9-1-1 環アスベスト配付	1. 一般事項
9.	グラウト材	無収縮グラウト材は、製造所で調合された材料を使用する。 圧縮強度(N/mm <sup>2</sup> ): 30以上 コンステンションJ14: ロート値(秒) 6~10 乾燥収縮(×10 <sup>-4</sup> ): 0	環アスベスト配付	
10.	柱底等の均しモルタル	無収縮モルタル材 使用する 使用しない	環アスベスト配付	
11.	型枠	せき板の種類 ※ 12mm合板 せき板の塗料 ※ 無 有	環アスベスト配付	
12.	コンクリートの打込み工法	※ 流込み工法 圧入工法	環アスベスト配付	
13.	既存部分の撤去	既存仕上げの撤去範囲 ※ 図示 既存躯体の撤去範囲 ※ 図示	環アスベスト配付	
8-1-3	耐震改修工事（あと施工アンカー工事）	1. あと施工アンカー ※ 接着系アンカー [引張耐力 (KN), せん断耐力 (KN)] アンカーの種類 ※カプセル型回転・打撃式 接着剤 ※ 有機系 無機系 金属系アンカー [引張耐力 (KN), せん断耐力 (KN)] 打込み方式 ※ 本体打込み式改良型	環アスベスト配付	
2.	あと施工アンカーの試験	性能確認試験 ※ 行わない 行う 施工確認試験 ※ 行う 行わない	環アスベスト配付	
3.	埋込配管等の探査	範囲 ※ 穿孔箇所すべて 図示	環アスベスト配付	
8-1-4	耐震改修工事（鉄骨工事）	1. 鉄骨製作工場 ※ 指定性能評価機関の性能評価を受けて、国土交通大臣の認定を受けた下記のグレード以上の工場 S H M R J 本物件と同等規模構造の施工実績を有している工場で、監督職員の承諾する工場	環アスベスト配付	
2.	鋼材の種類	材質 規格 SS400 SSC400 STK400 STKR400 JIS表示認証製品 SN400B C SN490B C SM400 SM490	環アスベスト配付	
3.	高力ボルト	ボルト種類 セットの種類 ※ トルンア形高力ボルト ※ 2種 (S10T) ※ JIS形高力ボルト ※ 2種 (F10T) ※ 溶融亜鉛メッキ高力ボルト ※ 1種 (F8T相当)	環アスベスト配付	
4.	溶接部の試験	※ 超音波探傷試験	環アスベスト配付	
5.	錆び止め塗装	<7.3.2~3> による	環アスベスト配付	
6.	耐火被覆	種別 材料及び工法製造所 備考 ラス張モルタル 改修標仕6章15節による 耐火材吹付け 建築基準法に基づき定められたもの又は認定を受けたもの ※ 半乾式 湿式 耐火板張り 耐火材巻付け	環アスベスト配付	
7.	アンカーボルト	材質 ※ SS400 SNR400B	環アスベスト配付	
8.	既存部分の撤去	既存仕上げの撤去範囲 ※ 図示 既存躯体の撤去範囲 ※ 図示	環アスベスト配付	
8-1-5	耐震改修工事（柱補強工事）	1. 工法 溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法 溶接金網の継ぎ手 ※ 重ね継ぎ手 コンクリート及び構造躯体用のモルタルの打設 ※ 圧入工法 流し込み工法 鋼板巻き工法 帯板巻き付け工法 連続繊維補強工法 製造所 (引張強度試験及び付着強度試験) 行う 行わない	環アスベスト配付	
2.	既存部分の撤去	既存仕上げの撤去範囲 ※ 図示 既存躯体の撤去範囲 ※ 図示	環アスベスト配付	
8-1-6	耐震改修工事（耐震スリット）	1. スリットの種類 完全スリット 部分スリット 2. スリットの充填材 耐火材の使用 使用する 使用しない 適用箇所 ※ 図示 遮音材の使用 使用する 使用しない 適用箇所 ※ 図示	環アスベスト配付	

9-1-1	環アスベスト配付	石綿等の取扱については、大気汚染防止法(昭和43年6月10日法律第97号)(以下、「大防法」という。)及び石綿障害予防規則(平成17年2月24日厚生労働省令第21号)(以下、「石綿則」という。)を遵守すること。
9-1-1	環アスベスト配付	施工調査 ・ 行わない ※ 行う (大防法第18条の17により、同法の特定期事に該当するか事前調査を行うこと。調査結果は、図面等に記録し、書面により発注者に説明の上、提出すること。特定期事に該当する場合、受注者は大防法第18条の15による届出書の案を作成し、監督職員に提出すること。調査の結果、設計図書と異なる場合は監督職員と協議する。)
9-1-1	環アスベスト配付	調査事項 ※ アスベスト含有建材等の使用部位 ※ アスベスト含有建材等の種類、厚さ、面積 ※ 施工範囲と工事範囲区分 ※ 排出等作業の方法
9-1-1	環アスベスト配付	調査結果を公衆に見やすいよう掲示すること。 ※ 事業場の名称 ※ 調査結果 ※ 建築物等の種類 ※ 調査者及び所属 ※ 調査方法 ※ 調査終了年月日 ※ 発注者からの通知
9-1-1	環アスベスト配付	アスベスト含有分析 (9.1.1(d)) ・ 行わない ・ 行う (分析結果は監督職員に提出する。) 調査箇所 ※ 図示 分析方法 ※ JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有測定法」による。
9-1-1	環アスベスト配付	アスベスト含有分析 (9.1.1(d)) ・ 行わない ・ 行う (測定する時期・場所等は下表による) 「JIS K 3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法 第1部一：光学顕微鏡法及び定査電子顕微鏡法」による位相差、分散顕微鏡法による。
9-1-1	環アスベスト配付	適用名称 測定 測定時期 測定場所 測定点 (各施工箇所ごと) 室名等
9-1-1	環アスベスト配付	測定1 処理作業前 処理作業室内 (注1) ※ 2点 点
9-1-1	環アスベスト配付	測定2 施工区画周辺又は敷地境界 ※ 2点 点
9-1-1	環アスベスト配付	測定3 処理作業中 処理作業室内 (注1) ※ 2点 点
9-1-1	環アスベスト配付	測定4 セキュリティゾーン入口 ※ 1点 点 (空気の流れを ※ 1点 点 確認) ※ 1点 点
9-1-1	環アスベスト配付	測定5 負圧/粉じん装置の排出吹出口 ※ 1点 点 (除じん装置) ※ 1点 点 性能確認) ※ 1点 点
9-1-1	環アスベスト配付	測定6 施工区画周辺又は敷地境界 ※ 2点 点
9-1-1	環アスベスト配付	測定7 処理作業後シート ※ 2点 点
9-1-1	環アスベスト配付	測定8 撤去前 施工区画周辺又は敷地境界 ※ 2点 点
9-1-1	環アスベスト配付	測定9 処理作業後シート撤去後 ※ 2点 点
9-1-1	環アスベスト配付	測定点総計 点
9-1-1	環アスベスト配付	注1: 周囲状況により上記によりがたい場合は、監督職員と協議する。
9-1-1	環アスベスト配付	(例) アスベスト粉じん濃度測定方法 測点3 測点1, 2, 4, 6, 7, 8 測点5 数計機器 位相差・分散顕微鏡 メンブレンフィルタの直径 25mm 47mm 試料の吸引流量 1L/min 5L/min 10L/min 試料の吸引時間 5min 120min 240min 試料の透明化 アセトン固定一有機物灰化一屈折率浸液法 計数条件 総合倍率400倍、アスベスト繊維総数、通常50視野 計数アスベスト幅3μm未満、長さ5μm以上、アスペクト比(長さ/幅)3以上 定量限界 50本/L 0.47本/L 0.3本/L
9-1-1	環アスベスト配付	記録する項目 ア. 測定結果 イ. 測定時間 ウ. 測定位置 (測定高さとともに図面上に記載する。) エ. サンプリング条件 (メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量) オ. マウンティング法 カ. 顕微鏡視野面積、計数視野数 キ. 測定時(各測定箇所ごと)の天候、温度、湿度、外気の風速及び風量
9-1-1	環アスベスト配付	測定機関 都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関
9-1-1	環アスベスト配付	施工記録報告書の提出 1. 施工計画書 2. 工事記録及び工事写真 3. 産業廃棄物処理記録(廃石綿) 4. 施工調査等記録(案規施行調査、含有分析、粉じん濃度測定等) 5. 作業者の作業記録、各種健康診断記録、安全衛生教育記録 6. その他必要事項 提出部数 3部作成

9-1-2	環アスベスト配付	2. 除去工事共通事項 専門工事業者 アスベスト含有建材の除去を直接行う専門業者については、工事に相応した技術を有することを証明する書類を監督員に提出する。 作業主任者の選出 (9.1.2(b)) 石綿作業主任者技能講習又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者技能講習を終了したものの中から、「石綿作業主任者」を選任しなければならない。 除去作業者の教育 (9.1.2(c)) 作業者は、就業時に石綿則第27条に基づく教育を受けた者とする。また、一般健康診断、石綿健康診断及びじん肺健康診断を受診した者とし、肺機能に異常のない者とする。 特別管理産業廃棄物管理責任者の選出 (9.1.2(d)) 排出業者は、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有するものを選任し管理しなければならない。ただし、アスベスト含有成形板の処理工事を除く。 表示及び掲示 (9.1.2(f)) 更衣室など見やすい箇所に次の表示及び掲示を行う。 ※ アスベスト作業主任者名と職務内容 ※ 関係者以外立ち入り禁止 ※ 喫煙・飲食の禁止 ※ 「アスベスト除去作業中」の表示 ※ アスベストの有害性 ※ 取り扱い上の注意事項 ※ 使用すべき保護具 周辺住民の見やすい箇所に以下の表示を行う。 ※ 「建築物等の解体等の作業に関するお知らせ(労働基準監督署への届出内容、粉じん飛散抑制装置、曝露防止措置等)」 保護具、保護衣 (9.1.2(g)) 作業内容に応じた、呼吸用保護具、保護めがねを使用すること。 除去したアスベスト含有物の保管、運搬等 (9.1.3(c)) ※ 他の内装材、廃棄物等と分別保管 ※ 保管場所での飛散防止を施す。また、アスベスト成形板を運搬する場合は、運搬車両の荷台全体をシート等で覆い、飛散防止に努める。 ※ アスベスト等の保管場所である旨の表示を行う。
9-1-2	環アスベスト配付	3. アスベスト含有吹付け材の除去 アスベスト含有吹き付け材の除去工事 (9.1.3(b)) ・ 行う (適用範囲・図示) ・ 行わない 作業場等の隔離等 (9.1.3(a)) ※ 作業場は以下によるものとし負圧除じん機にて負圧状態により飛散防止をすること。 隔離シートの性能 ※ 床面 ※ 0.15mm以上のプラスチックシート等で二重 ※ 壁面 ※ 0.08mm以上のプラスチックシート等 ただし、(一財)日本建築センターの「建設技術審査証明事業」による「吹き付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術(除去)」の審査証明書(以下、「審査証明書」という。)を取得している工法と同等の飛散防止処理技術を有する工法とすることができる。その際には監督員の承諾を得ること。 セキュリティゾーンの設置 (9.1.3(a)) ※ 下表による 適用 室名 状態 ※ 更衣室 負圧 ※ 更衣ロッカー ※ 新品の保護具 ※ 呼吸用保護具保管箱 ※ 洗顔、うがい設備 ※ 洗浄室 負圧 ※ エアシャワー(温水シャワー) ※ 前室 負圧 ※ 高性能真空掃除機 ※ 使用済み保護衣保管かご ただし、(一財)日本建築センターの「建設技術審査証明事業」による「吹き付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術(除去)」の審査証明書(以下、「審査証明書」という。)を取得している工法と同等の飛散防止処理技術を有する工法とすることができる。その際には監督員の承諾を得ること。
9-1-2	環アスベスト配付	4. アスベスト含有保温材等の除去 除去物及び汚染等 (9.1.3(b)) 処理方法 ※ 密封処理(二重袋梱包) 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、除じん機フィルタについても密封処理を行う。 セメント固化 養生等 (9.1.4(b)) ※ 養生シート等を用いて区画し、場外への飛散防止を行う。 掻き落とし、破砕、切断による除去方法 ※ 行わない ・ 行う (9.1.3)「アスベスト含有吹き付け材の除去」による 除去工法 (9.1.4(c)) ※ 粉じん飛散抑制剤などにより湿潤化したあとに、手ばらしによること。 ※ 除去物については(9.1.3(b))により、密封処理とする。

9-1-2	環アスベスト配付	5. アスベスト含有成形板の処理 (9.1.5) アスベスト含有成形板の除去工事 (適用範囲・図示) ・ 行う ・ 行わない 養生 (9.1.5(a)) ※ 作業場は、養生シート等を用いて区画する。 除去工法 (9.1.5(b)) ※ 作業場は、散水等により湿潤化し、手ばらしによること。 ※ やむを得ず破壊しなければならない場合には、十分に湿潤化した状態で行うこと。 ※ 除去物については、粉じんの飛散防止に努め、特に破砕されたアスベスト含有成形板については、湿潤化の上、丈夫なプラスチック袋に入れる等の飛散防止措置を講ずること。
9-1-2	環アスベスト配付	1. 断熱材 (9.5.2~3) 断熱材の打込み及び現場発泡工法 種類 箇所 厚さ(mm) 備考 ※ ポリスチレンフォーム(発泡プラスチック保温材) ※ A種押出法 2種b 2種b 接地部分及び屋根防水部分ピット内部 ※ 25 JIS A 9511のJIS表示認証製品 ・ 硬質ウレタンフォーム保温材 ※ A種 ・ フェノールフォーム保温材 ※ A種 ・ 吹付け硬質ウレタンフォーム保温材 ※ A種1 ※ 20 JIS A 9526による難燃性・2級 ※ 3級
9-1-2	環アスベスト配付	※ 施工範囲は建築工事標準詳細図(図7-01-1)による。 上記以外に用いる断熱材 種類 箇所 厚さ(mm) 備考 ・ JIS A 発泡プラスチック保温材 ※ A種押出法 2種b 3種b (スキン層付き) 接地部分及び屋根防水部分ピット内部 ※ 25 JIS表示認証製品 ・ グラスウール保温材 ※ 100 ※ 24K品 ※ グラスウール使用部分の室内側防湿シート ※ 被覆品 防湿層ポリエチレンフィルム(t0.15)張り (重ね100)
9-1-2	環アスベスト配付	10. 埋戻し及び盛土の種類 (3.2.3)(表3.2.1) ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 C種の場合 建設発生土受入れ量 m <sup>3</sup> 発生場所 受入条件 2. 建設発生土の処理 ・ 構外に撤出し適切に処理する。 ・ 構外指示の場所に撤出する。 ・ 受入れ施設名・住所(km) ・ 構内指示の場所に敷きならす。 ・ 構内指示の場所にたい積する。
9-1-2	環アスベスト配付	11. コンクリートブロック帳壁及び塀 (8.3.2)(表8.3.1) ・ ブロックの種類 ※ 空洞ブロック 16 (ただし、設備配管用裏積等は空洞ブロック08とすることができる。) 2. ALCパネル (8.4.2~5) パネルの種類 ・ 外壁パネル (・t=100 ・t=50)

12	再生材	※ 使用する	・ 使用しない	(22.1.3)
舗	盛土材料	路床の盛土材料	・ A種 ※B種 ・ C種 ・ D種	(22.2.3)
3.	遮断層及び凍上抑制層用材料	遮断層	※ 川砂・海砂又は良質な山砂	(22.2.3)
装	凍上抑制層用材料	※ 再生クラッシュラン	・ 切込砂利又は切込砕石	(22.2.3)
4.	路床土の支持力比(CBR)試験	※ 行わない	・ 行う(※ 乱した土 ・ 乱さない土)	(22.2.5)
工	路床締固め度の試験	・ 行わない	※ 行う(箇所:埋戻し及び盛土部)	(22.2.5)
事	路盤材料	※ 再生クラッシュラン RC-40 (透水性舗装の場合を除く)	・ クラッシュラン C-40	(22.3.3)(表22.3.3)
7.	路盤の締固め度の試験	※ 行う		(22.3.5)
8.	アスファルト舗装	加熱アスファルト混合物の種類	(22.4.2)(22.4.4)(表22.4.5)	
表層	※ 再生密粒度アスファルト混合物(13)	・ 密粒度アスファルト混合物(13)	・ 細粒度アスファルト混合物(13)	舗装の厚さは図示による
基層	※ 再生粗粒度アスファルト混合物(20)	・ 粗粒度アスファルト混合物(20)		
9.	コンクリート舗装	早強セメント	・ 使用する ※ 使用しない	(22.5.3)
10.	ブロック系舗装	溶接金網	※ あり ・ なし	(22.9.2)(表22.9.1)
11.	緑石及び側溝	地業の材料	・ 再生クラッシュラン	(21.4.2)
12.	砂利敷き	・ A種(通路)	※ B種(建物周辺)	(22.10.2)
13.	区画線	※ JISK5665	3種1号	

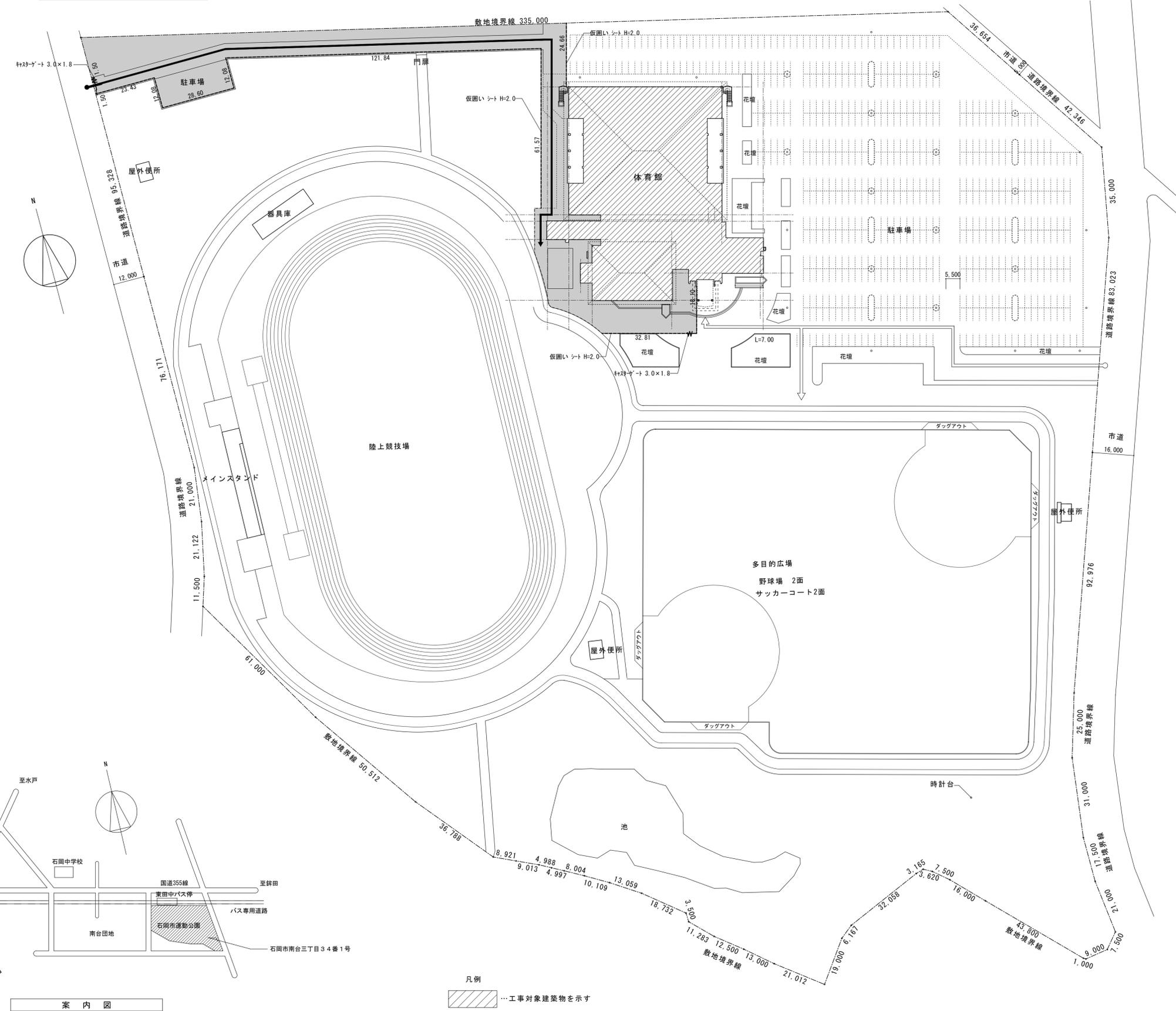
13	フリーアクセスフロア	(20.2.2)		
ユ	ニ			
ット				
及び				
その他				
の				
工				
事				
2.	可動間仕切(パーテーション)	構造形式による種類	スタッド式(内蔵)	(20.2.3)
3.	移動間仕切(スライディングドア)	パネルの操作方法及び仕様	規定しない	(20.2.4)
4.	トイレブース	表面材	フェノール樹脂板	(20.2.5)
5.	階段滑り止め(ノンスリップ)	材種	ステンレス(SUS304)	(20.2.6)
6.	床目地棒	ステンレス加工(SUS304HL)	(床仕上げが異なる場合に設ける。但し、建具部は建具表による。)	(20.2.7)
7.	鏡	耐湿鏡	t=5 ステンレスフレーム付き	(20.2.9)
8.	表示	衝突防止表示	ステンレス製 HL仕上げ Φ30程度 市販品	(20.2.10)
9.	点検口	施工箇所	天井	※ アルミニウム製
10.	視覚障害者用誘導ブロック	屋外	※ コンクリート製	

14	① 一般事項	試料採取および測定は、厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」(以下「厚労省の測定方法」という。)の新築住宅の例に準拠して行う。
②	測定対象化学物質	測定対象化学物質は、下記4 1), 2)の区分に従い、表の①から⑭の14物質及びTVOC又は表の①から⑨の9物質及びTVOCとする。
③	測定方法	1) クロマトグラム上で「n-ヘキサン」から「n-ヘキサデカン」までの部分に検出される物質のピーク値を「トルエン」に換算した値をTVOC濃度とする。 2) トルエン換算で2.0μg/m3未満のピークは測定の対象としない。 3) 上位10ピークについて物質を特定して濃度の測定を行う。
④	測定する室	1) 14物質及びTVOC濃度を測定する室等 ・ 室名:小体育館4箇所、会議室1箇所  2) 9物質及びTVOC濃度を測定する室 ・ 室名:  ・ 屋外(周囲の建物から離れた場所1か所)
⑤	測定結果等報告書の提出	次の事項を記載した報告書を2部提出する。 1) 測定結果(アセトアルデヒドについては、試料採取時の気温が20℃に満たない場合には、「厚労省の測定方法」に定める計算式で20℃、湿度50%に、ホルムアルデヒドについては25℃、湿度50%に補正した濃度を報告すること。) 2) 試料採取時の状況(気温・湿度(屋外、室内)、天候、風の状況、日射進入状況、採取年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成から試料採取までの日数) 3) 試料採取方法、測定方法、使用した測定機器 4) TVOC濃度の算出に使用したクロマトグラムの写し
6.	その他	表の化学物質①から⑤のうち、いずれかの物質の濃度が室内濃度指針値を超える場合は、工事目的物の引渡しを受けない。 TVOCの測定の結果、暫定目標値を超える場合は、発生原因の究明及び汚染物質の発生を低減するための対策について、協議を行うこと。

表 測定対象化学物質及び室内濃度指針値

化学物質名	室内濃度指針値
①ホルムアルデヒド	100 μg/m <sup>3</sup> 0.08 ppm
②トルエン	260 μg/m <sup>3</sup> 0.07 ppm
③キシレン	870 μg/m <sup>3</sup> 0.20 ppm
④エチルベンゼン	3,800 μg/m <sup>3</sup> 0.88 ppm
⑤スチレン	220 μg/m <sup>3</sup> 0.05 ppm
⑥パラジクロロベンゼン	240 μg/m <sup>3</sup> 0.04 ppm
⑦テトラデカン	330 μg/m <sup>3</sup> 0.04 ppm
⑧アセトアルデヒド	48 μg/m <sup>3</sup> 0.03 ppm
⑨ノナナール	(暫定)41 μg/m <sup>3</sup> 0.007 ppm
⑩フタル酸ジ-n-ブチル	220 μg/m <sup>3</sup> 0.02 ppm
⑪フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	120 μg/m <sup>3</sup> 0.0076 ppm
⑫クロルピリホス	1 μg/m <sup>3</sup> 0.00007 ppm
⑬ダイアジノン	0.29 μg/m <sup>3</sup> 0.00002 ppm
⑭フェノフルカルブ	33 μg/m <sup>3</sup> 0.0038 ppm
⑮総揮発性有機化合物(TVOC)	400 μg/m <sup>3</sup> (暫定目標値)

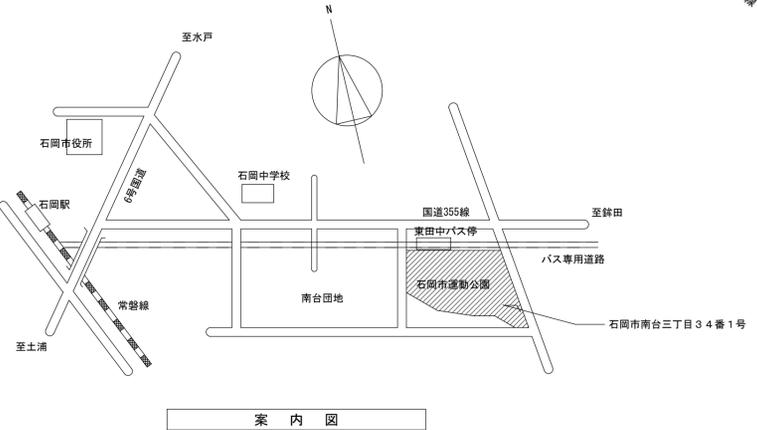
本体工事時仮設計画図



- ※凡例
- 仮囲い(シート囲い)H=2.0を示す。
  - 工事車両等通行範囲を示す。
  - ▨ 敷鉄板 t=22 を示す。
  - ✚ 3.0×1.8 キヤスターゲートを示す。
  - ← 体育館・運動場利用者 動線
  - ← 工事車両 動線

面積表

1階床面積	4440.26㎡
2階床面積	1496.02㎡
延べ床面積	5936.28㎡
建築面積	5076.54㎡



- 凡例
- ▨ 工事対象建築物を示す

配置図兼仮設計画図 S=1/800


 一級建築士事務所 (有)クボタ建築設計事務所  
 茨城県 第A2210号(2805)  
 建設大臣登録第210340号  
 一級建築士 久保田 吉文

設計 担当 製図

縮尺 S=1/800  
設計年月日 H30.

工事名称 平成30年度 石岡運動公園体育館改修工事  
 図面名称 配置図兼仮設計画図(1) 案内図

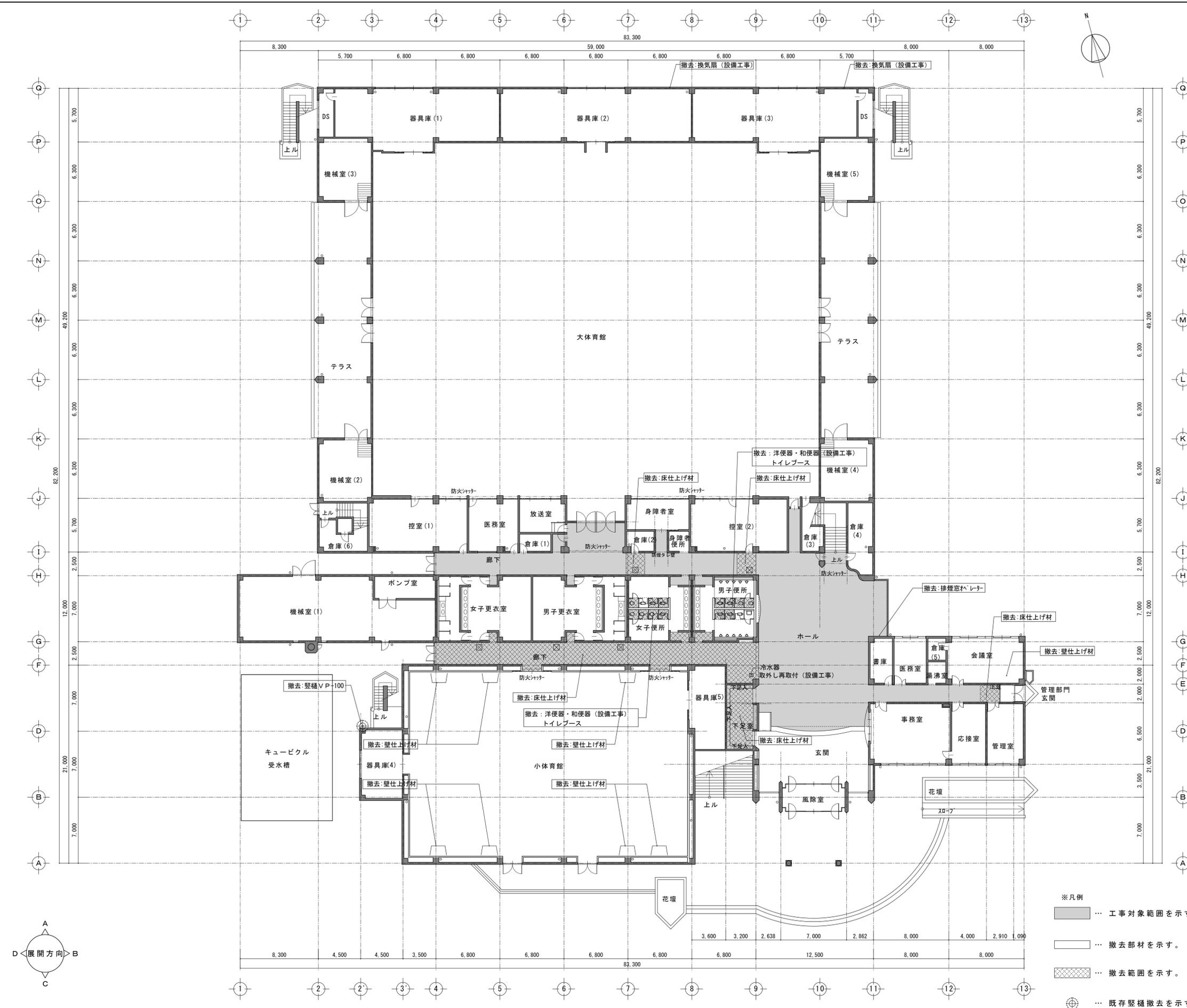


改修工事概要		改修前外部仕上表		改修後外部仕上表	
① 体育館 改修工事		屋 根	t=0.4ふっ素鋼板横置き (t=4.0ポリスチレンホーム裏打ち) 下地 アスファルトフェルト t=25木毛セメント板 (比重0.47) (30分耐火R-0122) t=40グラスウール24K	屋 根	既存仕上りのまま
・トイレ便器の撤去・新設 (1・2階男女)		軒 樋	t=0.4オリエンタルメタル (ウレタンフォーム裏貼) カラーステンパンチング ステンレス網 (A-材仕様)	軒 樋	既存仕上りのまま
・トイレブースの撤去・新設 (1・2階男女)		外 壁	コンクリート打放し下地 100×50モザイクタイル貼り 一部50×50 (一部ラスター仕上) 伸縮目地 (ポリサルファイト) #4000位付	外 壁	既存仕上りのまま
・既存床ワックス剥離清掃の上、ワックス塗布新設。一部床仕上げの撤去・新設 (1階ホール・廊下・下足室)		外 壁 腰	コンクリート打放し目地切り 新り仕上げ アクリルウレタンクリア吹付2回塗	外 壁 腰	既存仕上りのまま
・会議室 壁仕上げビニルクロス張替		客席段裏	コンクリート打放し補修 VP塗	客席段裏	既存仕上りのまま
・防火シャッター用安全装置設置 (4箇所)		笠 木	陸屋根部バラベツ カラーアルミ笠木w240 プラザバラベツ モザイクタイル貼	笠 木	既存仕上りのまま
・1階玄関ホール 既存排煙窓パネルの撤去し、露出型ハド式を新設		陸屋根部	アスファルト防水 A-2 t=50軽量コンクリート 伸縮目地 (ド774t) #4500以内	陸屋根部	既存仕上りのまま
・小体育館 既存排煙窓パネルの撤去し、露出型ハド式を新設		プラザ床	アスファルト防水 A-2 t=50軽量コンクリート モルタル下地200角タイル貼 伸縮目地 (ド774t) #4500以内	プラザ床	既存仕上りのまま
・一部、堅樋の交換		プラザ階段部	t=2.0ノントールウレタン防水下地 ラスモルタル下地200角タイル貼 伸縮目地 (ド774t) #4500以内	プラザ階段部	既存仕上りのまま
・受電設備更新		陸屋根ドレイン	鑄鉄製100φ (タテ型、ヨコ型)	陸屋根ドレイン	既存仕上りのまま
・高圧引込ケーブル更新		タ テ 樋	VP-100 見がかりVP塗 1階玄関廻り: SUS HL-100φ	タ テ 樋	一部、既存堅樋撤去の上、VP-100φDP塗 新設 (種受け金物SUS製共)
		犬 走 り	コンクリート金ゴ押し 目地切り仕上	犬 走 り	既存仕上りのまま
		コンクリート庇	防水モルタル金ゴ仕上	コンクリート庇	既存仕上りのまま
		コンクリート庇裏	コンクリート打放し補修 VP塗	コンクリート庇裏	既存仕上りのまま
		建 具		建 具	既存仕上りのまま
		1階・2階玄関屋根	t=0.4フッ素鋼板 瓦葺き アスファルトルーフィング22K t=18センチユーロボード	1階・2階玄関屋根	既存仕上りのまま
		玄関庇 幕板・笠木	t=1.6フッ素鋼板	玄関庇 幕板・笠木	既存仕上りのまま

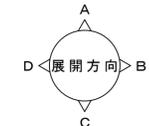
内部仕上表 ※  ... 改修室を示す。

階数	改修室	室名	下地	床	巾 木	腰 壁	壁	天 井	廻 縁	天 井 高 (mm)	備 考		
1	改修室	大体育館	R C	t=1577合板格貼り t=18mm 99770-9977 PUP-3 (鋼製床下地組#900)	H=75 木製 OSCL塗		t=12シナ合板目透し貼 (h450×w1800) OSCL塗 (木下地組) 軒面戸 t=12 EP塗 (t=25スタイロフォーム裏打)	立体トラス OP塗 仕上げ付きt=25グラスウールボード 48K ジョー工法 (不燃第1036号)	塩ビ製	直 天			
			W										
			R C	既存仕上りのまま	既存仕上りのまま			既存仕上りのまま			既存のまま	既存のまま	
			W										
改修室	改修室	小体育館	R C	t=1577合板格貼り t=18mm 99770-9977 PUP-3 (鋼製床下地組#900)	H=75 木製 OSCL塗		t=12シナ合板目透し貼 (1800×450) OSCL塗 (木下地組) 軒面戸 t=12 EP塗 (t=25スタイロフォーム裏打)	立体トラス OP塗 仕上げ付きt=25グラスウールボード 48K ジョー工法 (不燃第1036号)	塩ビ製	直 天			
			W										
			R C	既存仕上りのまま	既存仕上りのまま			一部既存仕上げ撤去の上、t=12シナ合板目透し貼 (1800×450) OSCL塗 柱: 90×45 #450 横縁: 45×24 #450	既存仕上りのまま	既存のまま	既存のまま	既存タラップ取外し再取付	
			W										
改修室	改修室	事務室	R C	モルタル下地 t=2.0長尺塩ビシート貼	H=75 ソフト巾木		モルタル金ゴ? ビニールクロス貼	t=9PB下地 t=12ロックウール吸音板貼	塩ビ製	2700	行事用スチール黒板 (2700×900)		
			W										
			R C	既存仕上りのまま	既存仕上りのまま			既存仕上りのまま			既存のまま	既存のまま	
			W										
改修室	改修室	医務室	R C	モルタル下地 t=2.0長尺塩ビシート貼	H=75 ソフト巾木		モルタル金ゴ? ビニールクロス貼 (北面壁t=25スタイロフォーム打込)	t=9PB下地 t=12ロックウール吸音板貼	塩ビ製	2700			
			W										
			R C	既存仕上りのまま	既存仕上りのまま			既存仕上りのまま			既存のまま	既存のまま	
			W										
改修室	改修室	管理室	R C	モルタル下地 t=2.0長尺塩ビシート貼	H=75 ソフト巾木		モルタル金ゴ? ビニールクロス貼	t=9PB下地 t=12ロックウール吸音板貼	塩ビ製	2700			
			W										
			R C	既存仕上りのまま	既存仕上りのまま			既存仕上りのまま			既存のまま	既存のまま	
			W										
改修室	改修室	会議室	R C	モルタル下地 t=2.0長尺塩ビシート貼	H=75 ソフト巾木		モルタル金ゴ? ビニールクロス貼 (北面壁t=25スタイロフォーム打込)	t=9PB下地 t=12ロックウール吸音板貼	塩ビ製	2700	行事用スチール黒板 (2700×900) スクリーン アルミBOX共 (200×1500)		
			W										
			R C	既存仕上りのまま	既存仕上げ撤去の上、H=75ソフト巾木			既存仕上げ撤去の上、ビニールクロス貼	既存仕上りのまま	既存のまま	既存のまま		
			W										
改修室	改修室	応接室	R C	モルタル下地 t=2.0長尺塩ビシート貼	H=75 木製 OSCL塗		t=5銘木縁付け合板	t=9PB下地 t=15ロックウール吸音板貼 (キューブ)	塩ビ製	2700			
			W										
			R C	既存仕上りのまま	既存仕上りのまま			既存仕上りのまま			既存のまま	既存のまま	
			W										
改修室	改修室	湯沸室	R C	モルタル下地 t=2.0長尺塩ビシート貼	100角タイル モルタル下地		100角タイル貼	t=5フレキシブルボード目透し貼 EP塗	塩ビ製	2500	流し台、レンジフード、コンロ台、吊戸棚		
			W										
			R C	既存仕上りのまま	既存仕上りのまま			既存仕上りのまま			既存のまま	既存のまま	
			W										
改修室	改修室	書庫	R C	モルタル下地 t=2.0長尺塩ビシート貼	H=75 ソフト巾木		コンクリート打放し VP塗	t=9PB目透し貼 EP塗	塩ビ製	2500			
			W										
			R C	既存仕上りのまま	既存仕上りのまま			既存仕上りのまま			既存のまま	既存のまま	
			W										
改修室	改修室	男・女更衣室	R C	モルタル下地 t=2.0長尺塩ビシート貼	H=75 ソフト巾木		モルタル金ゴ? 目地切り VP塗	t=5フレキシブルボード目透し貼 EP塗	塩ビ製	2500			
			W										
			R C	既存仕上りのまま	既存仕上りのまま			既存仕上りのまま			既存のまま	既存のまま	
			W										
改修室	改修室	男・女シャワー室	R C	モルタル下地 100角タイル貼	100角タイル モルタル下地		100角タイル貼	t=5フレキシブルボード目透し貼 EP塗	塩ビ製	2550	シャワースクリーンFRP製 ビニルカーテン、アルミカーテンレール		
			W										
			R C	既存仕上りのまま	既存仕上りのまま			既存仕上りのまま			既存のまま	既存のまま	
			W										



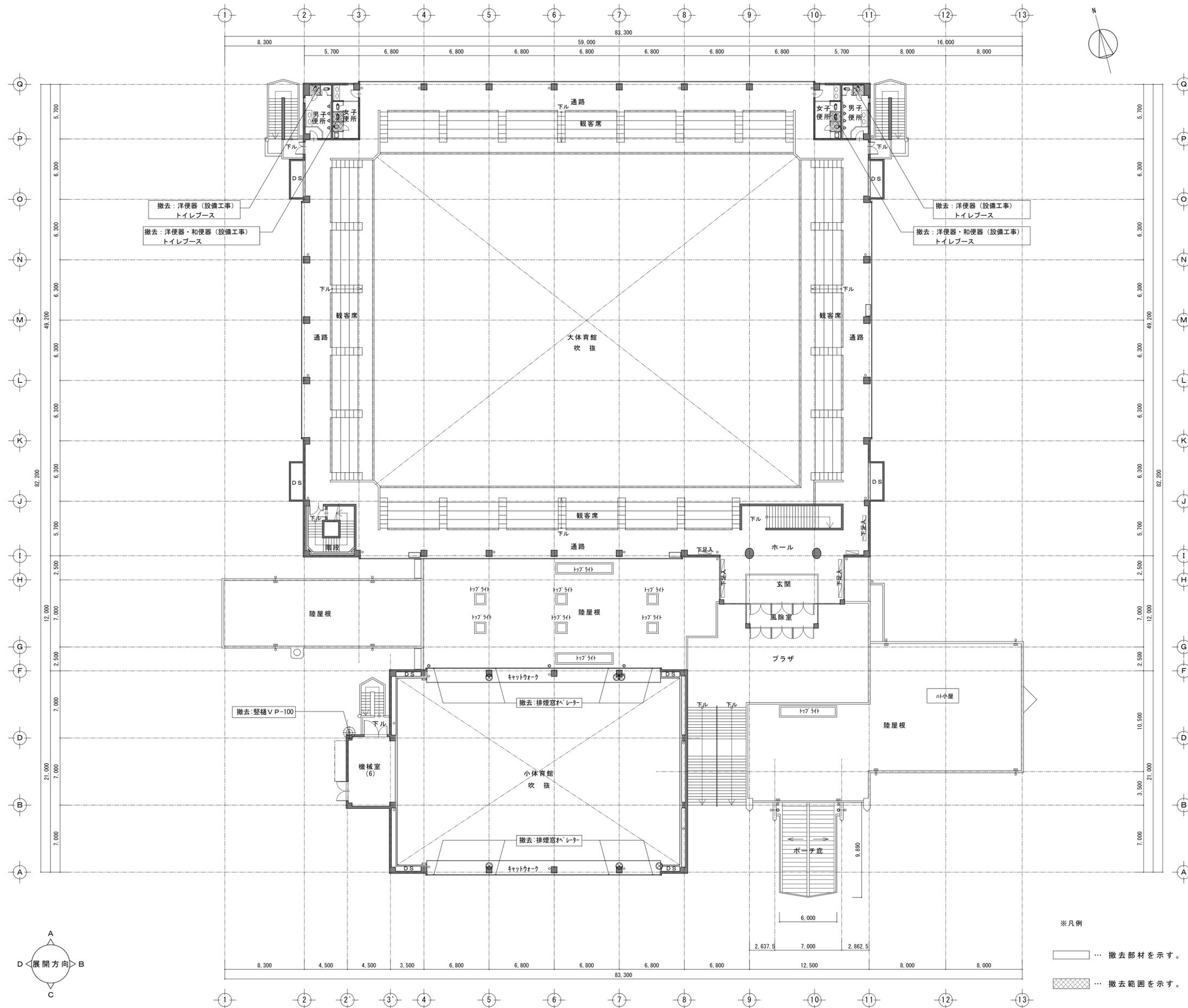


- 撤去工事項目**
- 大体育館**
- 下足室
  - 床仕上げ範囲内の撤去
  - 廊下 (F通り、H通り、管理部門玄関)
  - 床仕上げ範囲内の撤去
  - 天井仕上げ材の撤去
  - ホール
  - 排煙窓オペレーター撤去
  - 会議室
  - 壁仕上げ材の撤去
  - 男子女子便所
  - 床仕上げ範囲内の撤去
  - 洋便器・和便器の撤去 (設備工事)
  - トイレブースの撤去
  - 器具庫(2)、(3)
  - 換気扇の撤去 (設備工事)
  - 一部堅樫撤去
- 小体育館**
- 小体育館
  - 壁仕上げ材一部撤去
  - 排煙窓オペレーター撤去



- ※凡例
- 工事対象範囲を示す。
  - 撤去部材を示す。
  - 撤去範囲を示す。
  - 既存堅樫撤去を示す。

改修前1階平面図 S=1/200



撤去工事項目	
大体育館	2階男子女子便所 ・床仕上げ範囲内の撤去 ・洋便器、和便器の撤去（設備工事） ・トイレブースの撤去
小体育館	小体育館 ・排煙窓ハレター撤去 ・キャットウォーク床一部コンクリートのコア抜き
一部堅樫撤去	

- ※凡例
- … 撤去部材を示す。
  - ▨ … 撤去範囲を示す。
  - ⊕ … 既存堅樫撤去を示す。
  - ⊗ … 既存床コア抜き（16φ）を示す。

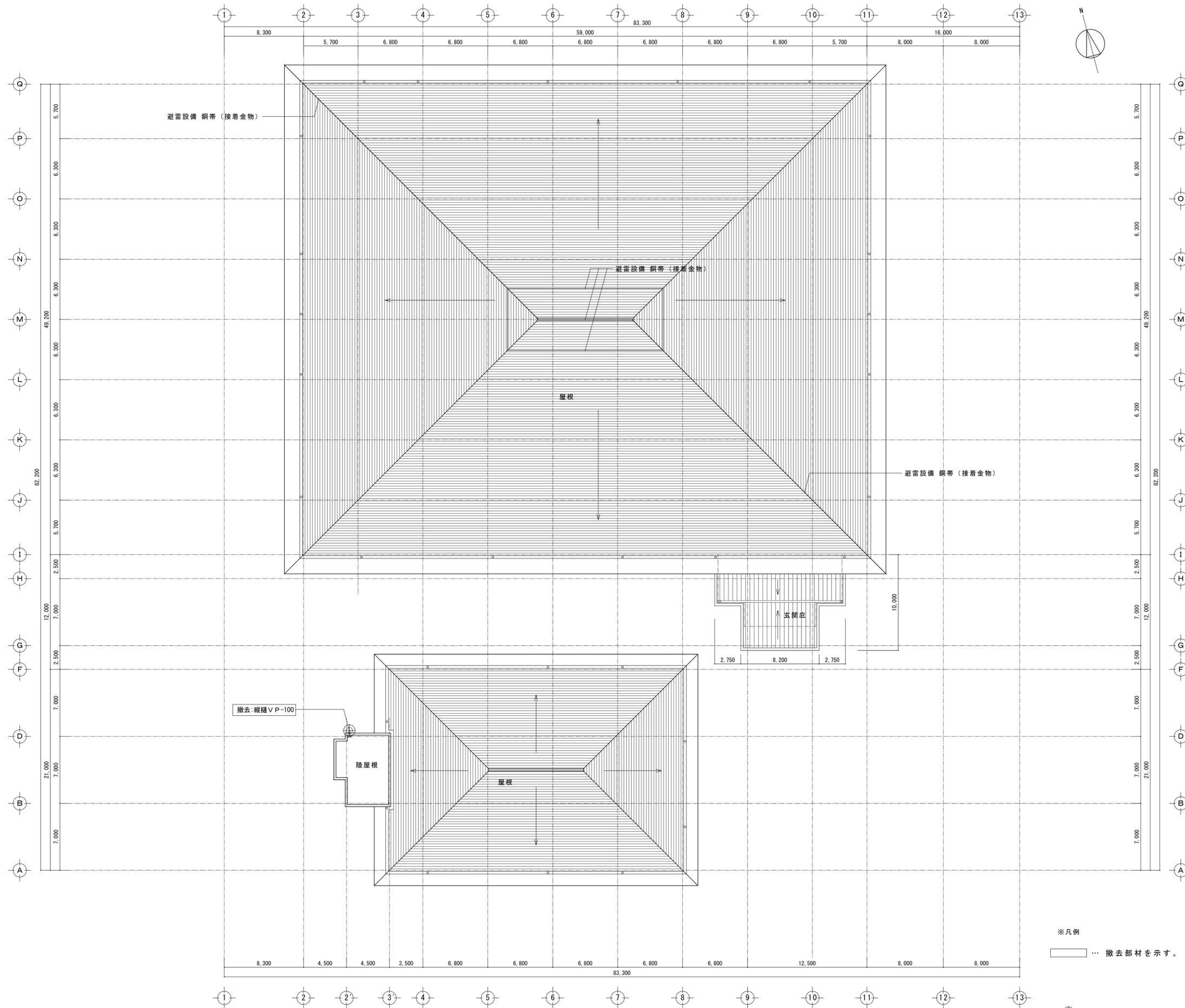
改修前2階平面図 S=1/200

撤去工事項目

体育館

軒樋

・一部整樋撤去



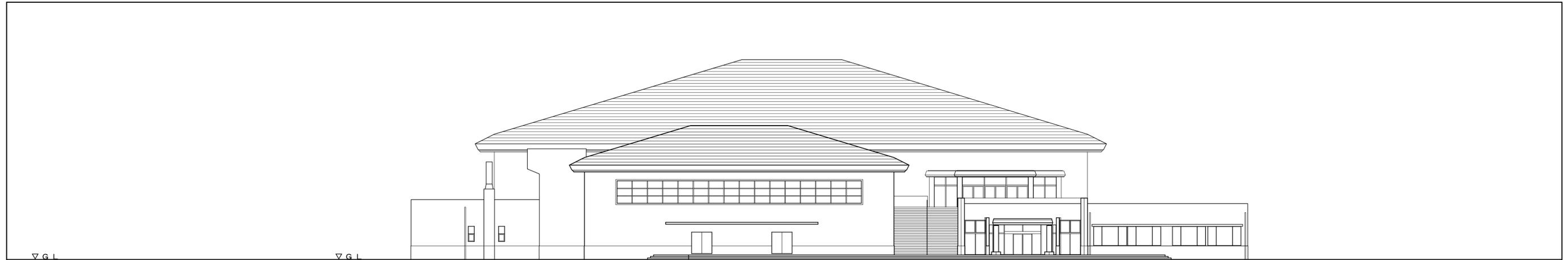
※凡例  
 [Dashed Line] ... 撤去部材を示す。  
 [Circle with X] ... 既存堅樋撤去を示す。

改修前屋根伏図 S=1/200

一級建築士事務所 (有) クボタ建築設計事務所  
 茨城県 第A2210号 (2805)  
 建設大臣登録第210340号  
 一級建築士 久保田 吉文

設計担当製図  
 縮尺 S=1/200  
 設計年月日 H30.

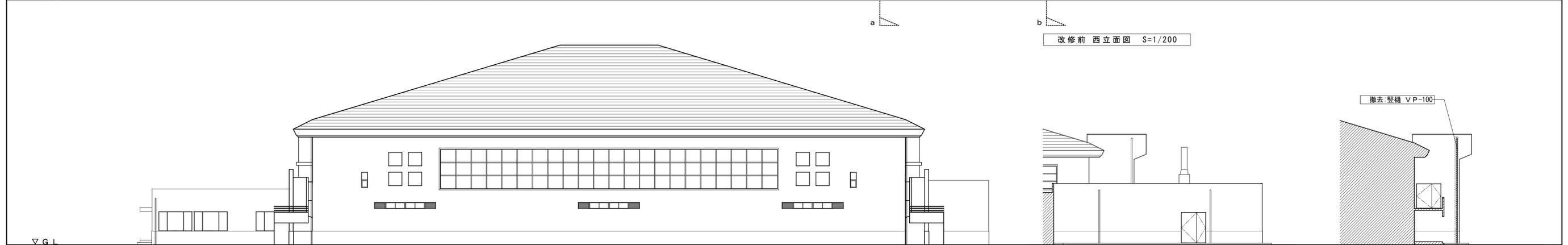
工事名称 平成30年度 石岡運動公園体育館改修工事  
 図面名称 改修前 屋根伏図



改修前 南立面図 S=1/200



改修前 西立面図 S=1/200



改修前 北立面図 S=1/200

改修前 a部立面図 S=1/200

改修前 b部立面図 S=1/200



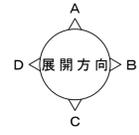
改修前 東立面図 S=1/200

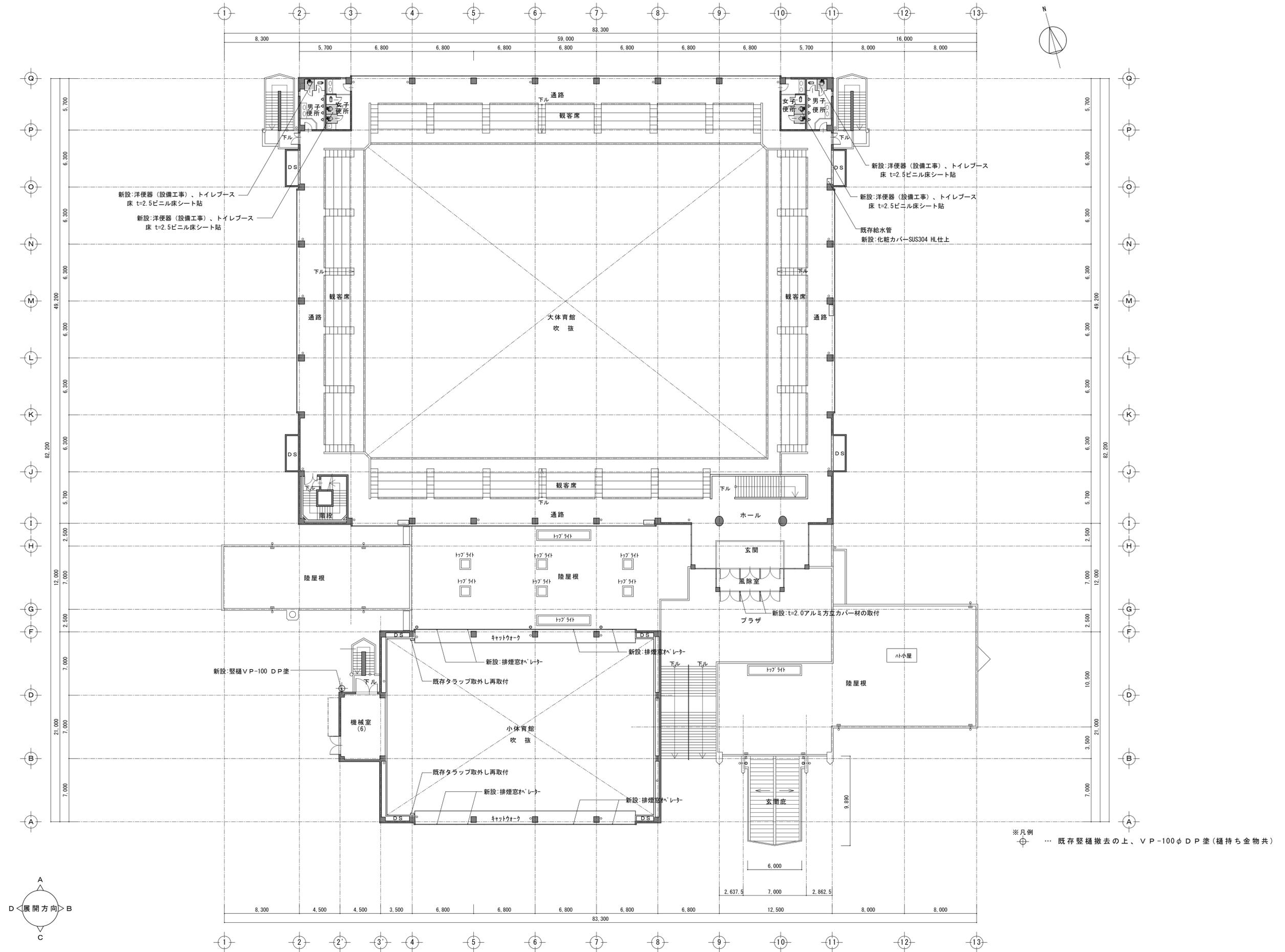
※凡例  
 … 撤去部材を示す。



- ※凡例
- … 工事対象範囲を示す。
  - ▨ … 床仕上げ 既存ワックス剥離・洗浄3回の上、樹脂ワックス剤塗布3回の範囲を示す。
  - ▩ … 既存仕上げ材撤去の上、t=2.0ビニル床シート貼 (樹脂ワックス剤塗布3回)
  - ⊙ … 既存堅柱撤去の上、VP-100φDP塗 (樋持ち金物共)
  - ★1 … 既存サイン平付200×200(SUS製)撤去の上、新設200×200名称サイン(SUSHL)
  - ★2 … 既存サイン突出272×78(アクリル製)撤去の上、新設272×78名称サイン (※リカーボネート製)
  - ⊙ … VOC濃度測定室を示す。

改修後1階平面図 S=1/200





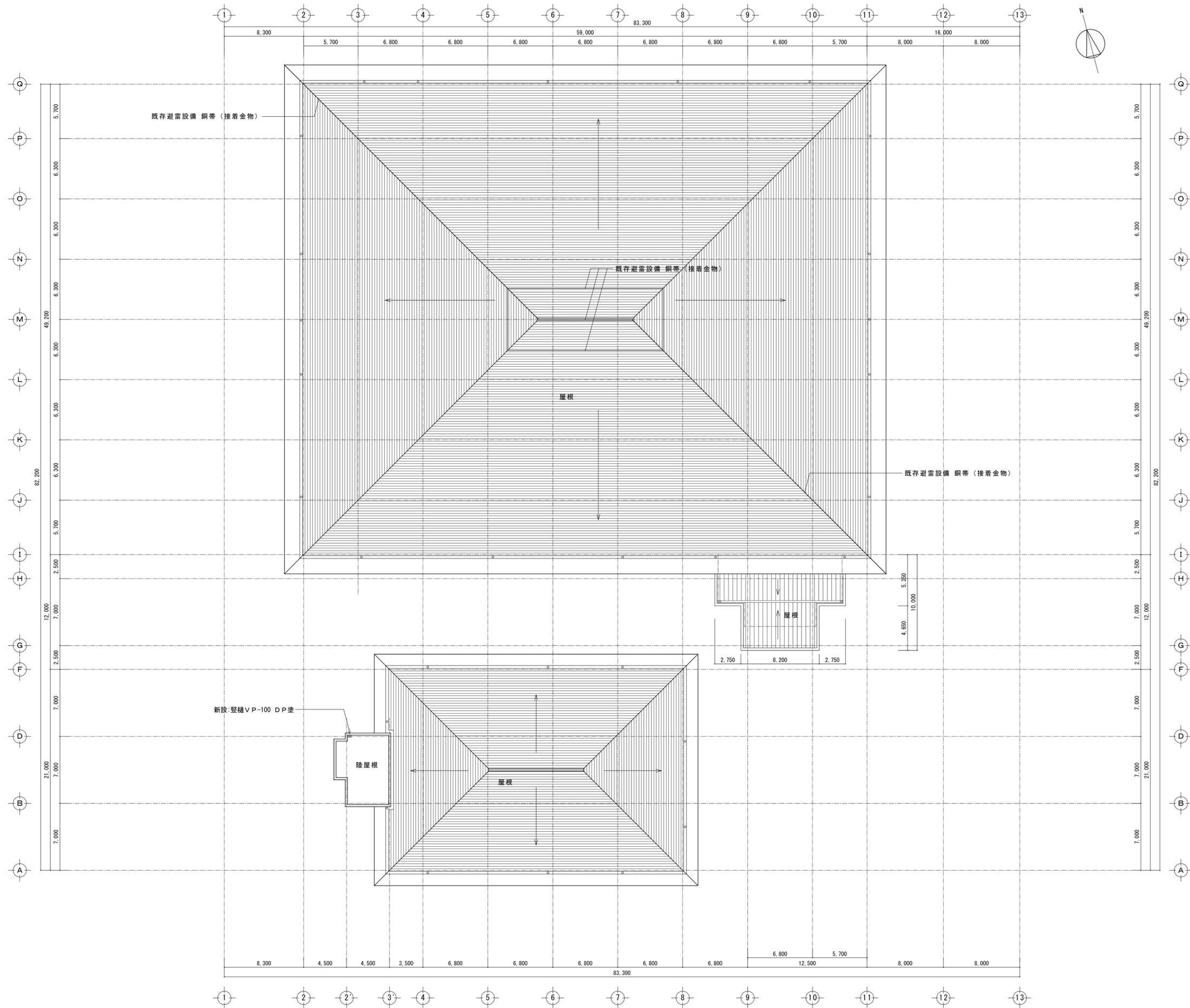
※凡例  
 ⊕ … 既存堅柱撤去の上、VP-100φDP塗(維持金物共)

改修後2階平面図 S=1/200

一級建築士事務所 (有)クボタ建築設計事務所  
 茨城県 第A2210号(2805)  
 建設大臣登録第210340号  
 一級建築士 久保田 吉文

設計 担当 製図  
 縮尺 S=1/200  
 設計年月日 H30.

工事名称 平成30年度 石岡運動公園体育館改修工事  
 図面名称 改修後2階平面図

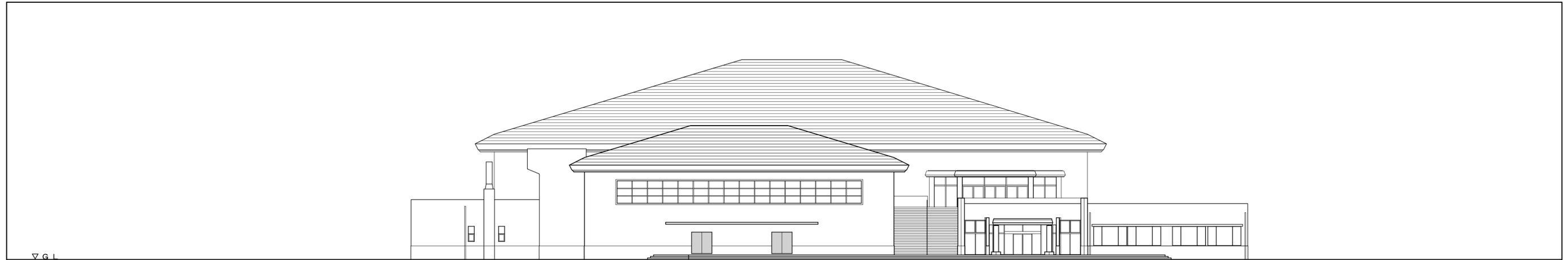


改修後屋根伏図 S=1/200


 一級建築士事務所 (有) クボタ建築設計事務所  
 茨城県 第A2210号 (2805)  
 建設大臣登録第210340号  
 一級建築士 久保田 吉文

設計 担当 製図  
 縮尺 S=1/200  
 設計年月日 H30.

工事名称 平成30年度 石岡運動公園体育館改修工事  
 図面名称 改修後 屋根伏図



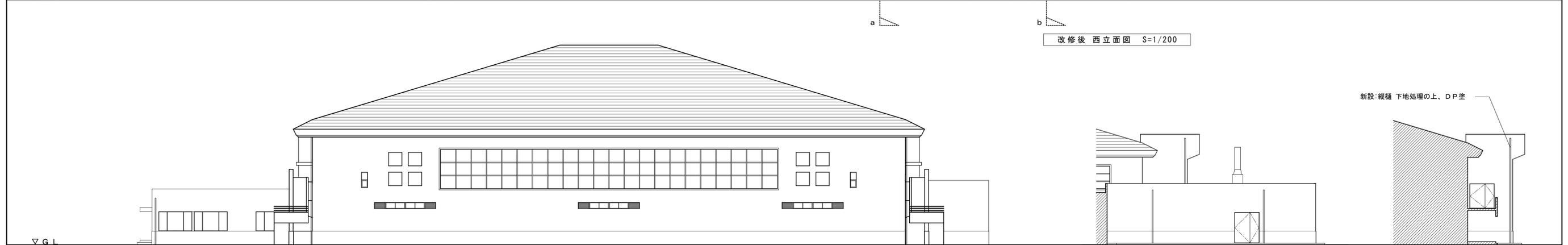
▽ G L

改修後 南立面図 S=1/200



▽ G L

改修後 西立面図 S=1/200



▽ G L

改修後 北立面図 S=1/200

新設:縦樋 下地処理の上、DP塗

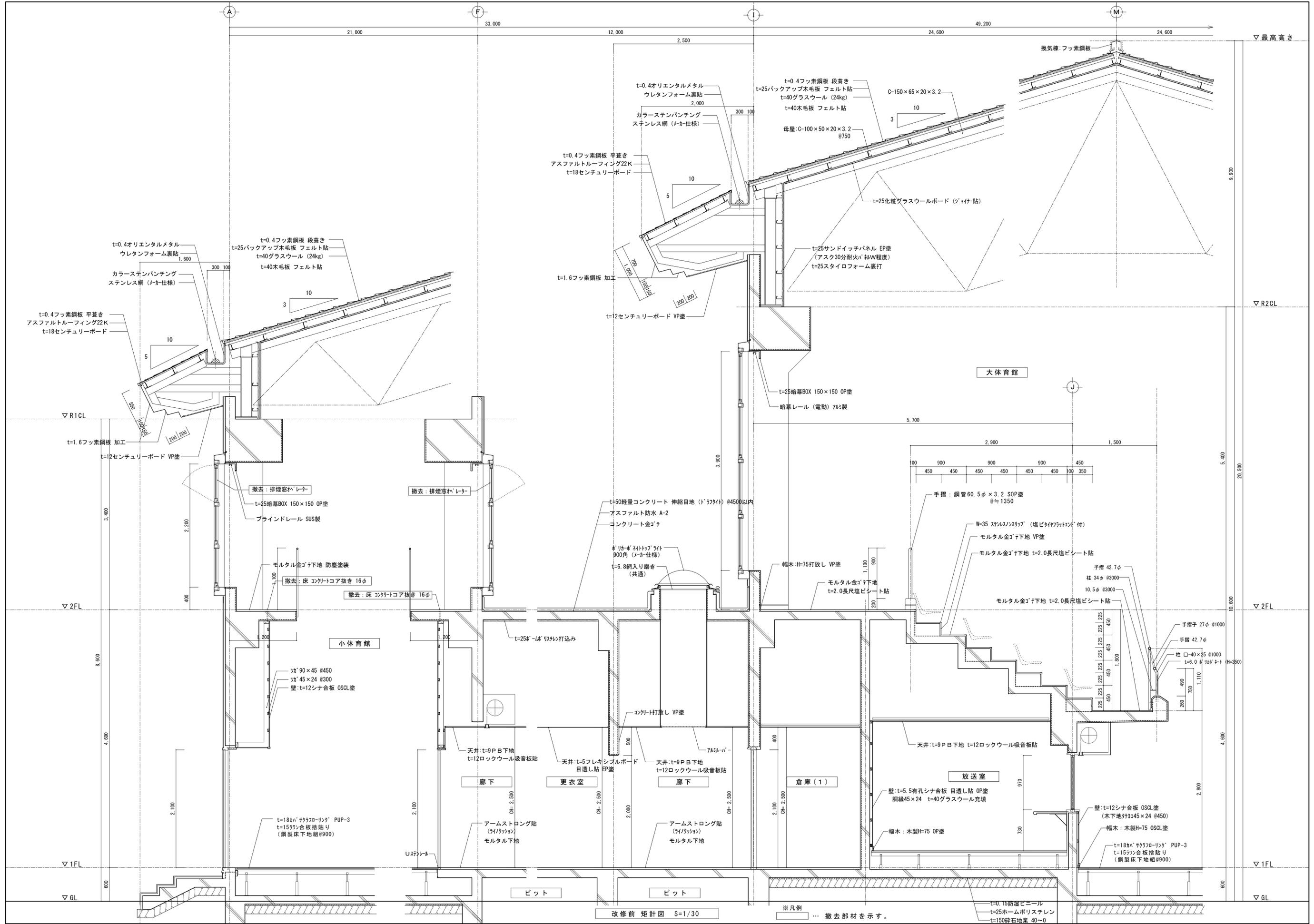


▽ G L

改修後 a部立面図 S=1/200

改修後 b部立面図 S=1/200

改修後 東立面図 S=1/200



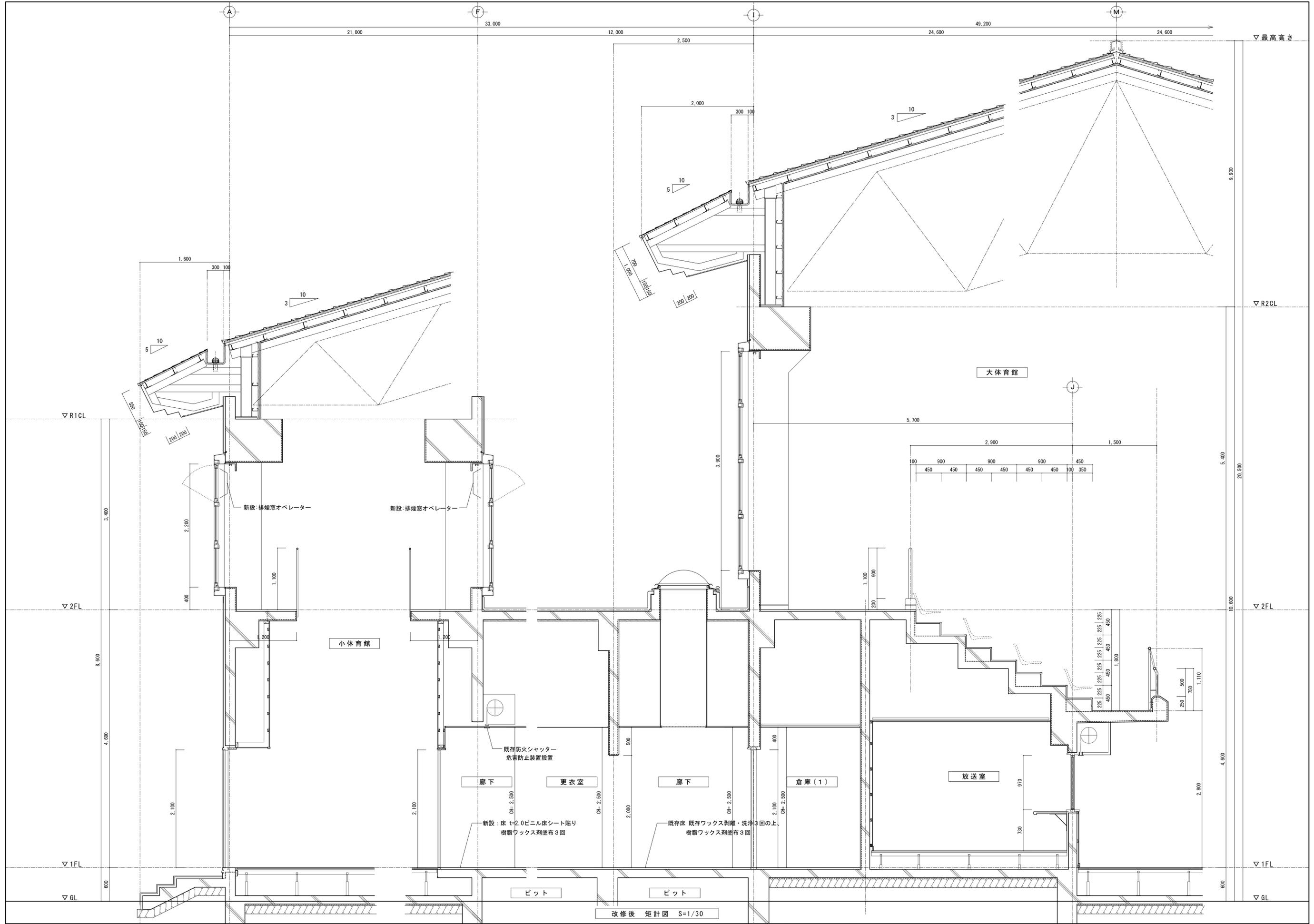
改修前 矩計図 S=1/30

※凡例  
... 撤去部材を示す。

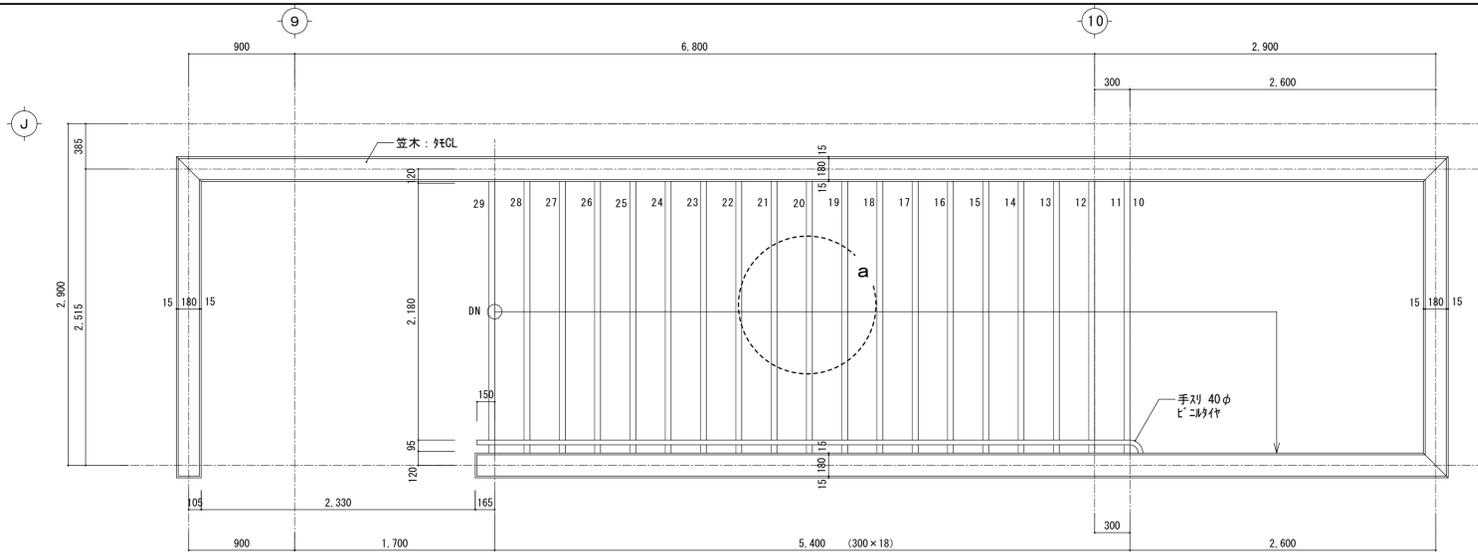
一級建築士事務所 (有) クボタ建築設計事務所  
茨城県 第A2210号 (2805)  
建設大臣登録第210340号  
一級建築士 久保田 吉文

設計 担当 製図  
縮尺 S=1/30  
設計年月日 H30.

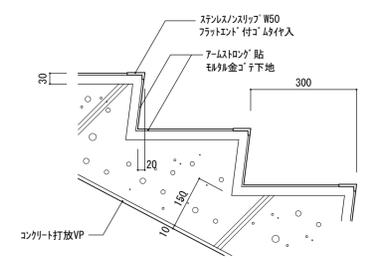
工事名称 平成30年度 石岡運動公園体育館改修工事  
図面名称 改修前 矩計図



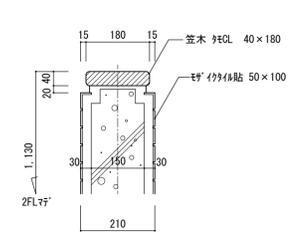
改修後 矩計図 S=1/30



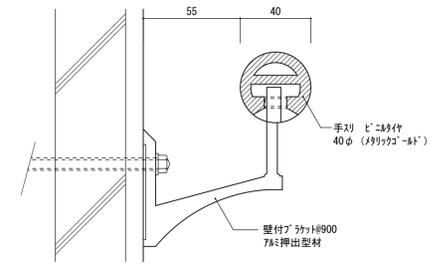
2階平面詳細図 S=1:30



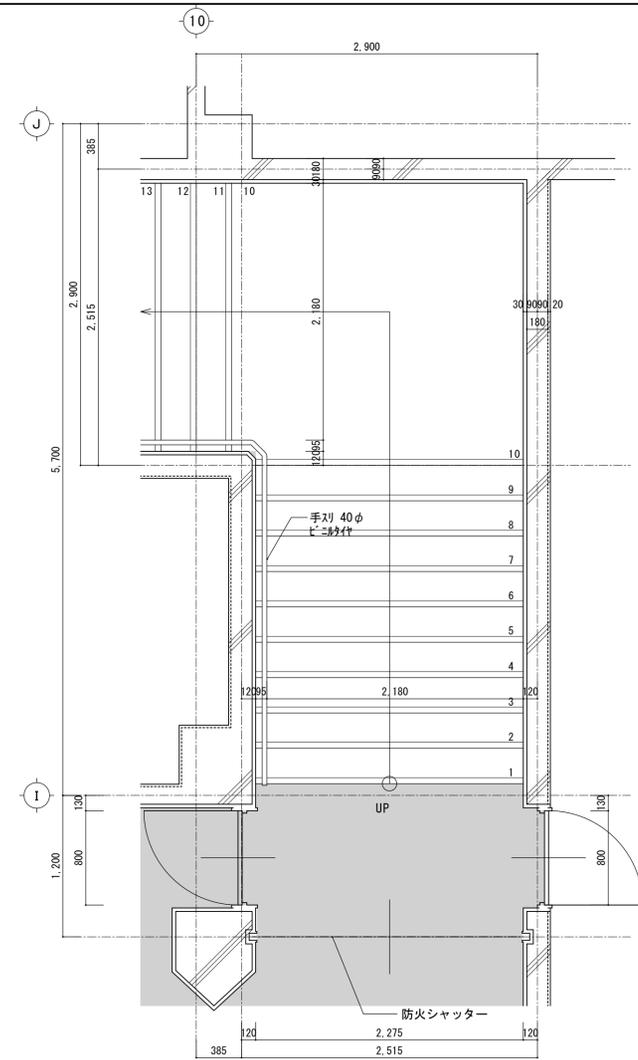
a部分詳細図 S=1:10



部分詳細図 S=1:10

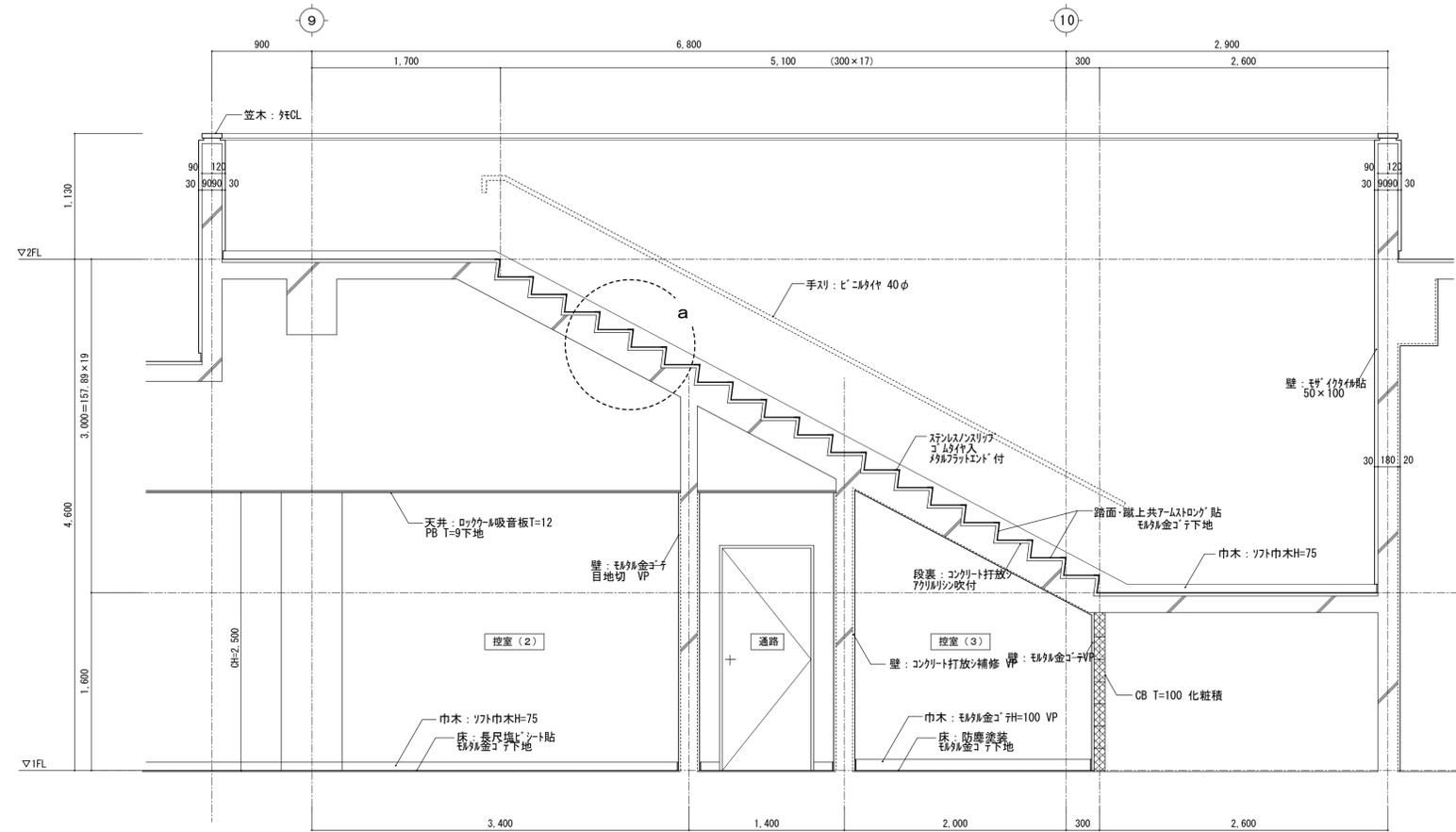


部分詳細図 S=1:2

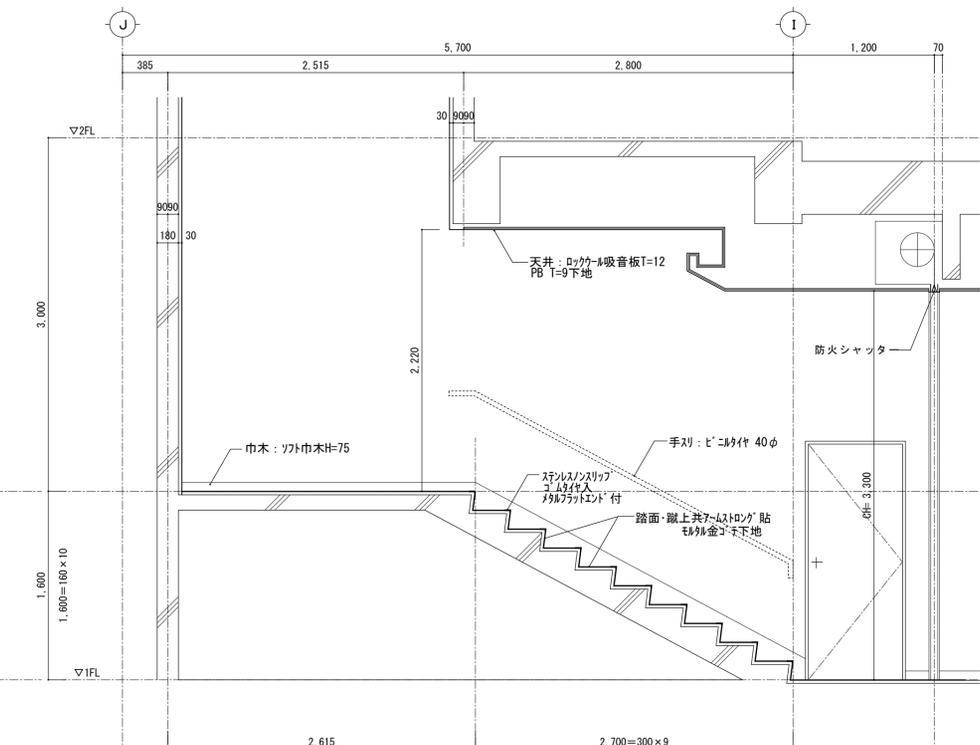


2階平面詳細図 S=1:30

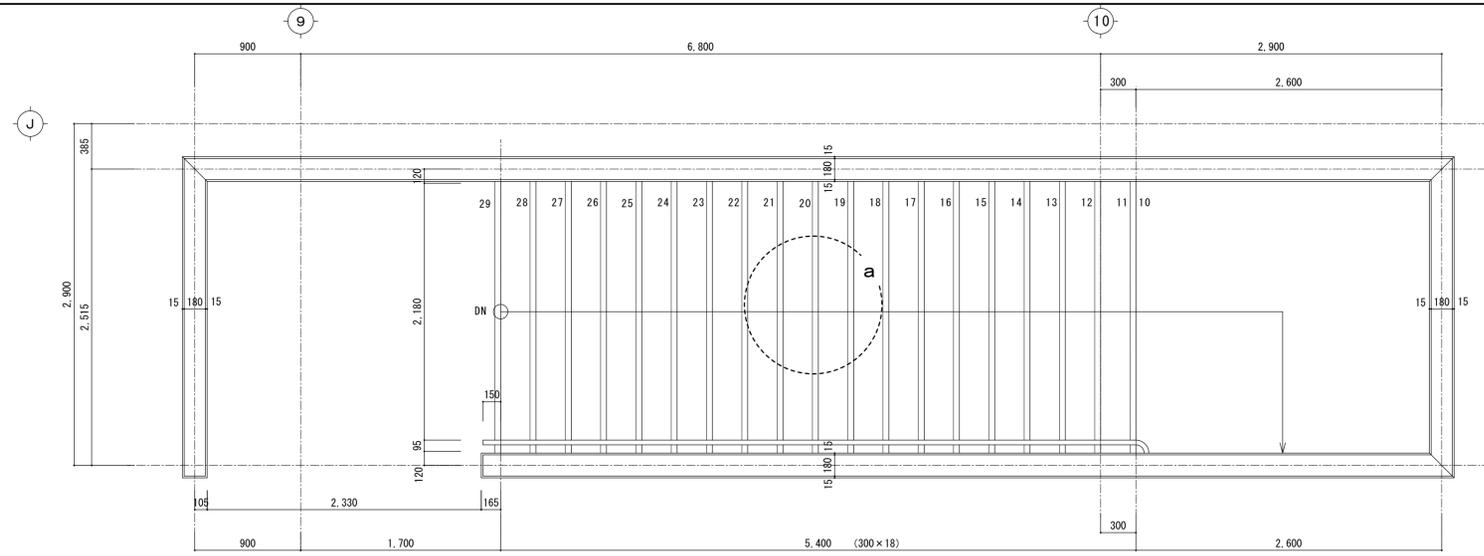
※凡例  
 ... 工事対象範囲を示す。



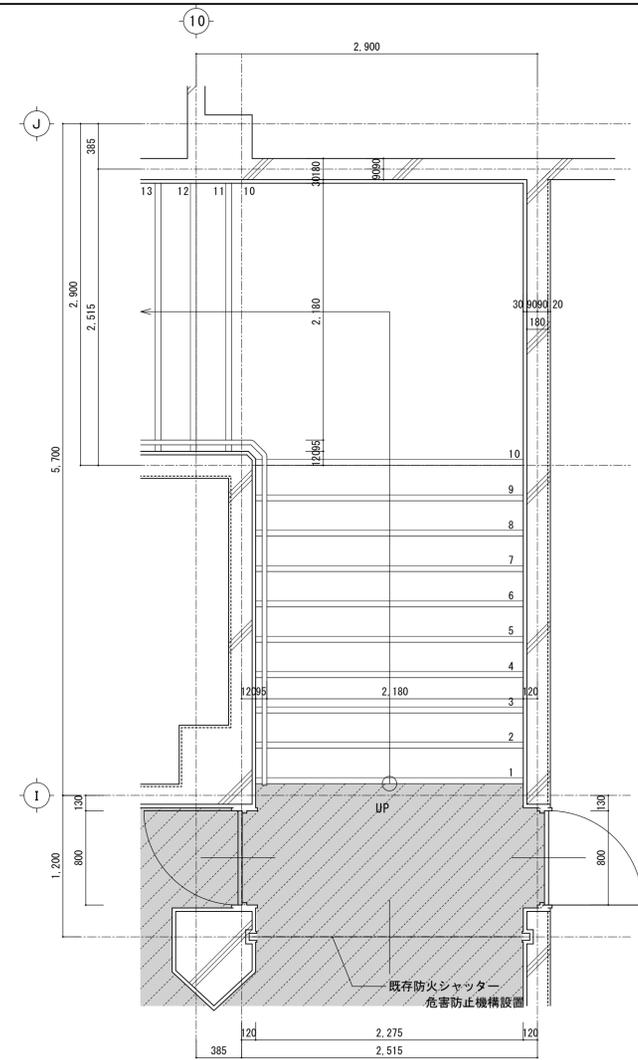
断面詳細図 S=1:30



断面詳細図 S=1:30

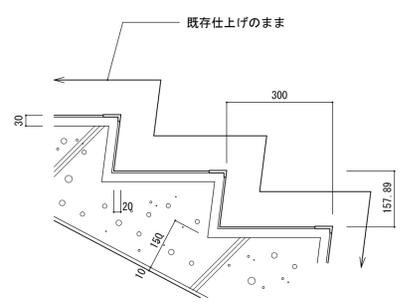


2階平面詳細図 S=1:30

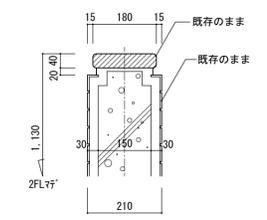


2階平面詳細図 S=1:30

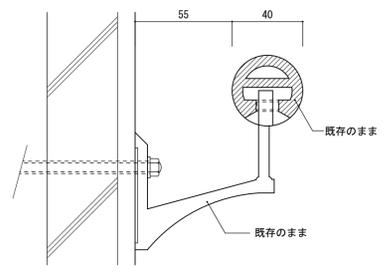
※凡例  
 ... 工事対象範囲を示す。  
 ... 既存床 既存ワックス剥離・洗浄3回の上、樹脂ワックス剤塗布3回の範囲を示す。



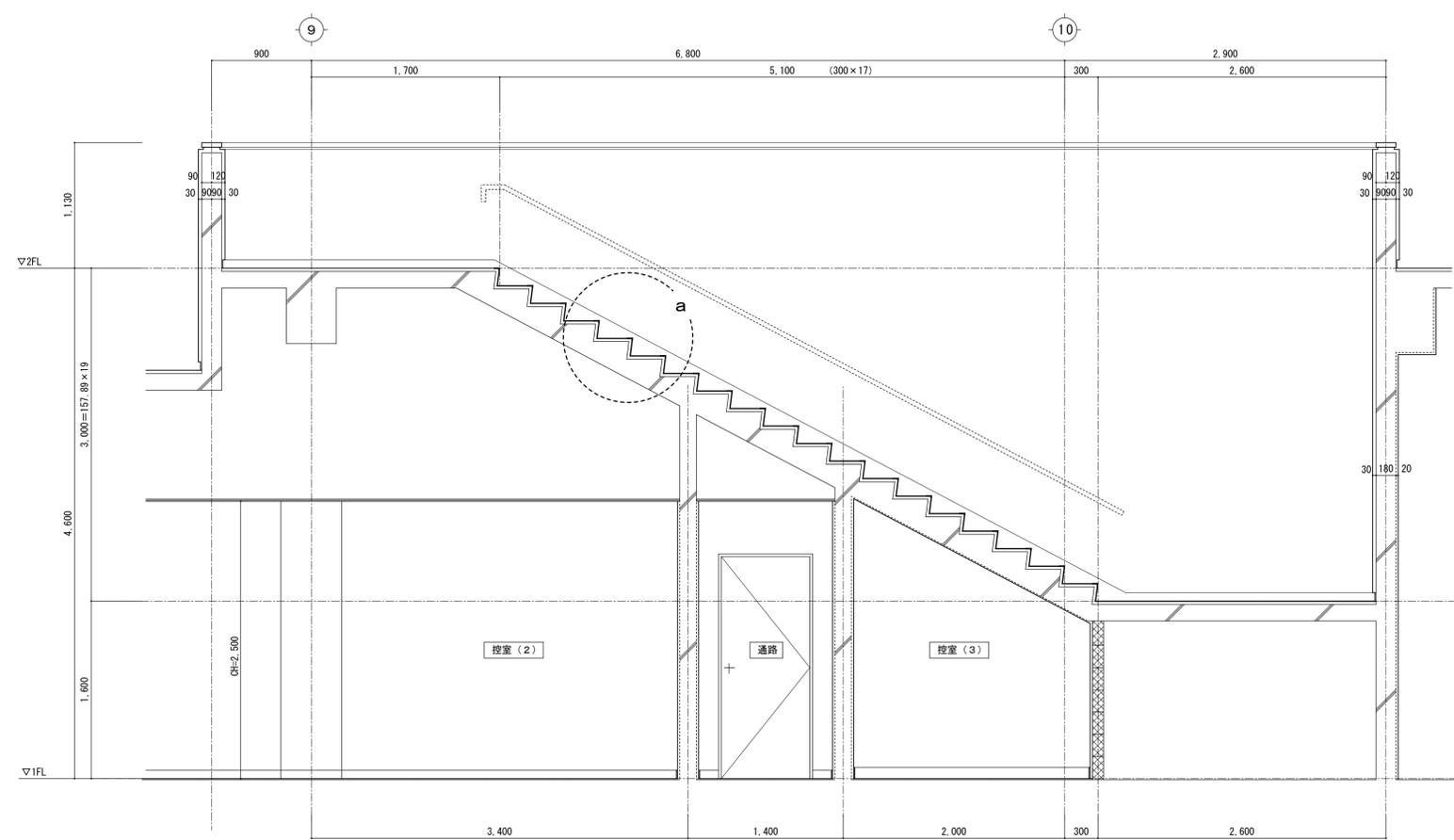
a部分詳細図 S=1:10



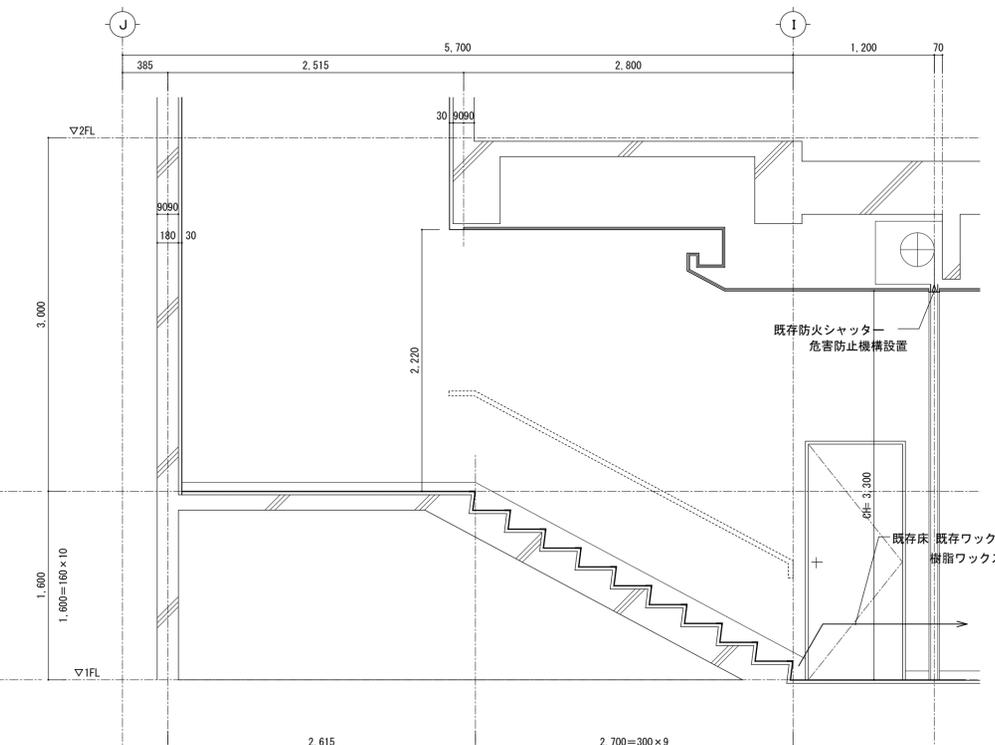
部分詳細図 S=1:10



部分詳細図 S=1:2



断面詳細図 S=1:30

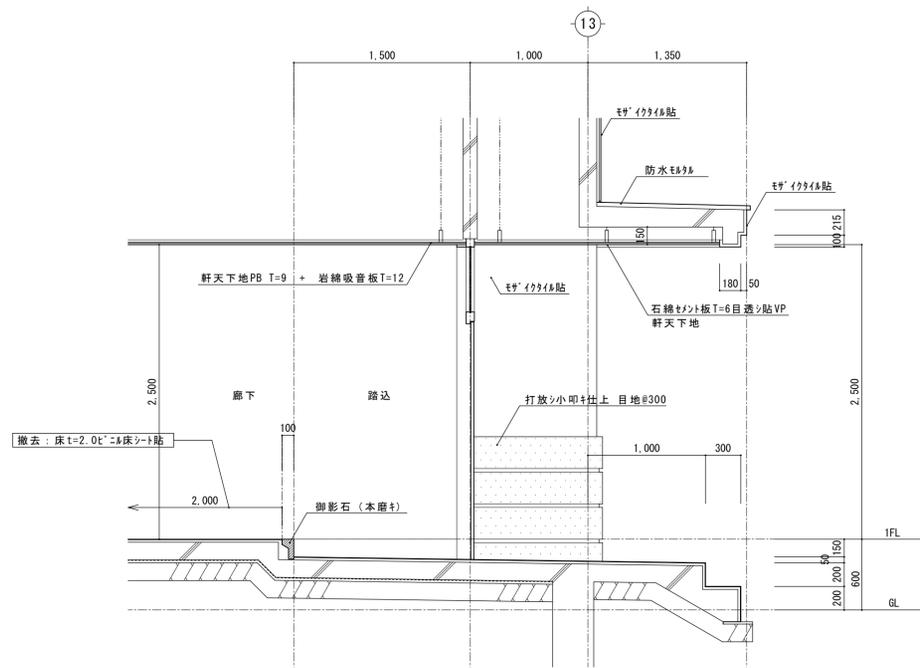


断面詳細図 S=1:30

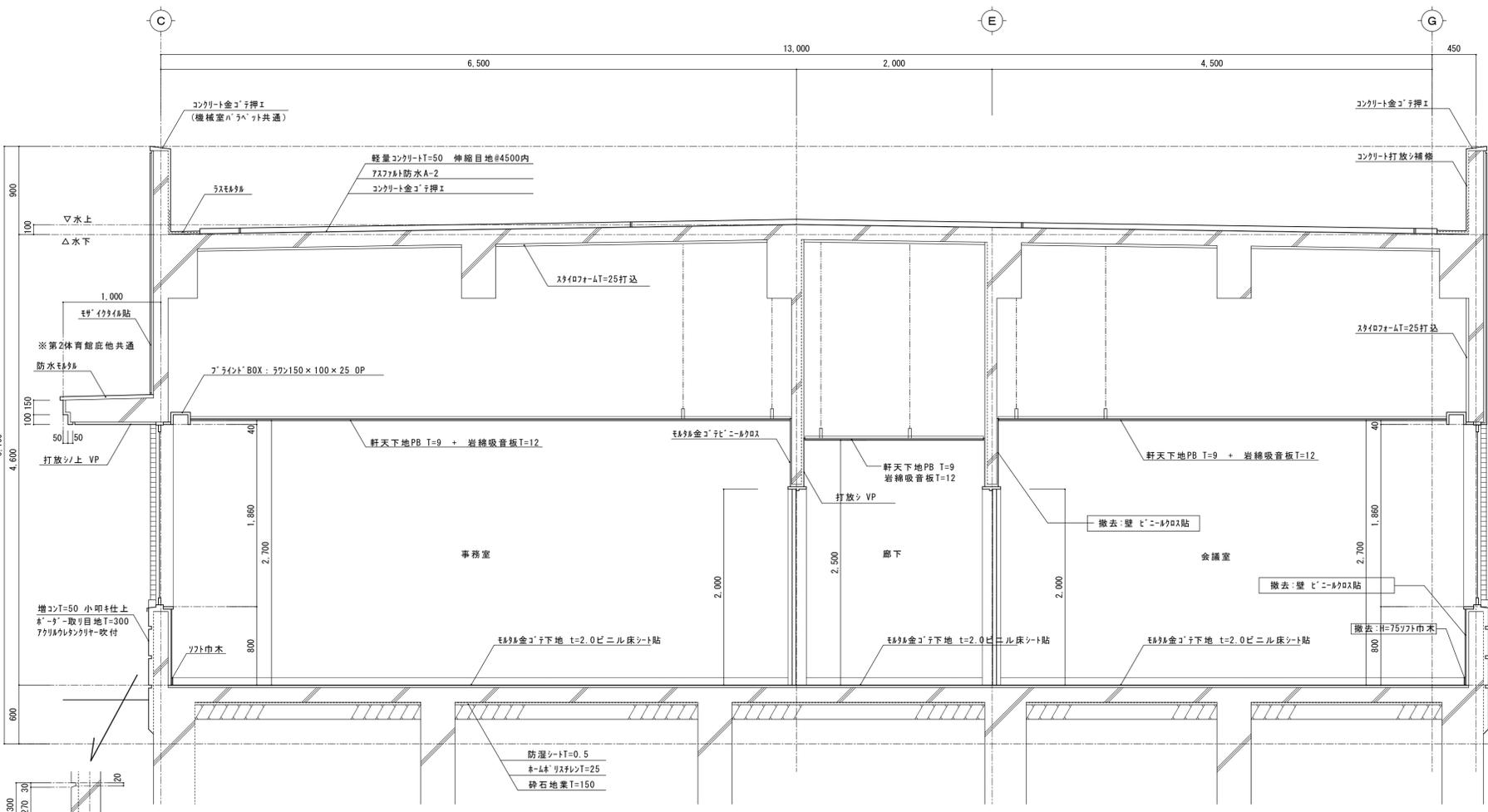
一級建築士事務所 (有)クボタ建築設計事務所  
 茨城県 第A2210号(2805)  
 建設大臣登録第210340号  
 一級建築士 久保田 吉文

設計 担当 製図  
 縮尺 S=1/2, 10, 30  
 設計年月日 H30.

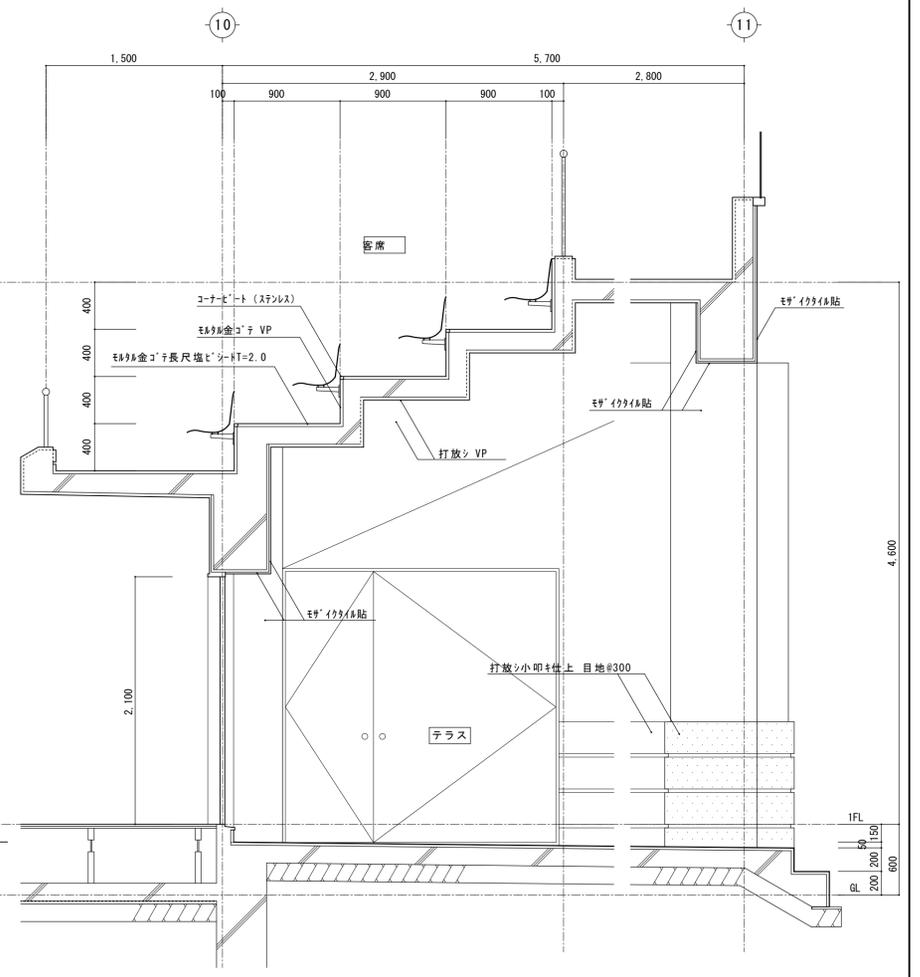
工事名称 平成30年度 石岡運動公園体育館改修工事  
 図面名称 改修後 内部階段詳細図



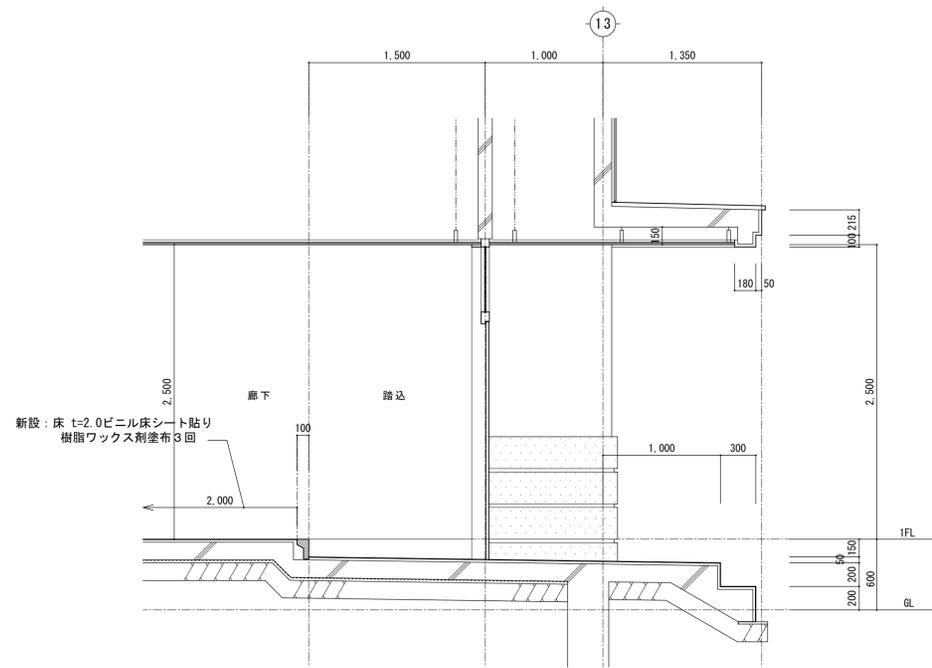
通用出入口廻り 断面詳細図 S=1:30 ※凡例 ... 撤去部材を示す。



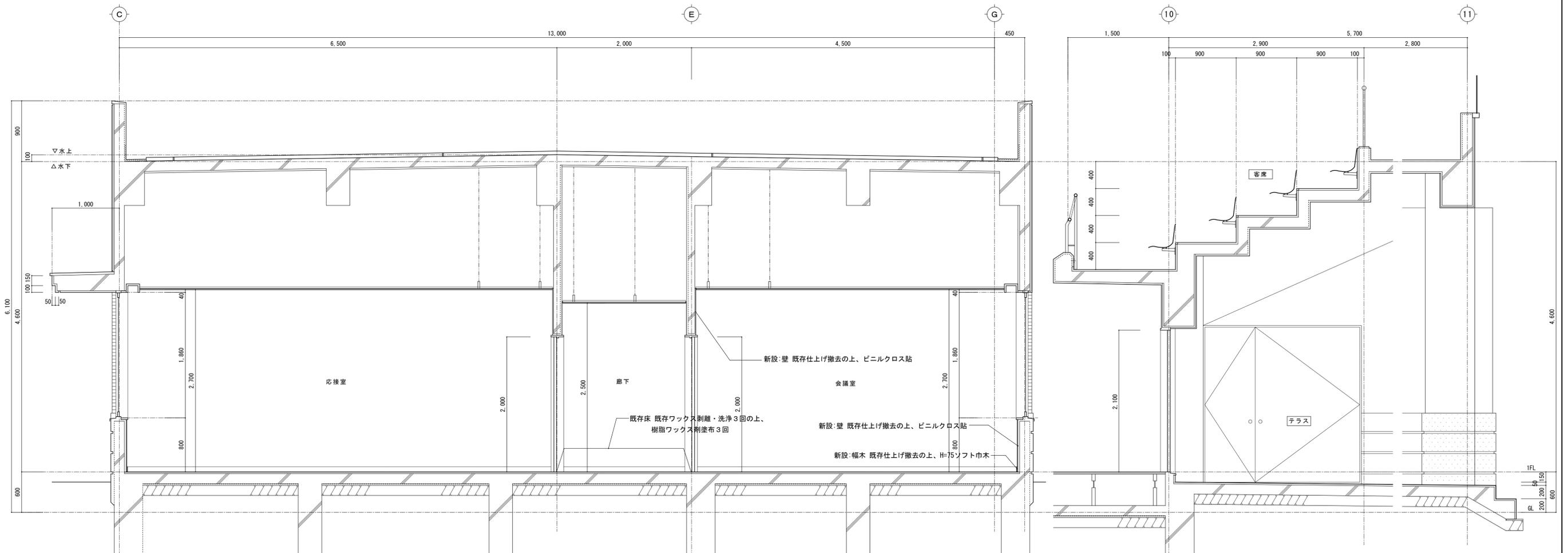
事務室断面詳細図 S=1:30 ※凡例 ... 撤去部材を示す。



テラス部 断面詳細図 S=1:30 ※凡例 ... 撤去部材を示す。



改修後 通用出入口 断面詳細図 S=1:30



改修後 管理部 断面詳細図 S=1:30

改修後 テラス部 断面詳細図 S=1:30

※凡例

--- 工事対象範囲を示す。

/// 既存鉄部、下地調整の上、錆止め塗装、DP塗



 一級建築士事務所 (有)クボタ建築設計事務所  
 茨城県 第A2210号(2805)  
 建設大臣登録第210340号  
 一級建築士 久保田 吉文

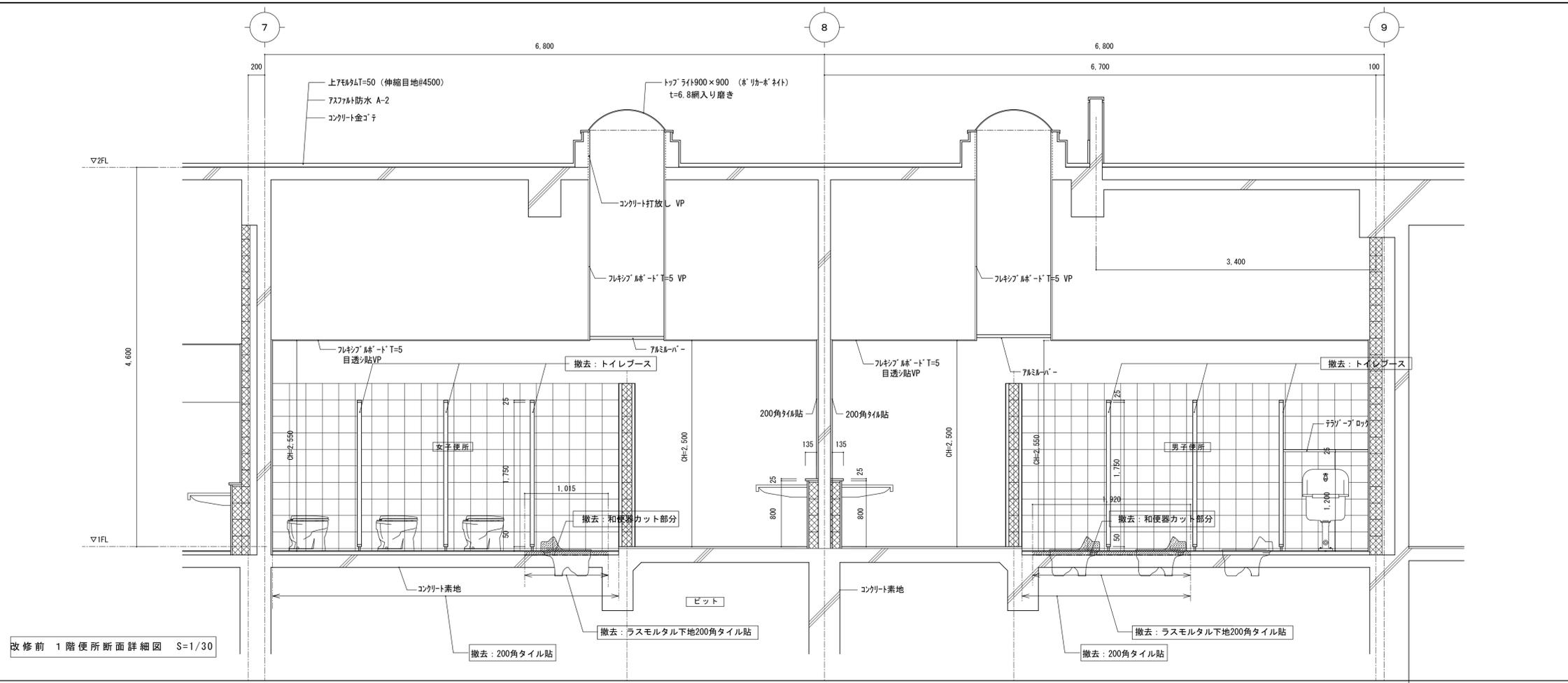
設計	担当	製図
縮尺	S=1/30	
設計年月日	H30.10	

工事名称 平成30年度 石岡運動公園体育館改修工事  
 図面名称 改修後事務室・観客席部断面詳細図

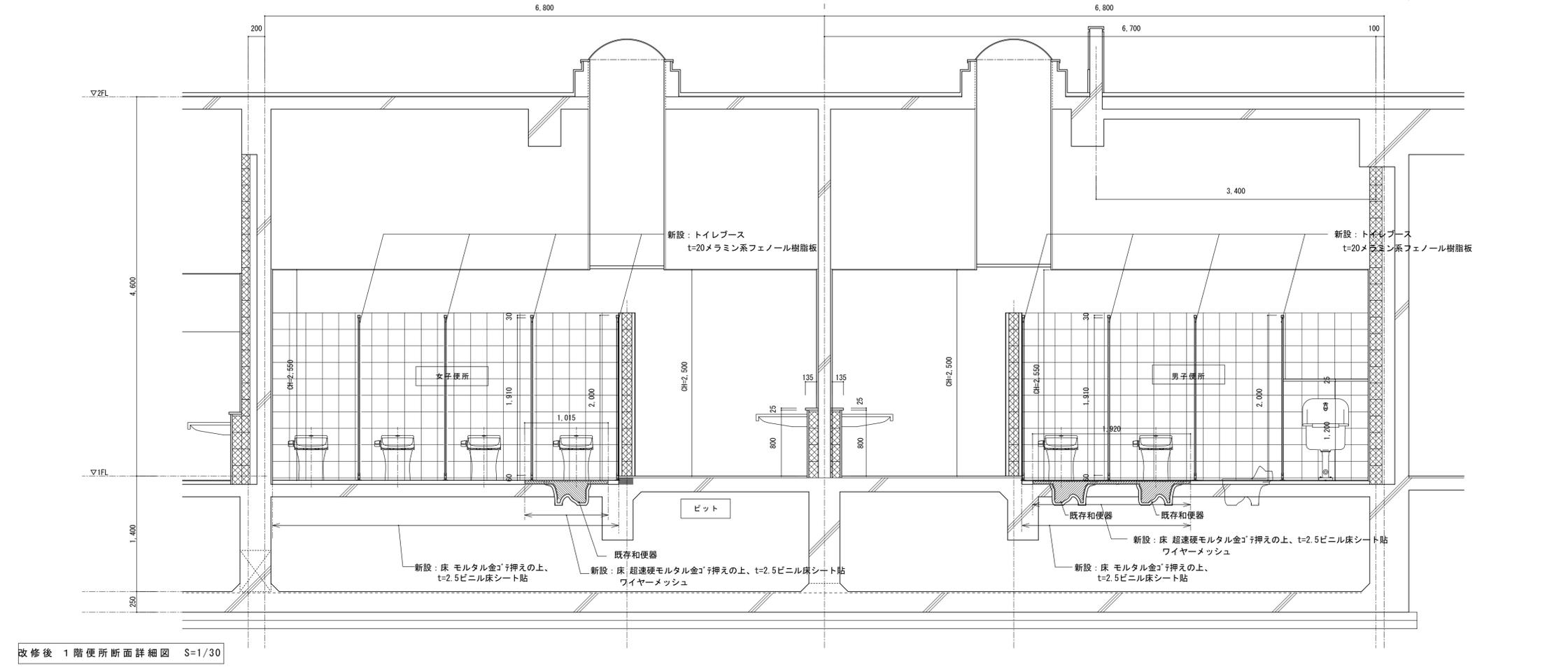
各室撤去工事項目
男子・女子便所
・既存床200角タイル下地一部撤去
・既存床200角タイル一部撤去
・既存トイレブースの撤去
・既存和便器一部撤去
・既存洋便器一部撤去（設備工事）

凡例
□ … 撤去部材を示す。

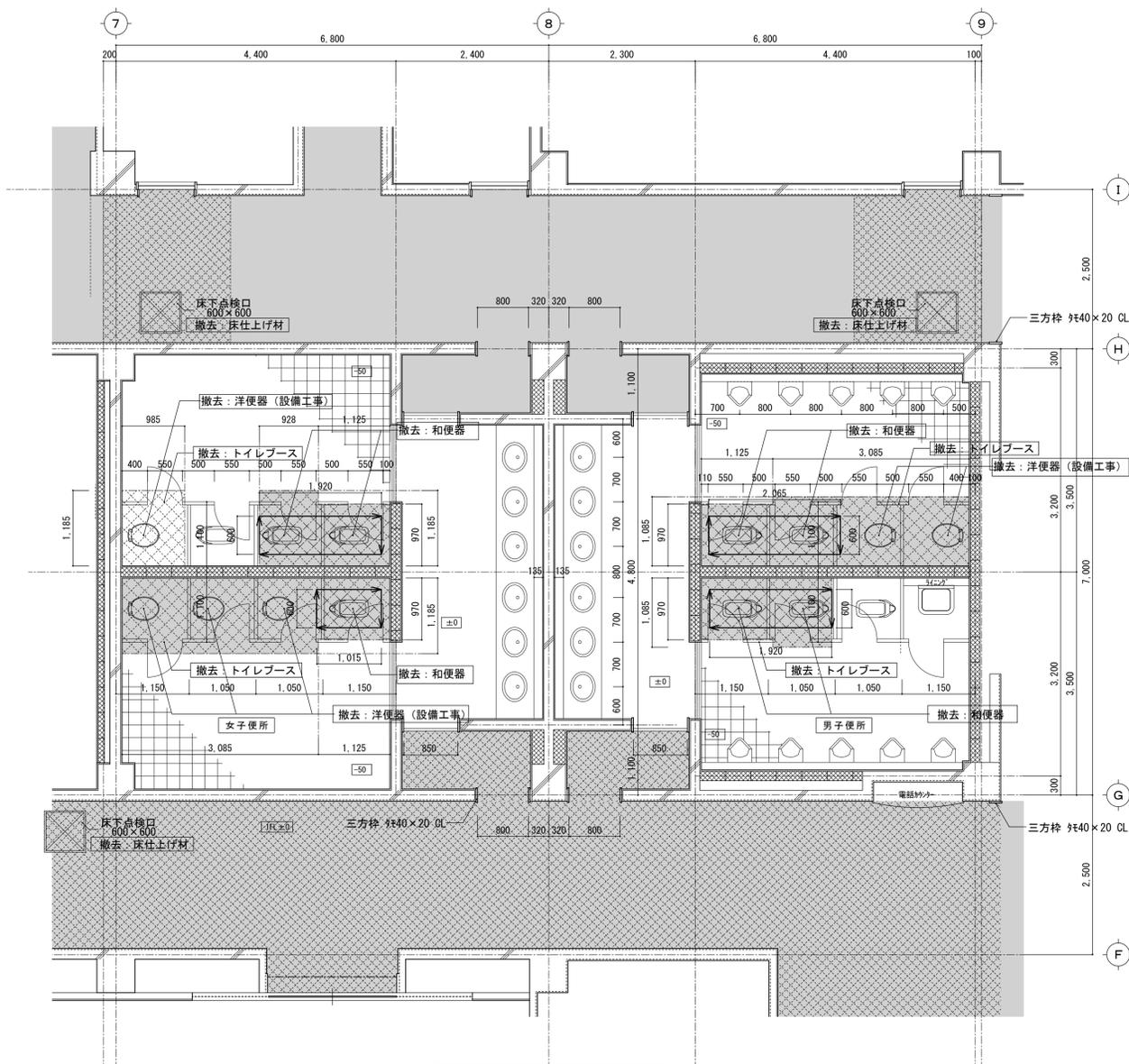
改修後内部仕上
男子・女子便所
・床 一部既存ラスモルタル下地200角タイル貼撤去 下地調整の上、t=3.0ウレタン塗膜防水 超速硬モルタル金ゴ押しの上、t=2.5ビニル床シート貼
・床 一部既存200角タイル貼撤去 薄塗りモルタル金ゴ押しの上、t=2.5ビニル床シート貼
・トイレブース (t=20メラミン系フェノール樹脂板)
・トイレブース カーブ引戸廻り (t=20メラミン系フェノール樹脂板)



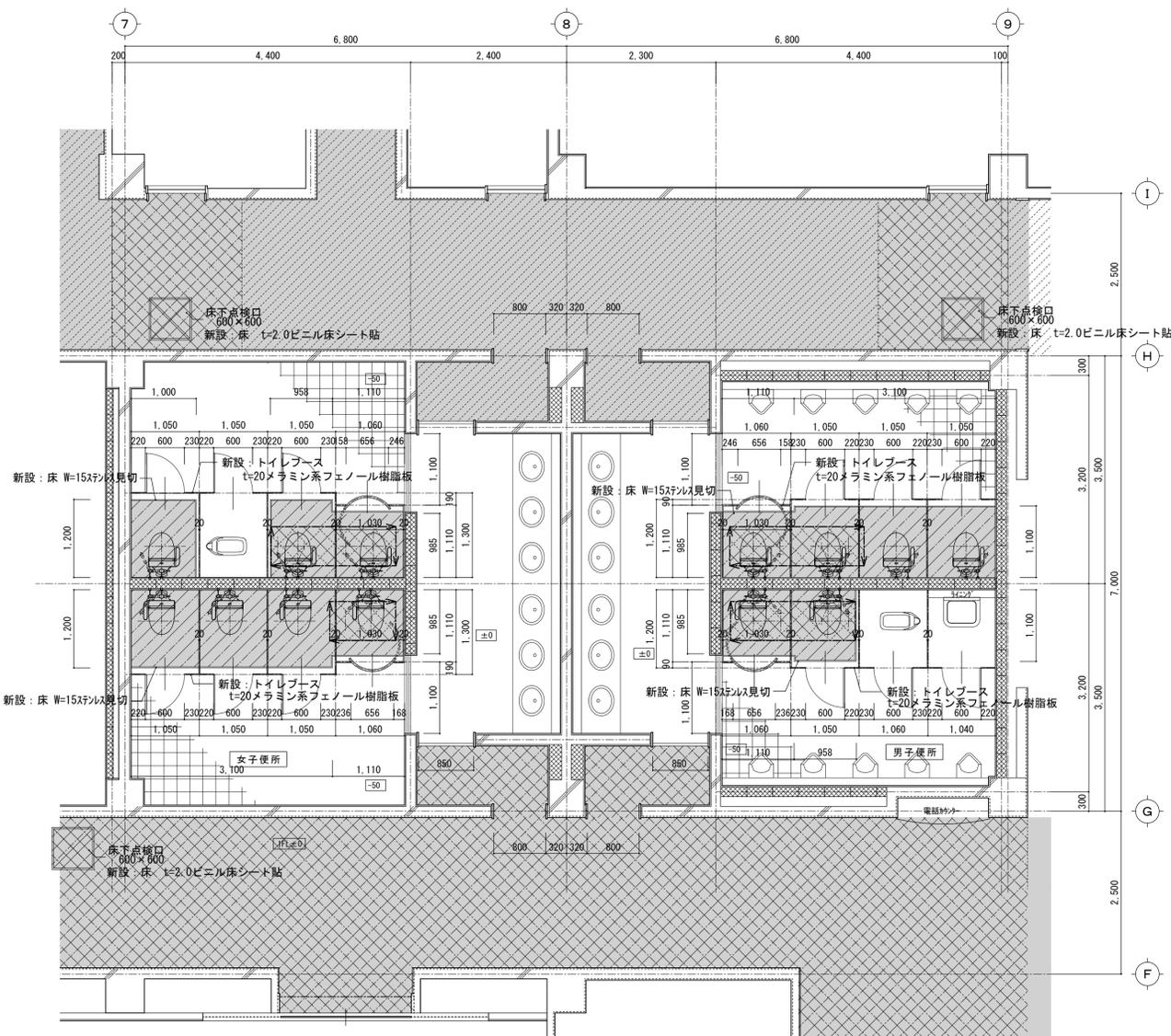
改修前 1階便所断面詳細図 S=1/30



改修後 1階便所断面詳細図 S=1/30



改修前 平面詳細図 S=1/50



改修後 平面詳細図 S=1/50

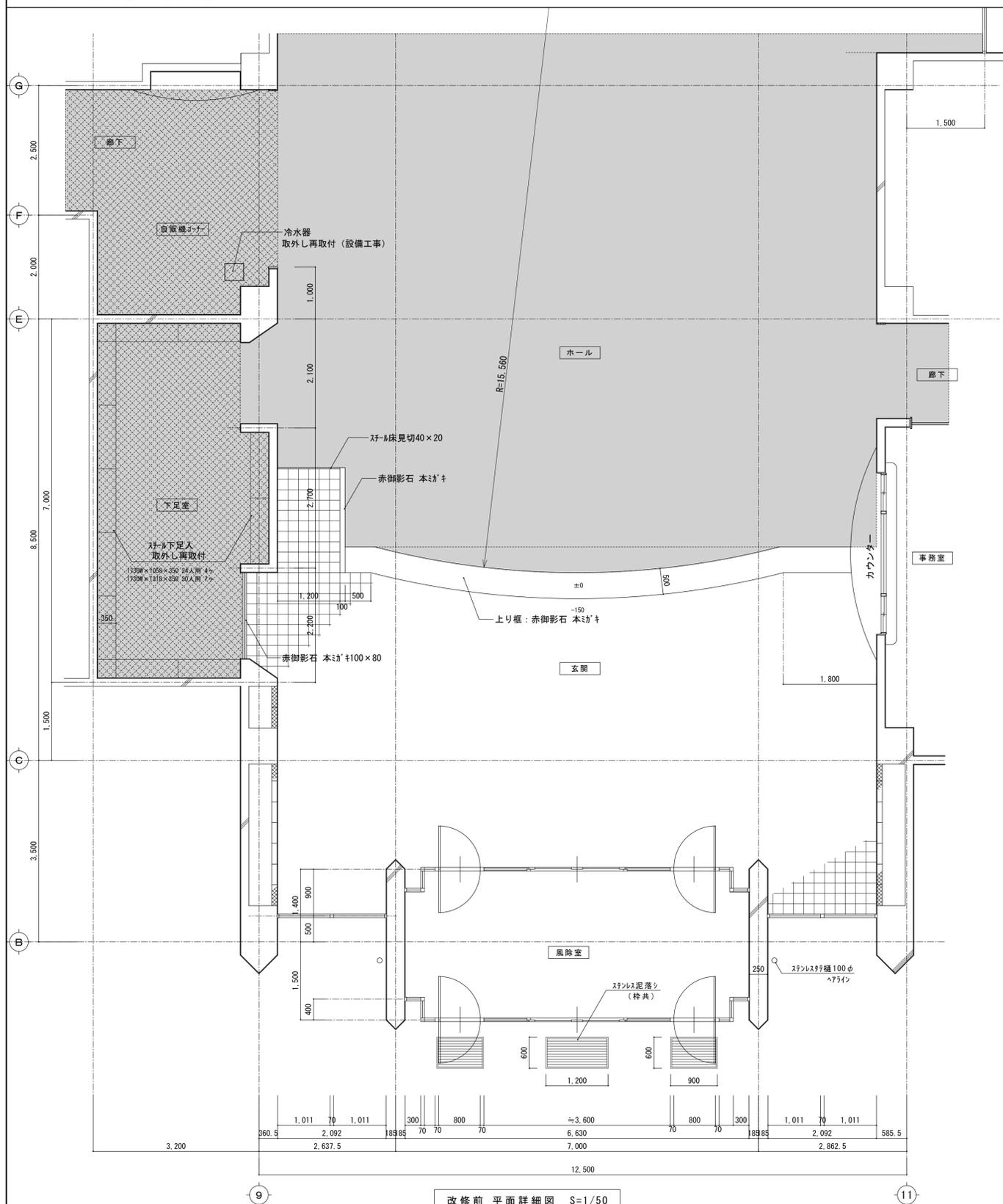
各室撤去工事項目
男子・女子便所
・既存床200角タイル下地共一部撤去
・既存床200角タイル一部撤去
・既存トイレブースの撤去
・既存和便器一部撤去
・既存洋便器一部撤去 (設備工事)

凡例
... 工事対象範囲を示す。
... 撤去部材を示す。
... 既存仕上げ材の撤去部分を示す。
... 既存仕上げ下地材の撤去部分を示す。

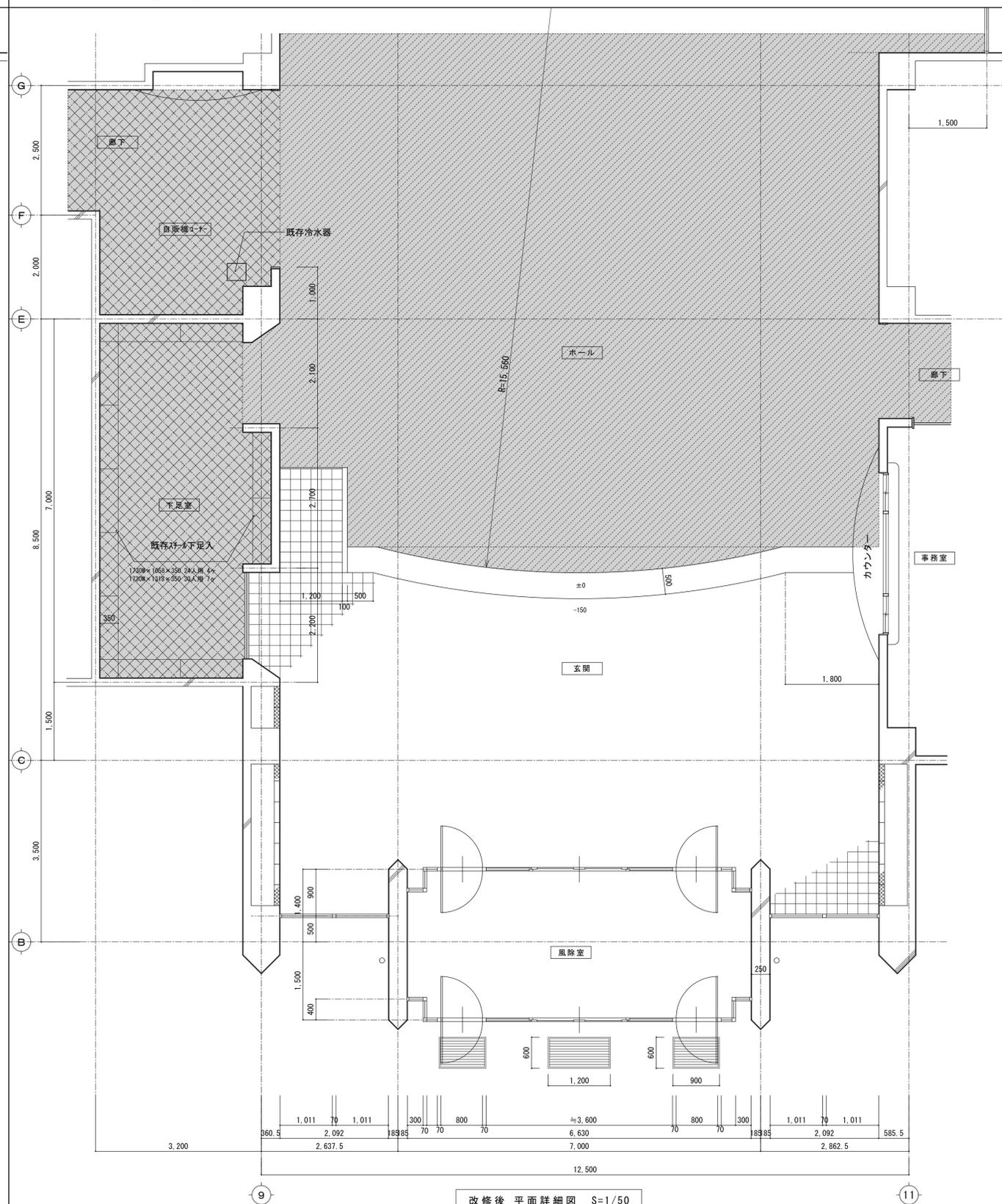
改修後内部仕上
男子・女子便所
・床 一部既存ラスモルタル下地200角タイル貼撤去 下地調整の上、t=3.0ウレタン塗膜防水 超速硬モルタル (ワイヤーメッシュ) 金ゴ押しの上、t=2.5ビニル床シート貼
・床 一部既存200角タイル貼撤去 薄塗りモルタル金ゴ押しの上、t=2.5ビニル床シート貼
・トイレブース (t=20メラミン系フェノール樹脂板)
・トイレブース カーブ引戸廻り (t=20メラミン系フェノール樹脂板)

凡例
... 工事対象範囲を示す。
... 既存仕上げ材撤去、薄塗りモルタル金ゴ押しの上、t=2.5ビニル床シート貼
... 既存仕上げ材撤去の上、t=2.0ビニル床シート貼 (樹脂ワックス塗布3回)
... 床仕上げ 既存ワックス剥離・洗浄3回の上、樹脂ワックス塗布3回の範囲を示す。
... 既存仕上げ下地材撤去 下地調整の上、t=3.0ウレタン塗膜防水 超速硬モルタル (ワイヤーメッシュ) 金ゴ押しの上、t=2.5ビニル床シート貼





改修前 平面詳細図 S=1/50



改修後 平面詳細図 S=1/50

各室撤去工事項目	凡例
ホール	<ul style="list-style-type: none"> <li>--- 工事対象範囲を示す。</li> <li>--- 撤去部材を示す。</li> <li>--- 既存仕上げ材の撤去部分を示す。</li> </ul>
下足室	
<ul style="list-style-type: none"> <li>床 t=2.0ビニル床シート貼仕上げ撤去</li> <li>既存スチール下足入れ 取外し再取付</li> </ul>	
廊下	
<ul style="list-style-type: none"> <li>床 t=2.0ビニル床シート貼仕上げ材一部撤去</li> <li>既存冷水器 取外し再取付 (設備工事)</li> </ul>	

改修後内部仕上	凡例
ホール	<ul style="list-style-type: none"> <li>--- 工事対象範囲を示す。</li> <li>--- 既存仕上げのまま</li> <li>--- 既存仕上げ材撤去の上、t=2.0ビニル床シート貼 (樹脂ワックス塗布3回)</li> <li>--- 既存床仕上げ 既存ワックス剥離・洗浄3回の樹脂ワックス塗布3回の範囲を示す。</li> </ul>
下足室	
<ul style="list-style-type: none"> <li>床 既存仕上げ材の撤去の上、t=2.0ビニル床シート貼</li> </ul>	
廊下	
<ul style="list-style-type: none"> <li>床 既存仕上げ材の一部撤去の上、t=2.0ビニル床シート貼</li> </ul>	

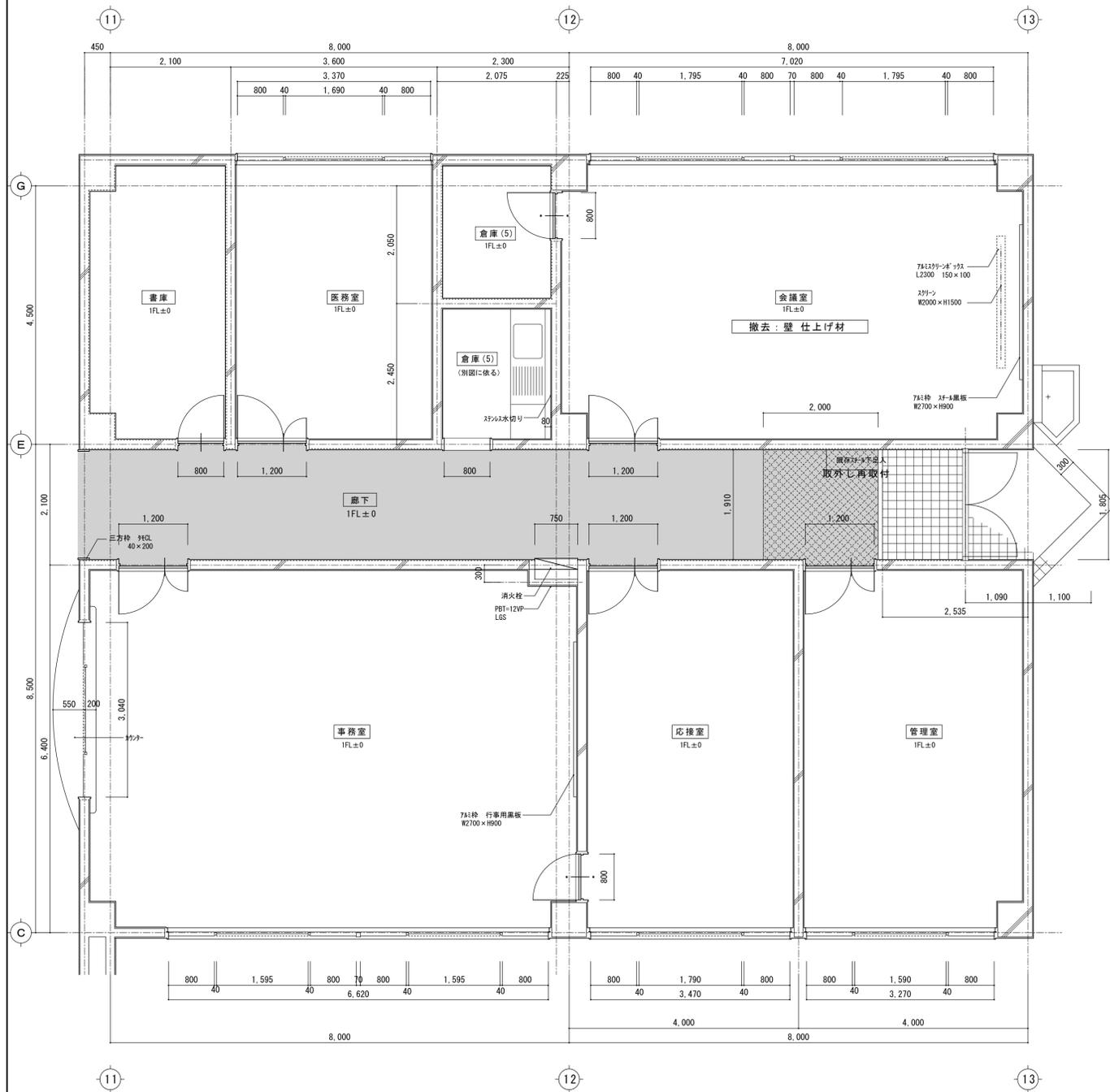


一級建築士事務所 (有)クボタ建築設計事務所  
 茨城県 第A2210号 (2805)  
 建設大臣登録第210340号  
 一級建築士 久保田 吉文

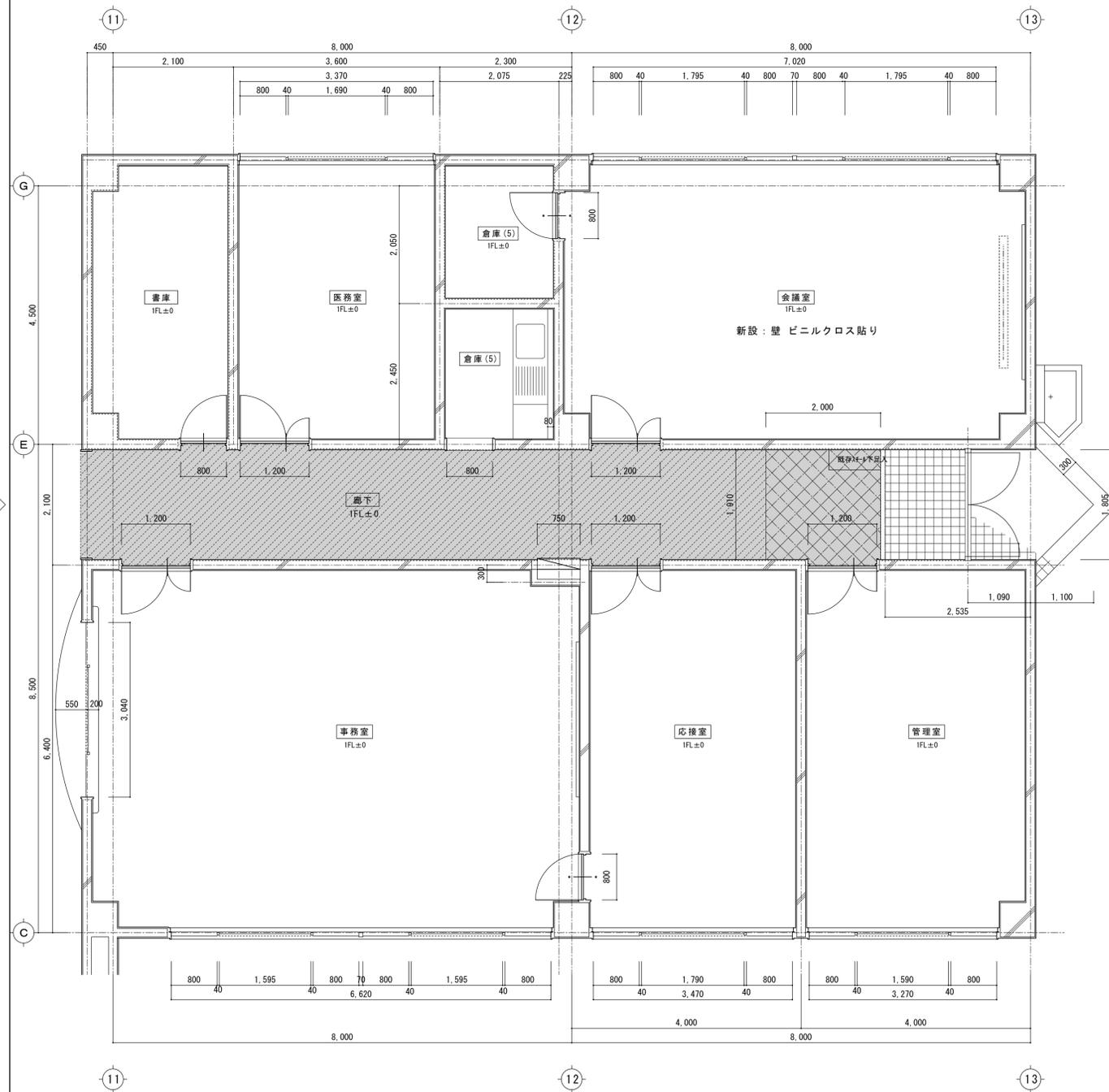
設計	担当	製図

縮尺  
S=1/50  
設計年月日  
H30.

工事名称 平成30年度 石岡運動公園体育館改修工事  
 図面名称 1階玄関廻り平面詳細図



改修前事務室廻り平面詳細図 S=1 : 50



改修後事務室廻り平面詳細図 S=1 : 50

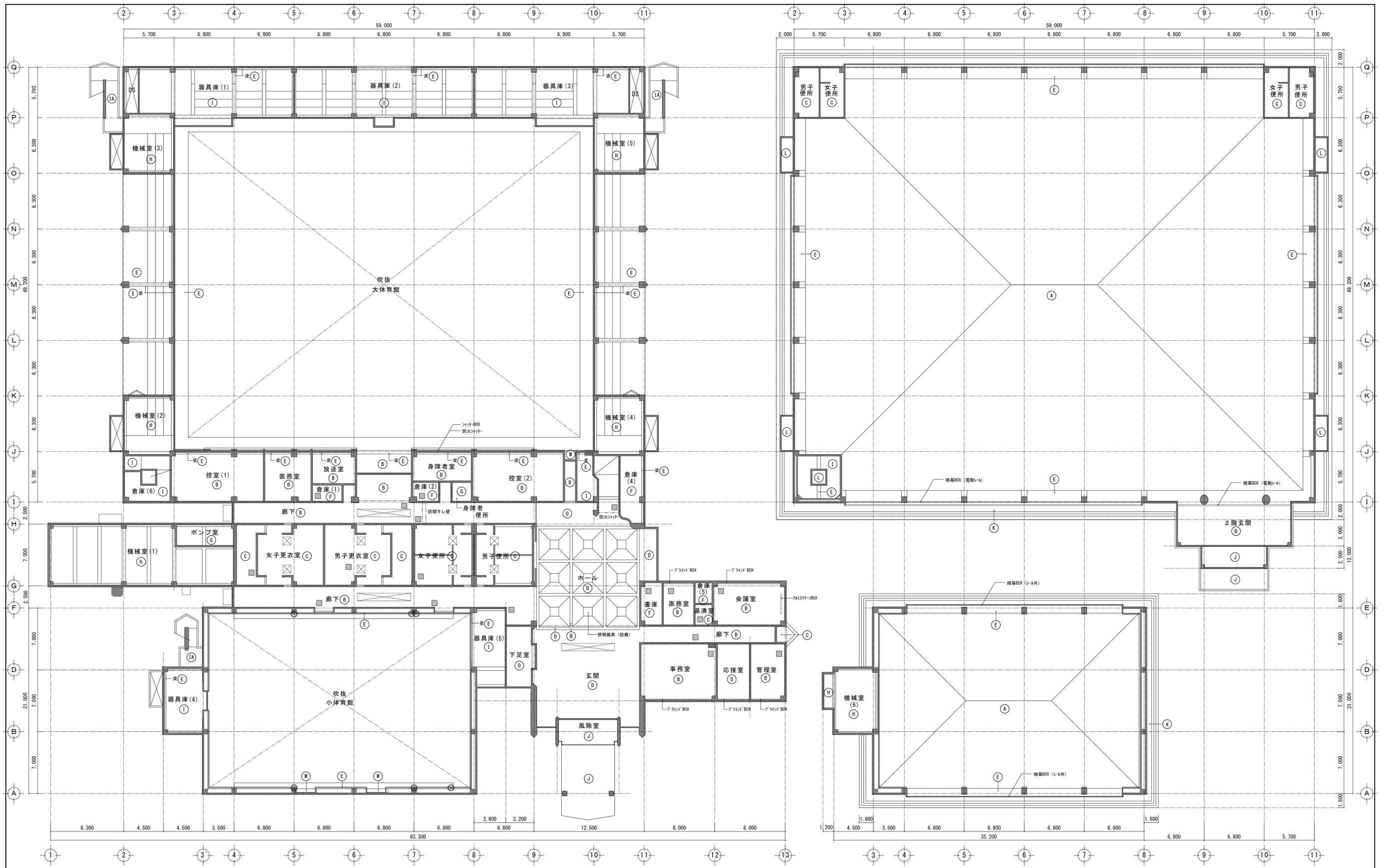
<p>各室撤去工事項目</p> <p>廊下</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>床 t=2.0ビニル床シート貼仕上げ材の一部撤去</li> <li>既存スチール下足入れ 取外し再取付</li> </ul> <p>会議室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>壁 ビニルクロス貼仕上げ材の撤去</li> </ul>
---

<p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>--- 工事対象範囲を示す。</li> <li>--- 撤去部材を示す。</li> <li>--- 既存仕上げ材の撤去部分を示す。</li> </ul>
---

<p>改修後内部仕上</p> <p>廊下</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>床 t=2.0ビニル床シート貼</li> </ul> <p>会議室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>壁 ビニルクロス貼</li> </ul>
---

<p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>--- 工事対象範囲を示す。</li> <li>--- 既存仕上げ材撤去の上、t=2.0ビニル床シート貼（樹脂ワックス剥塗布3回）</li> <li>--- 既存床仕上げ 既存ワックス剥離・洗浄3回の樹脂ワックス剥塗布3回の範囲を示す。</li> </ul>
--



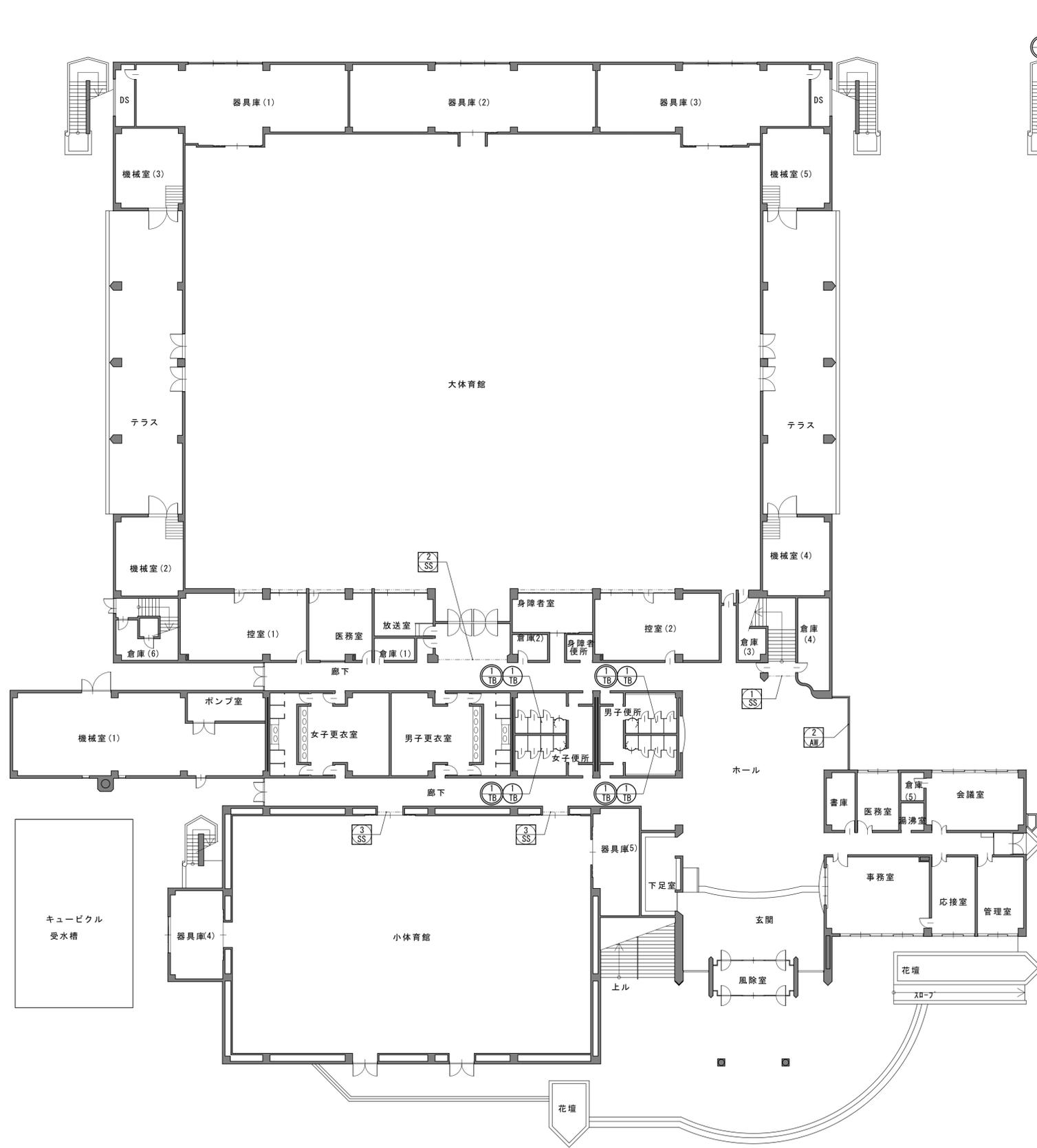


既存1階天井伏図 S=1/200

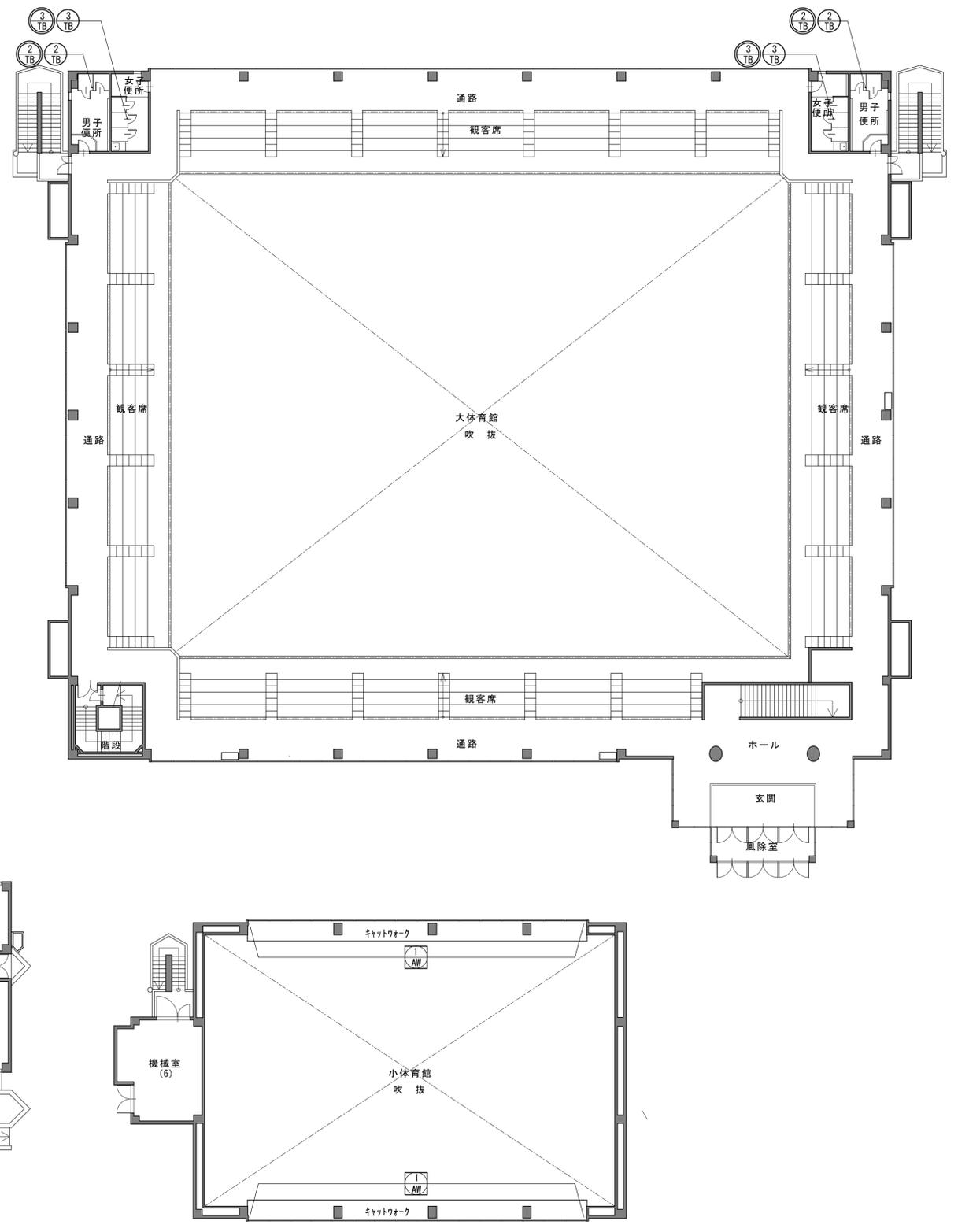
既存2階天井伏図 S=1/200

凡例	廻縁	廻縁	廻縁	廻縁	廻縁	廻縁	廻縁
(A) 仕上付ガラスウールボードT=25	塩ビ製	(E) コンクリート打放シV.P	(I) コンクリート打放シ アクリルリシン吹付	(L) コンクリート素地	(M) 榻合板T=9目透シ O.S.C.L	(注) 雑床	コンクリート打放シV.P
(B) P.B.T=9.5下地ロックウール吸音板T=12	塩ビ製	(F) P.B.T=9.5 目透シ貼E.P	(IA) コンクリート打放シ 吹付タイル仕上	(7) 雑床	(注) 雑床	(注) 雑床	コンクリート打放シV.P
(C) フレキシブルボードT=5 目透シ貼E.P	塩ビ製	(G) コンクリート打放シ	(J) アルミパネルカラー600口	(8) 天井点検口600×600 アルミ枠	(注) 雑床	(注) 雑床	コンクリート打放シV.P
(D) P.B.T=9.5下地ロックウール吸音板T=15(キューブ)	塩ビ製	(H) ガラスウールT=25 ガラスクロス押エ	(K) センチュリーボードT=12V.P		(注) 雑床	(注) 雑床	コンクリート打放シV.P

※凡例  
 [ ] ... 撤去部材を示す。  
 [ ] ... 天井仕上げ撤去範囲を示す。  
 [ ] ... 既存床コア抜きを示す。16φ



1階建具配置図 S=1/200



2階建具配置図 S=1/200

- 凡例
- … 撤去建具を示す。
  - ◎ … 新設建具を示す。
  - ◻ … 改修建具を示す。

撤去建具表

記号	① 1階：男子便所、女子便所 撤去
姿図	
種別	トイレブース 見込
数量	4ヶ所
金物	附属金物一式、ラバトリー金物、表示錠
硝子	
備考	ポリ合板アルミエッジタイプ

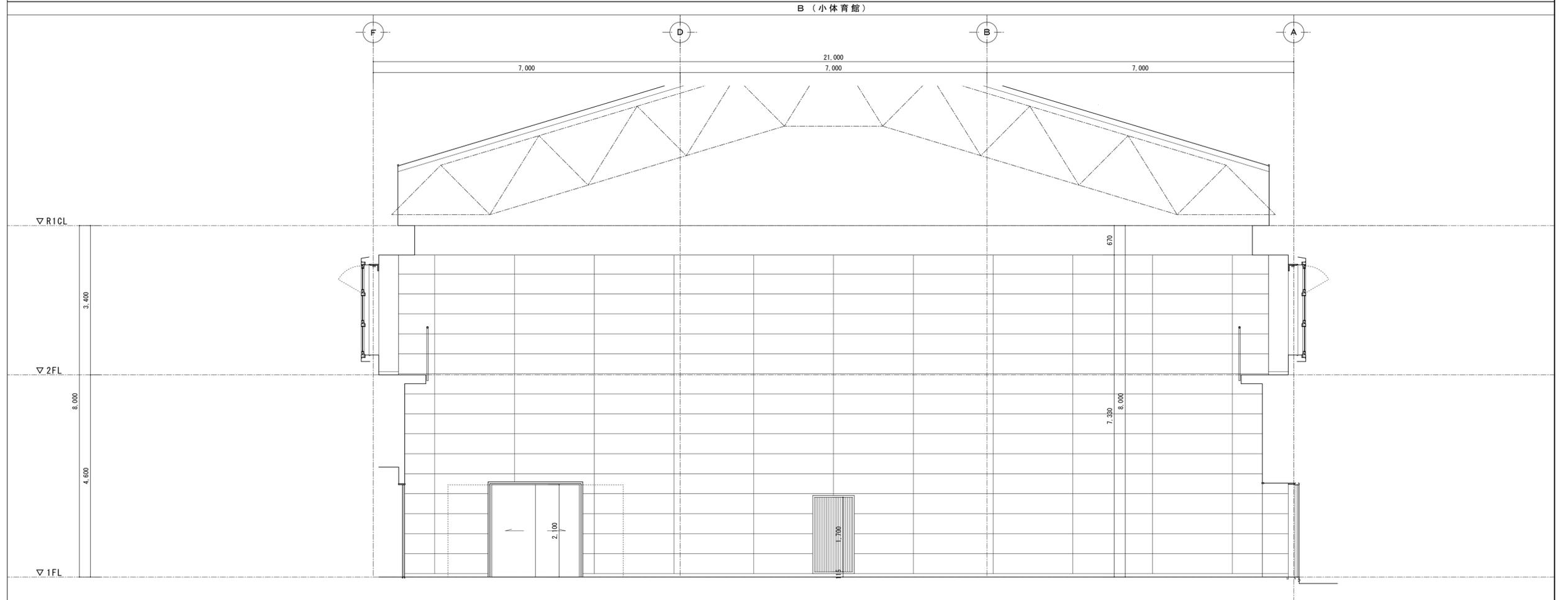
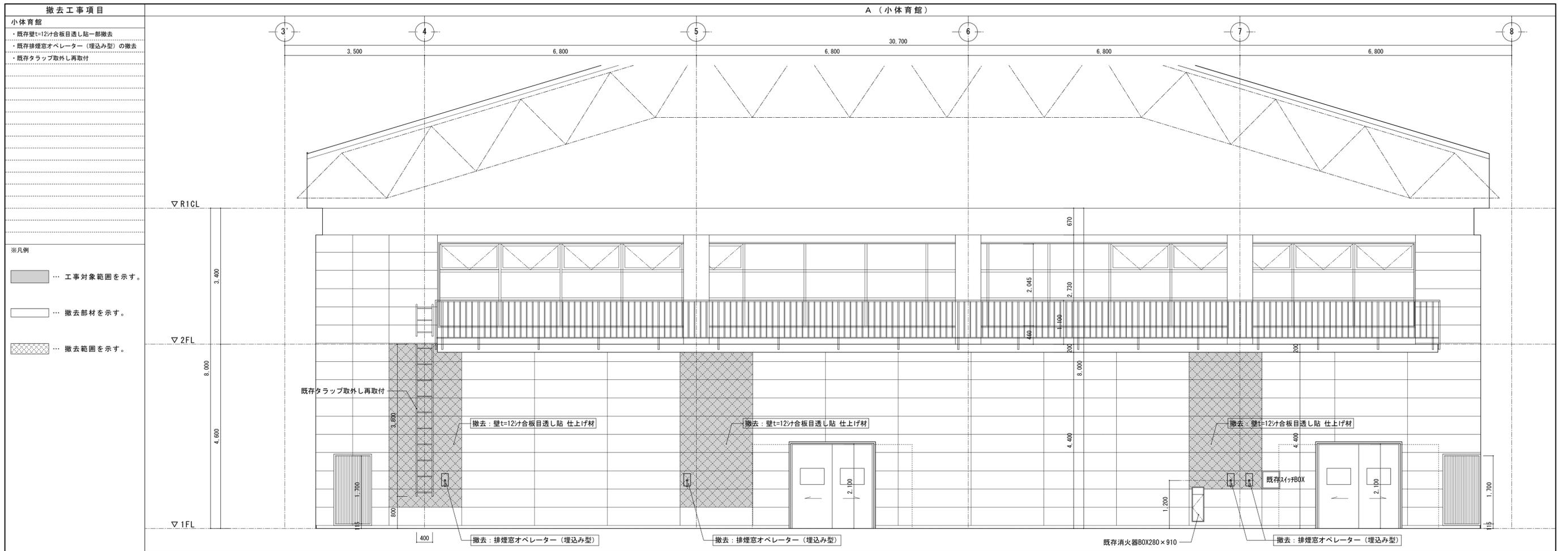
記号	② 2階：男子便所 撤去	③ 2階：女子便所 撤去
姿図		
種別	トイレブース 見込	トイレブース 見込
数量	2ヶ所	2ヶ所
金物	附属金物一式、ラバトリー金物、表示錠	附属金物一式、ラバトリー金物、表示錠
硝子		
備考	ポリ合板アルミエッジタイプ	ポリ合板アルミエッジタイプ

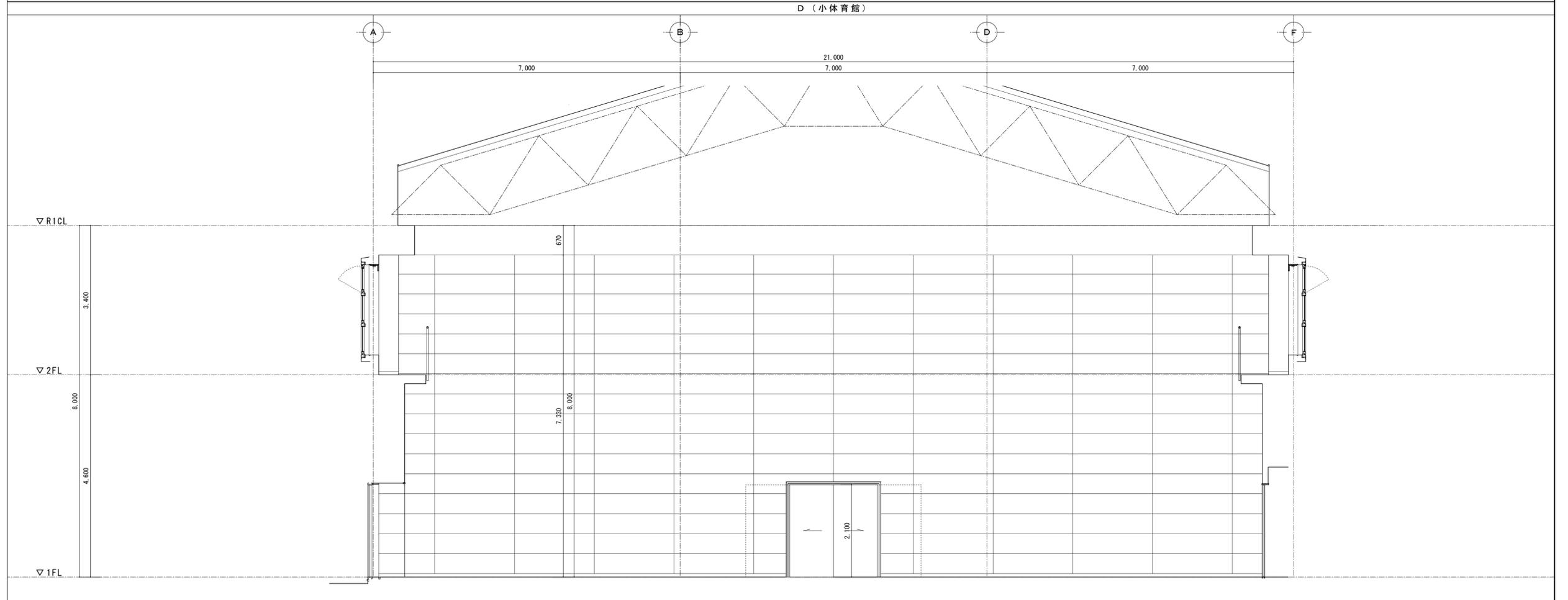
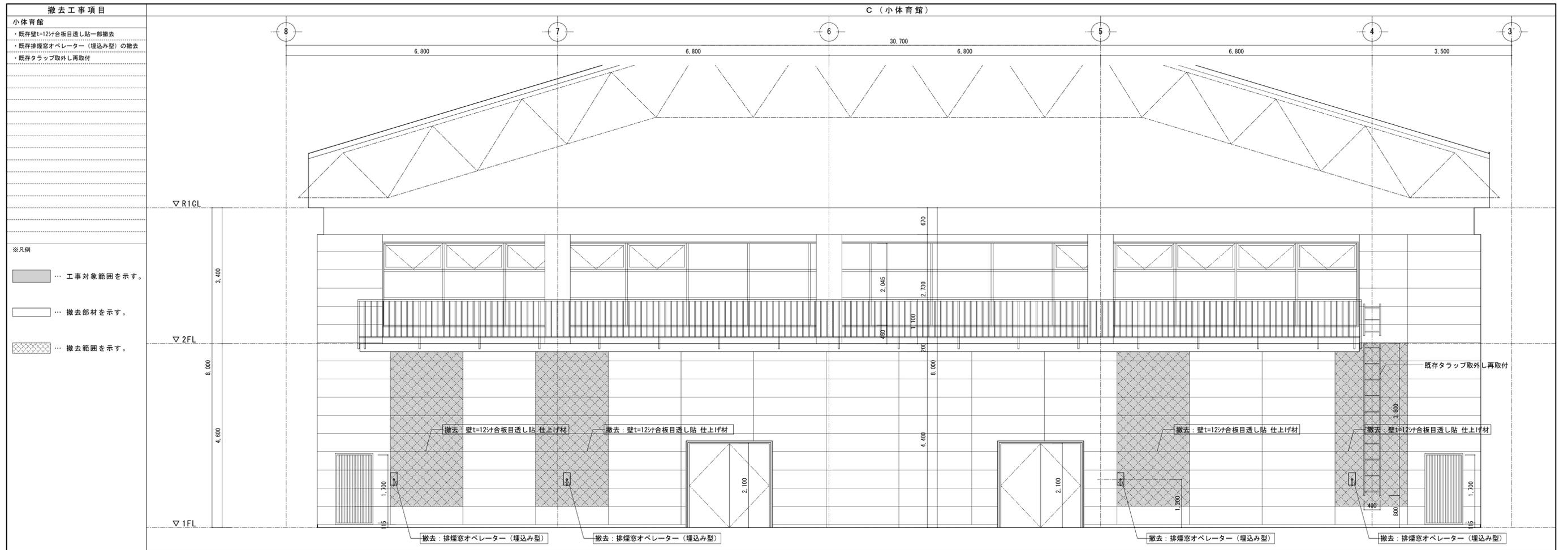
新設建具表

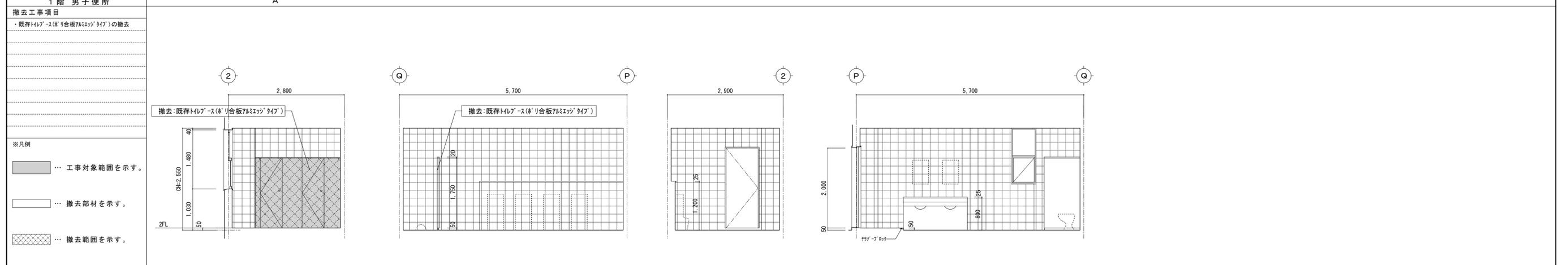
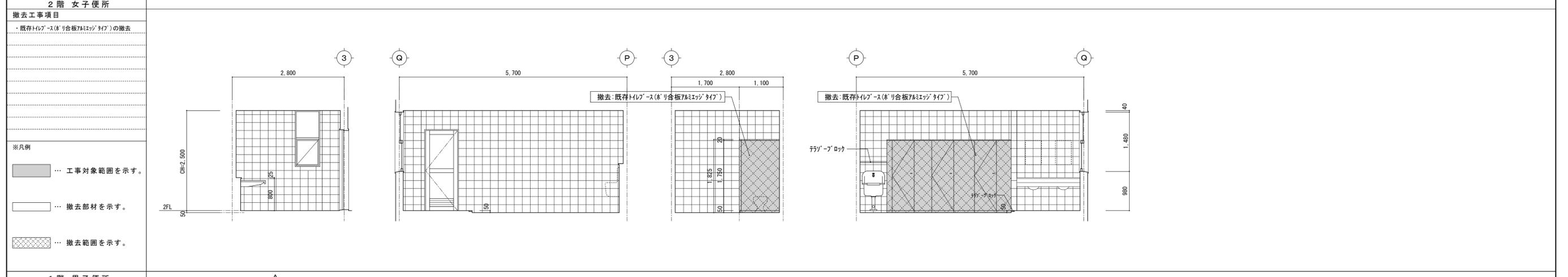
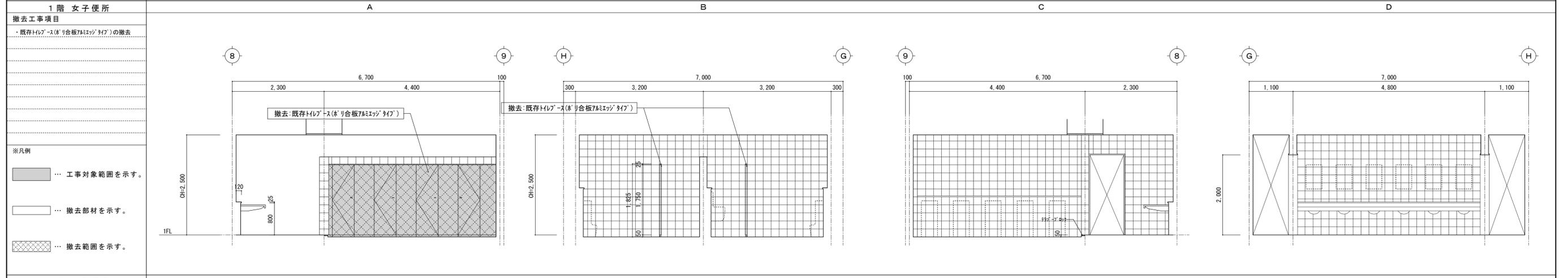
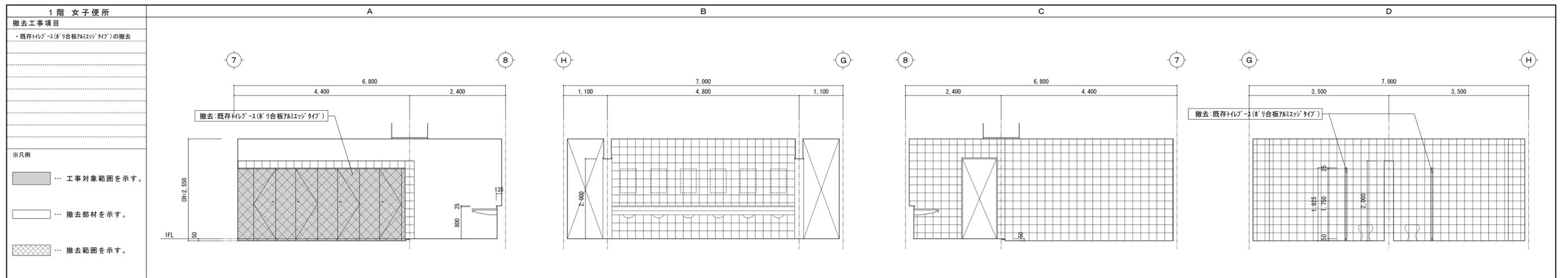
記号	① 1階：男子便所、女子便所 新設
姿図	
種別	トイレブース フェノール樹脂板 アジスタータイプ 見込 30
数量	4ヶ所
金物	附属金物一式、ラバトリー金物、表示錠、戸当り、ガイドレール、傾斜式ハンガーレール、帽子掛け
硝子	
備考	カーブ引戸：表面 t=30メラミン化粧板+下地 t=2.5ラワン合板+心材 発砲ウレタン 片開き戸：t=16フェノール樹脂板 隔て壁：t=20フェノール樹脂板

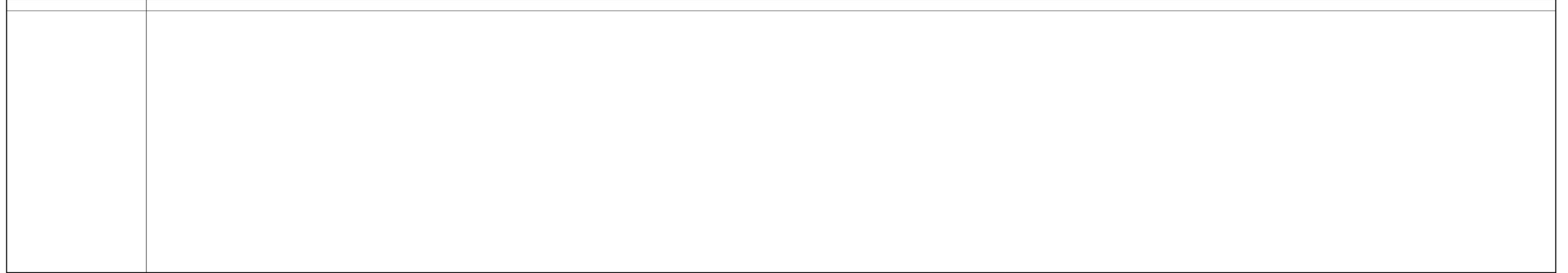
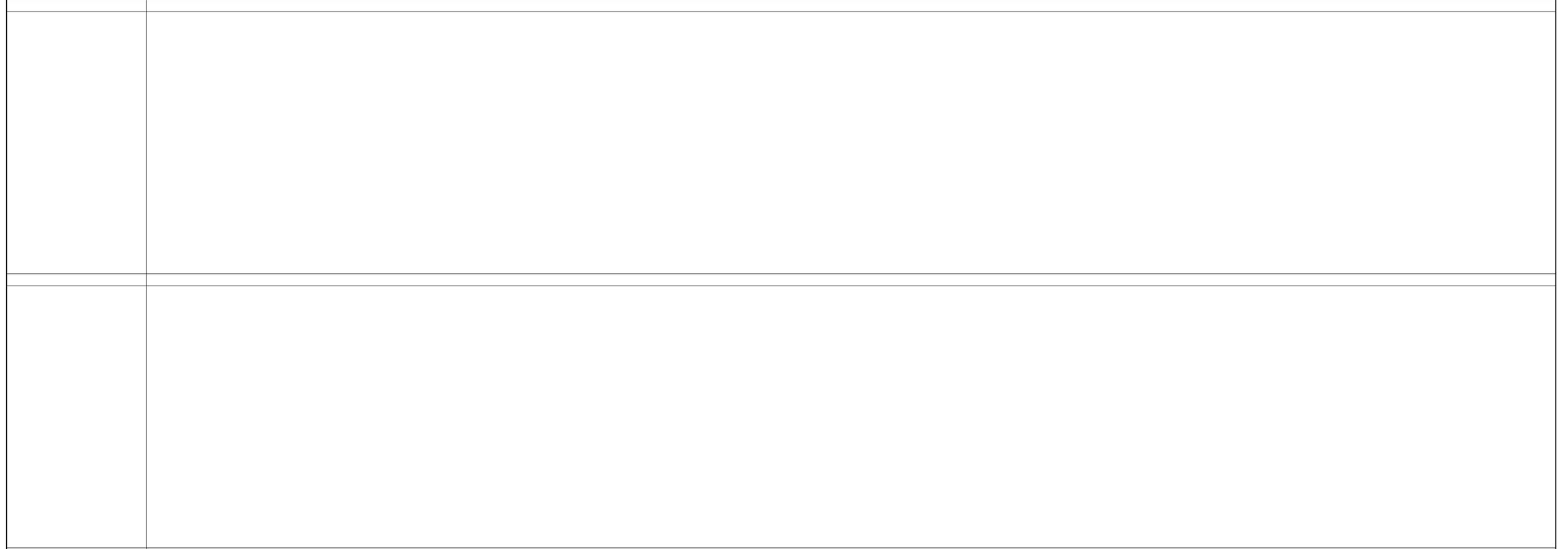
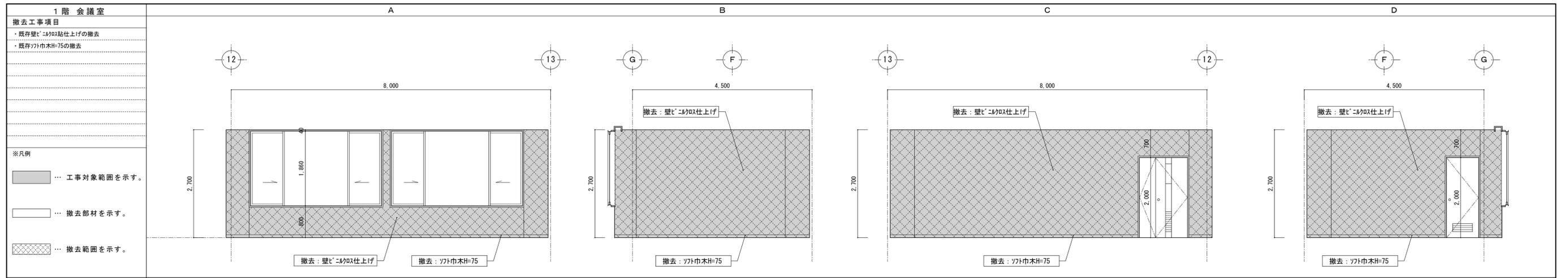
記号	② 2階：男子便所 新設	③ 2階：女子便所 新設
姿図		
種別	トイレブース フェノール樹脂板 アジスタータイプ 見込 30	トイレブース フェノール樹脂板 アジスタータイプ 見込 30
数量	2ヶ所	2ヶ所
金物	附属金物一式、ラバトリー金物、表示錠、戸当り、帽子掛け	附属金物一式、ラバトリー金物、表示錠、戸当り、帽子掛け
硝子		
備考	片開き戸：t=16フェノール樹脂板 隔て壁：t=16フェノール樹脂板	片開き戸：t=16フェノール樹脂板 隔て壁：t=16フェノール樹脂板

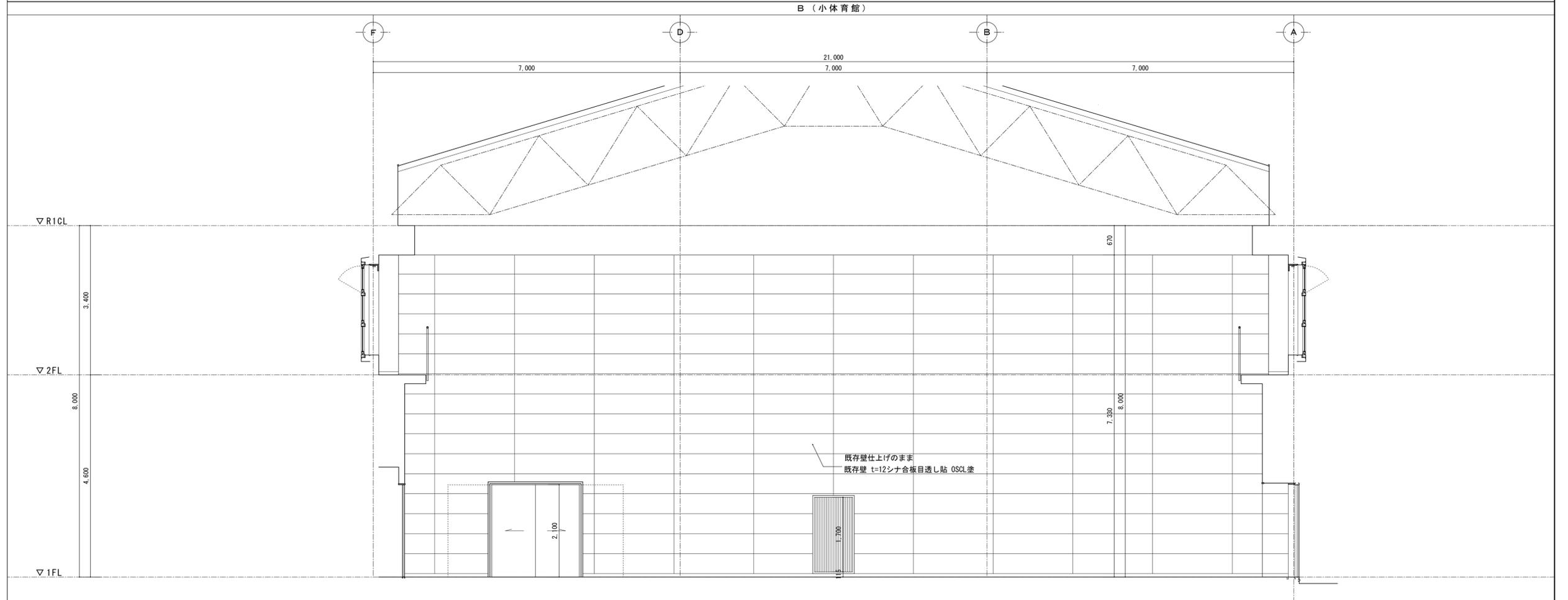
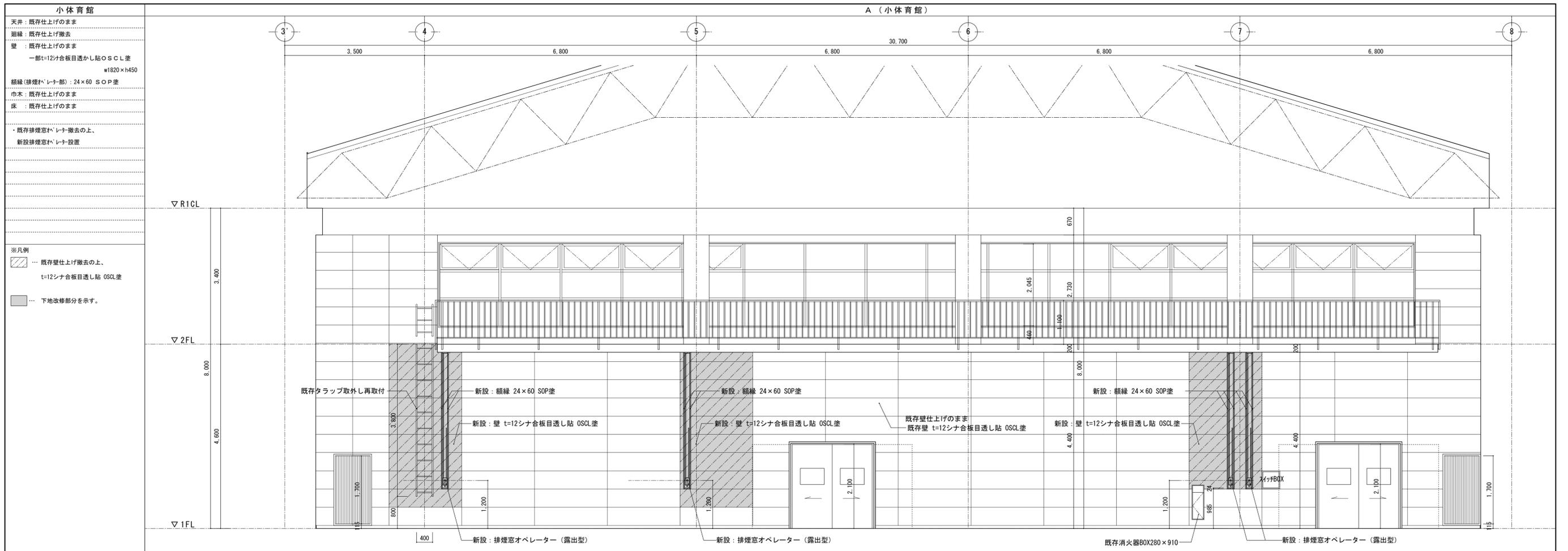








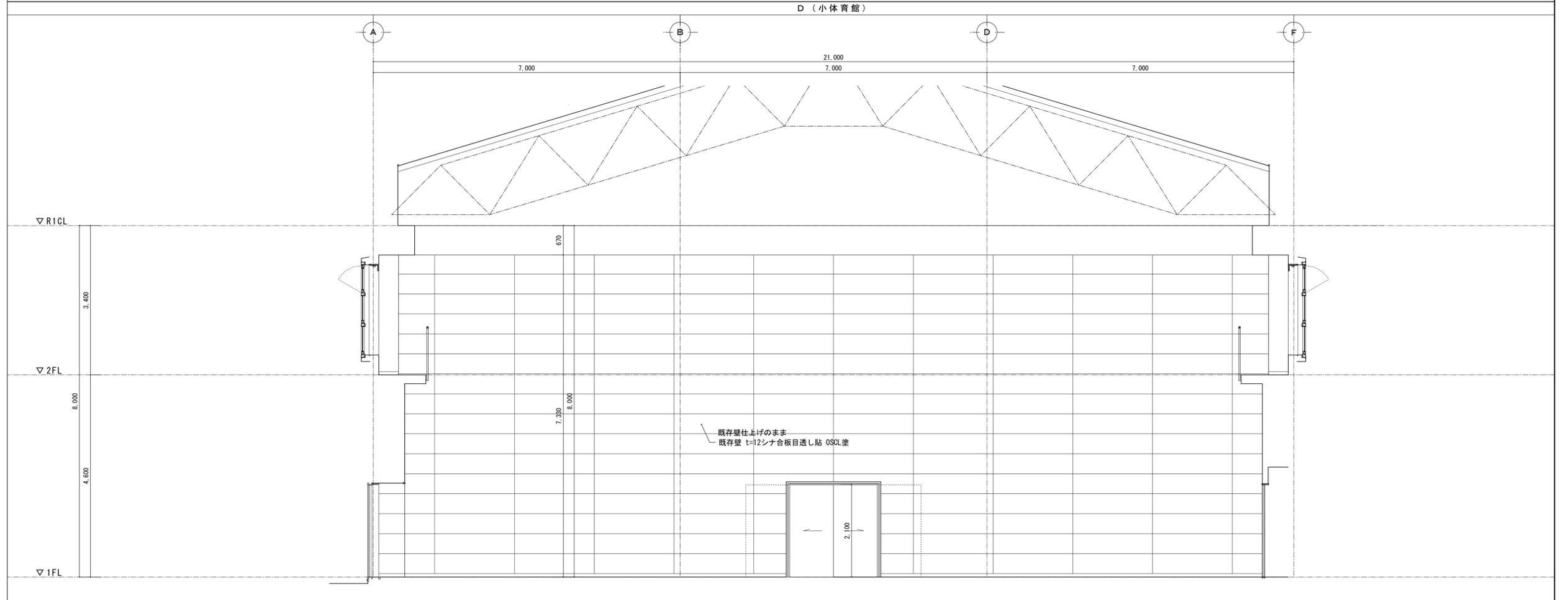
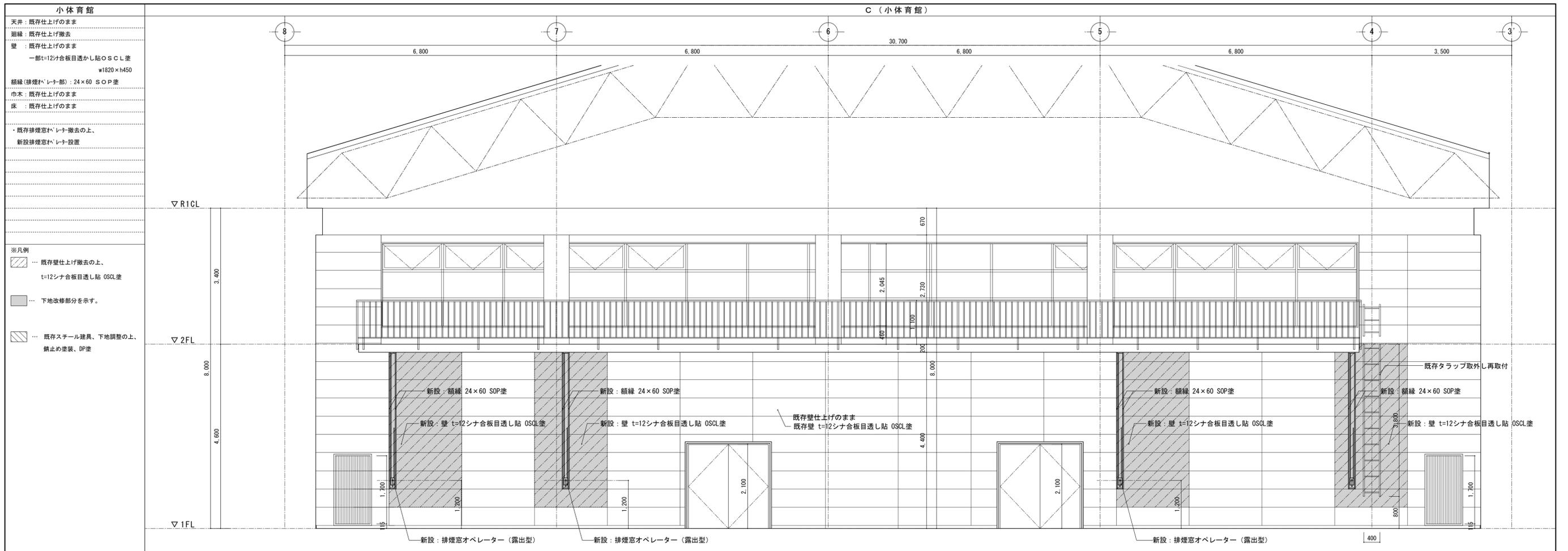


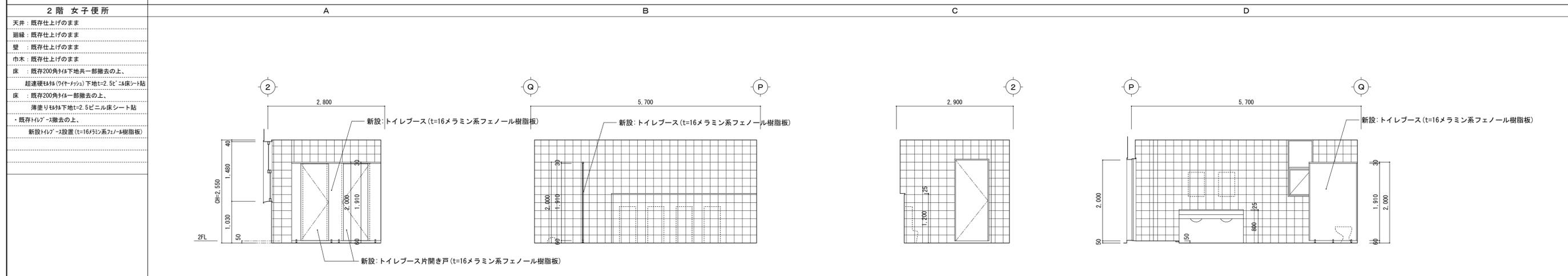
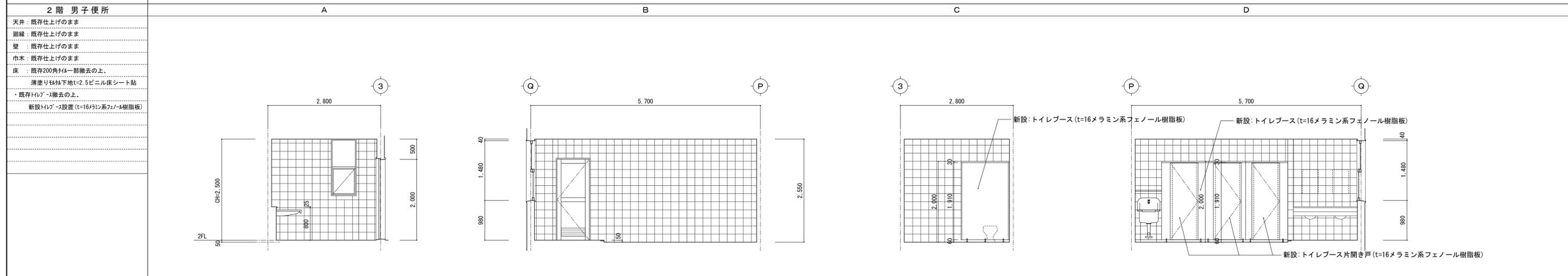
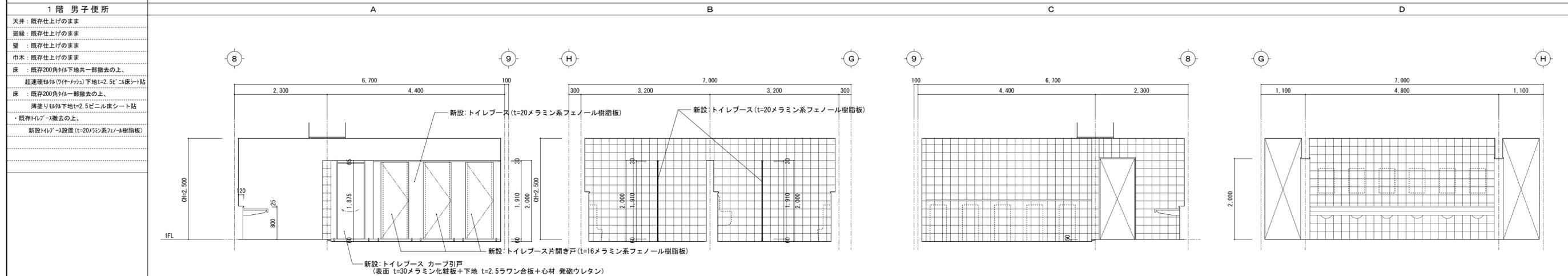
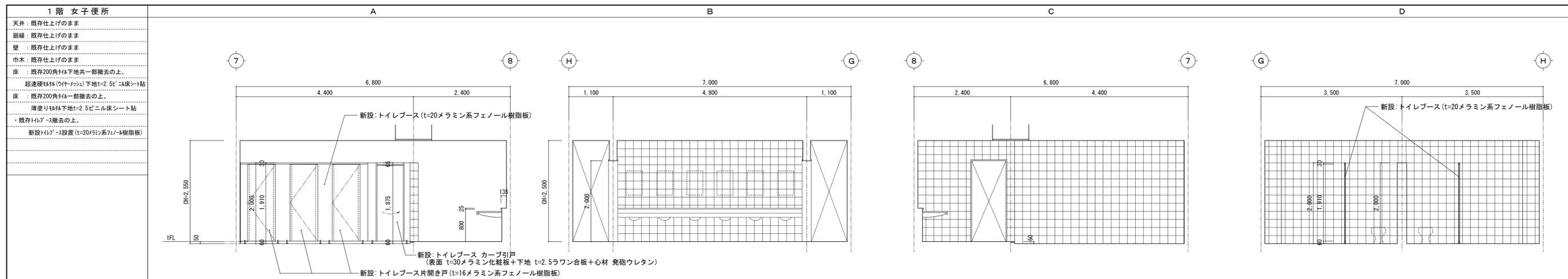


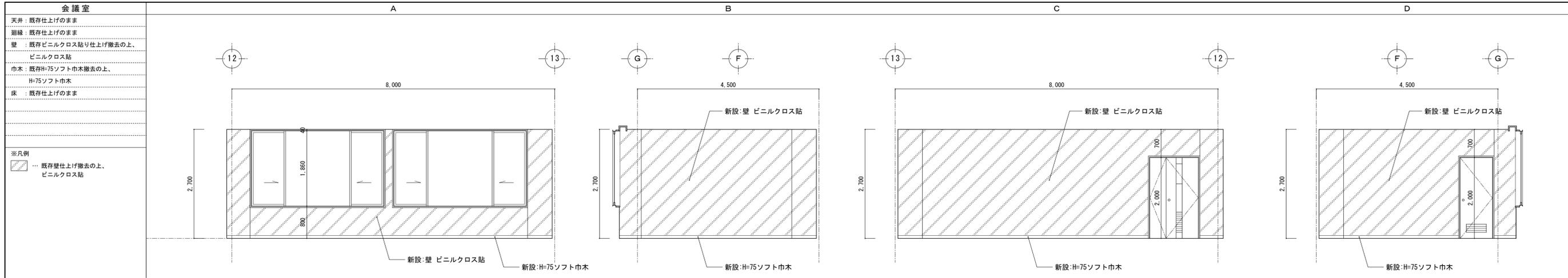

 一級建築士事務所 (有) クボタ建築設計事務所  
 茨城県 第A2210号(2805)  
 建設大臣登録第210340号  
 一級建築士 久保田 吉文

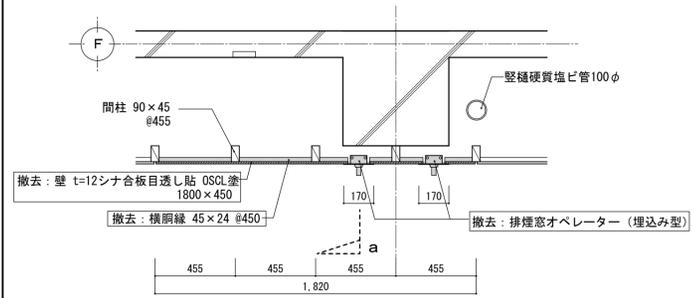
設計 担当 製図  
 縮尺 S=1/50  
 設計年月日 H30.

工事名称 平成30年度 石岡運動公園体育館改修工事  
 図面名称 改修後 展開図 1



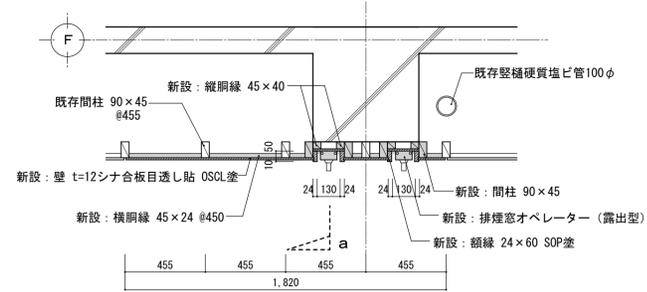






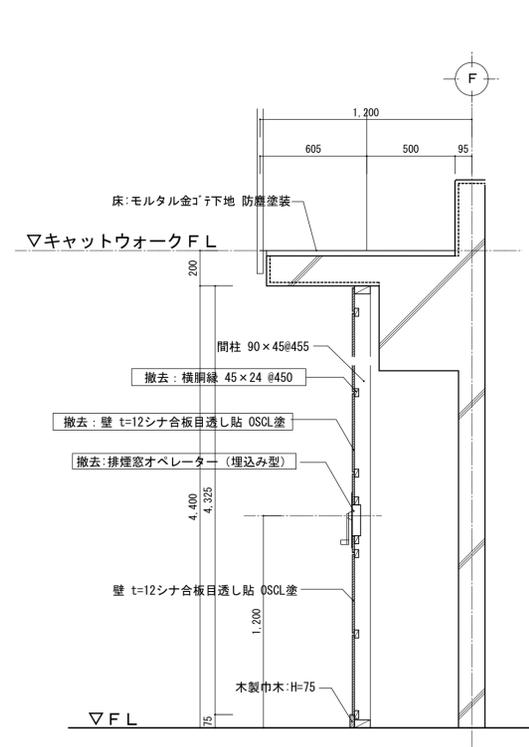
改修前平面詳細図 S=1/20

※ 内は撤去部材を示す。  
■ は工事対象範囲を示す。

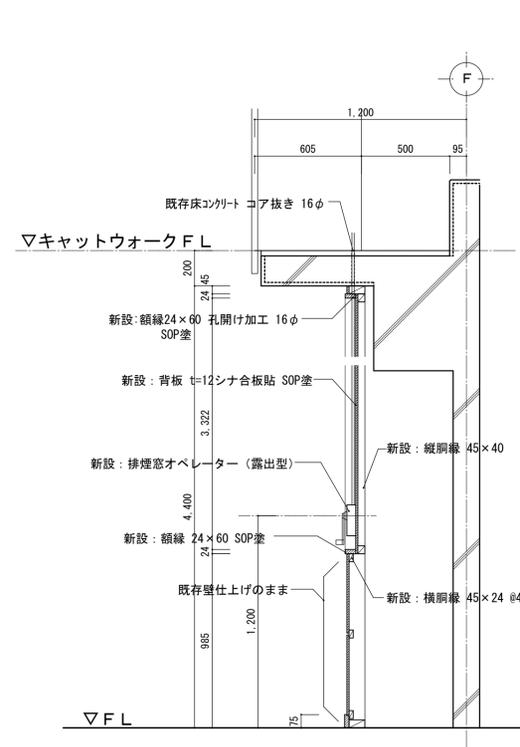


改修後平面詳細図 S=1/20

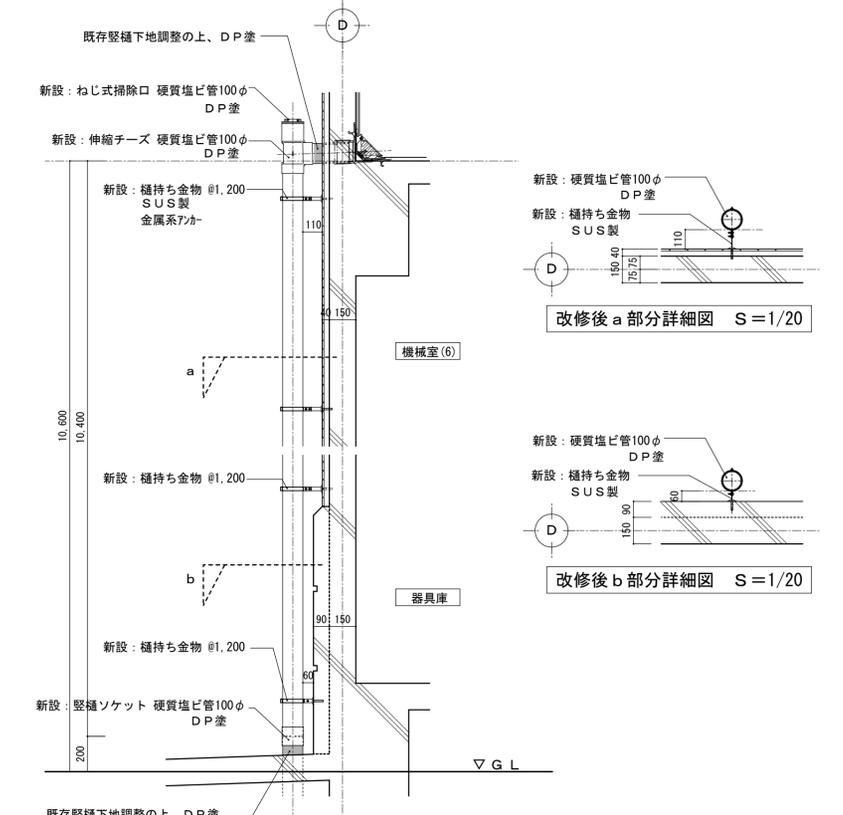
■ は工事対象範囲を示す。



改修前 a 部断面詳細図 S=1/20



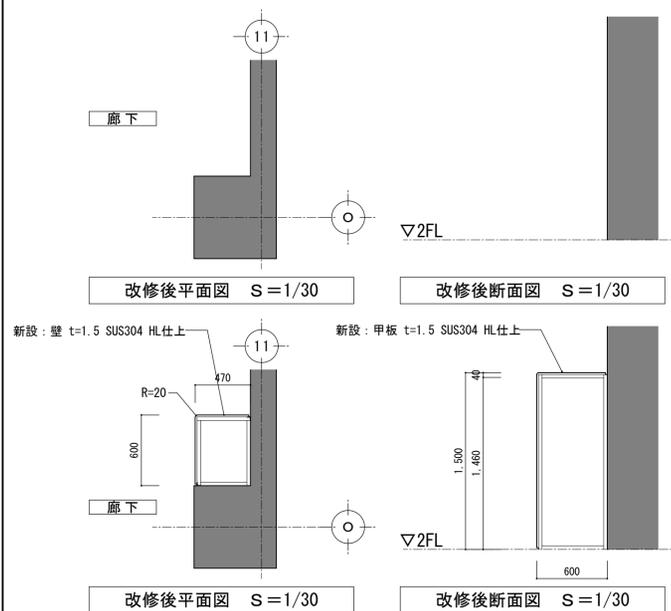
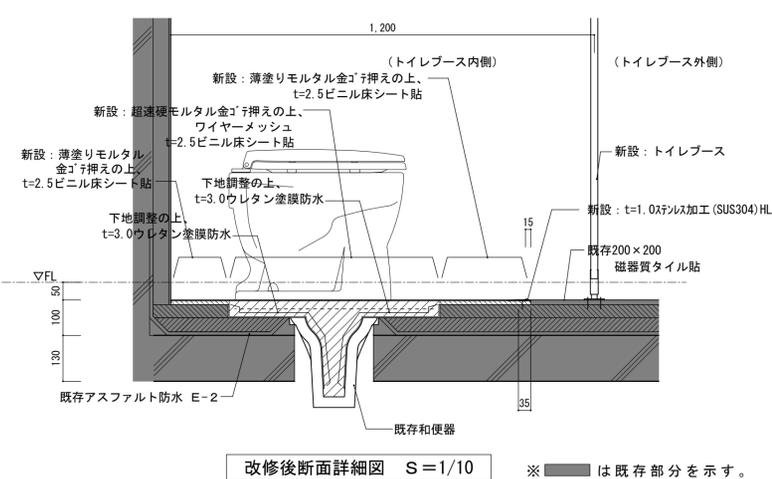
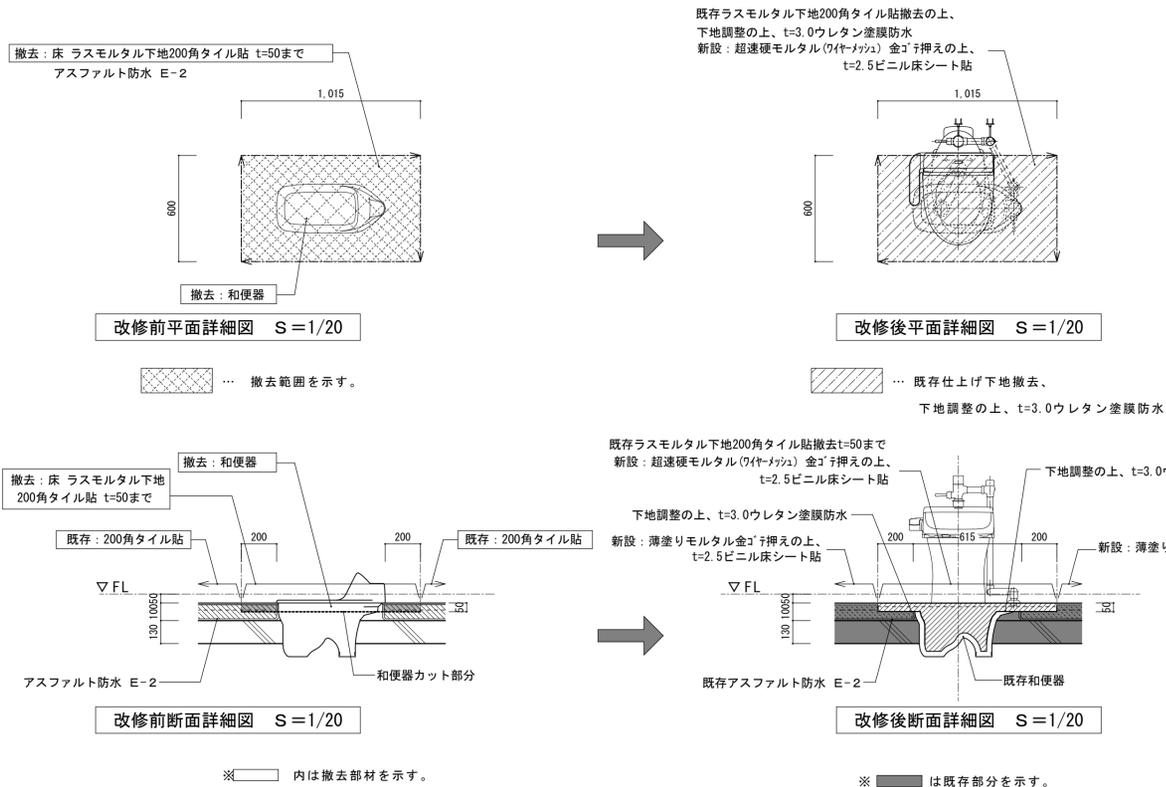
改修後 a 部断面詳細図 S=1/20

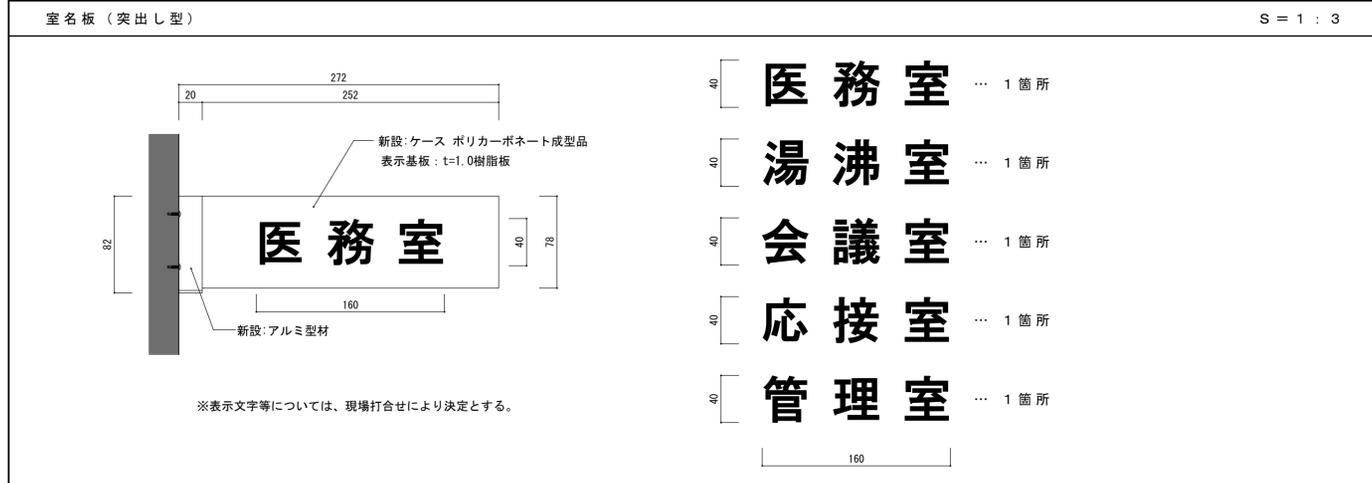
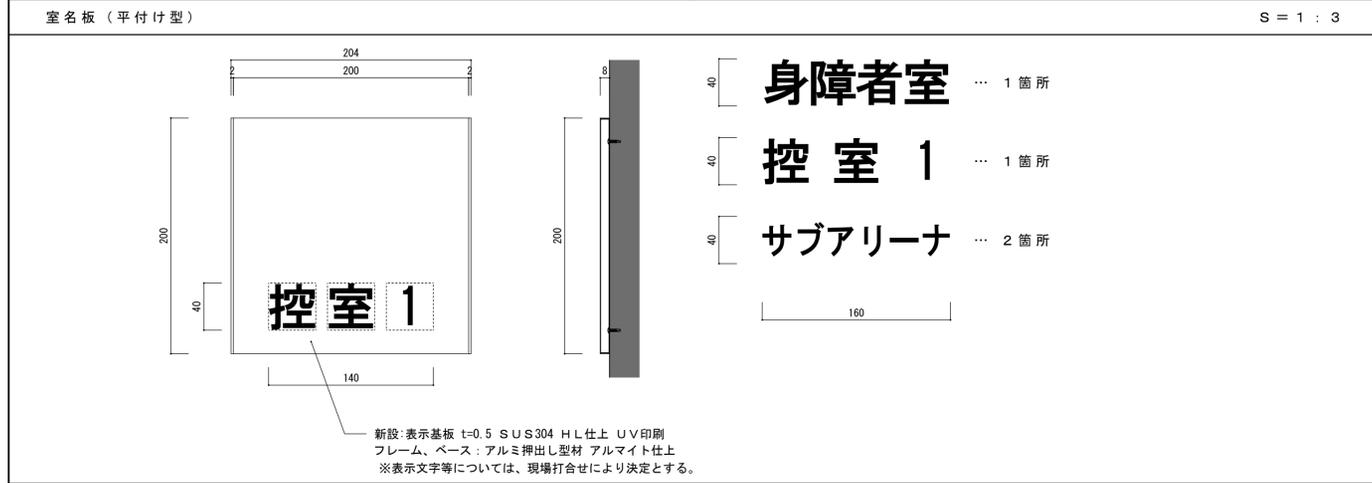
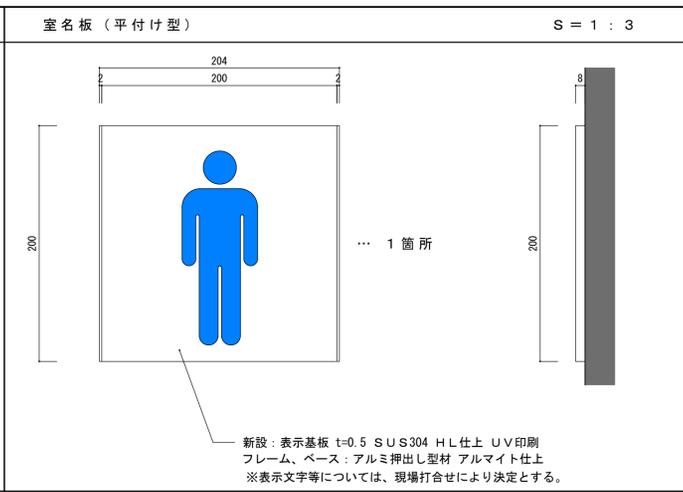
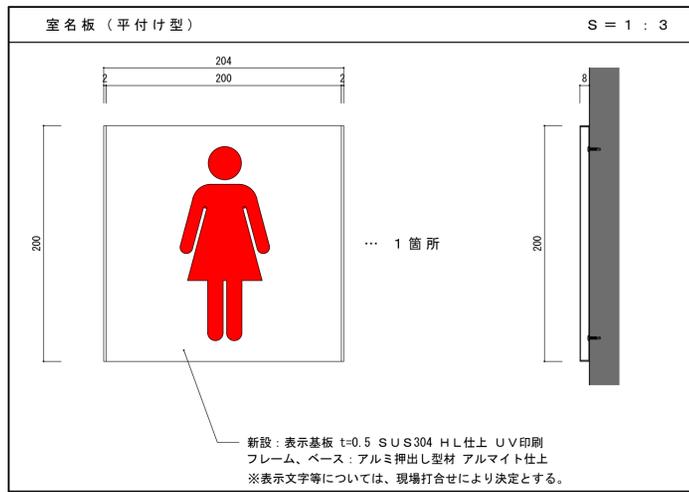


改修後 a 部分詳細図 S=1/20

改修後 b 部分詳細図 S=1/20

改修後断面詳細図 S=1/20 ※ ■ は既存部分を示す。



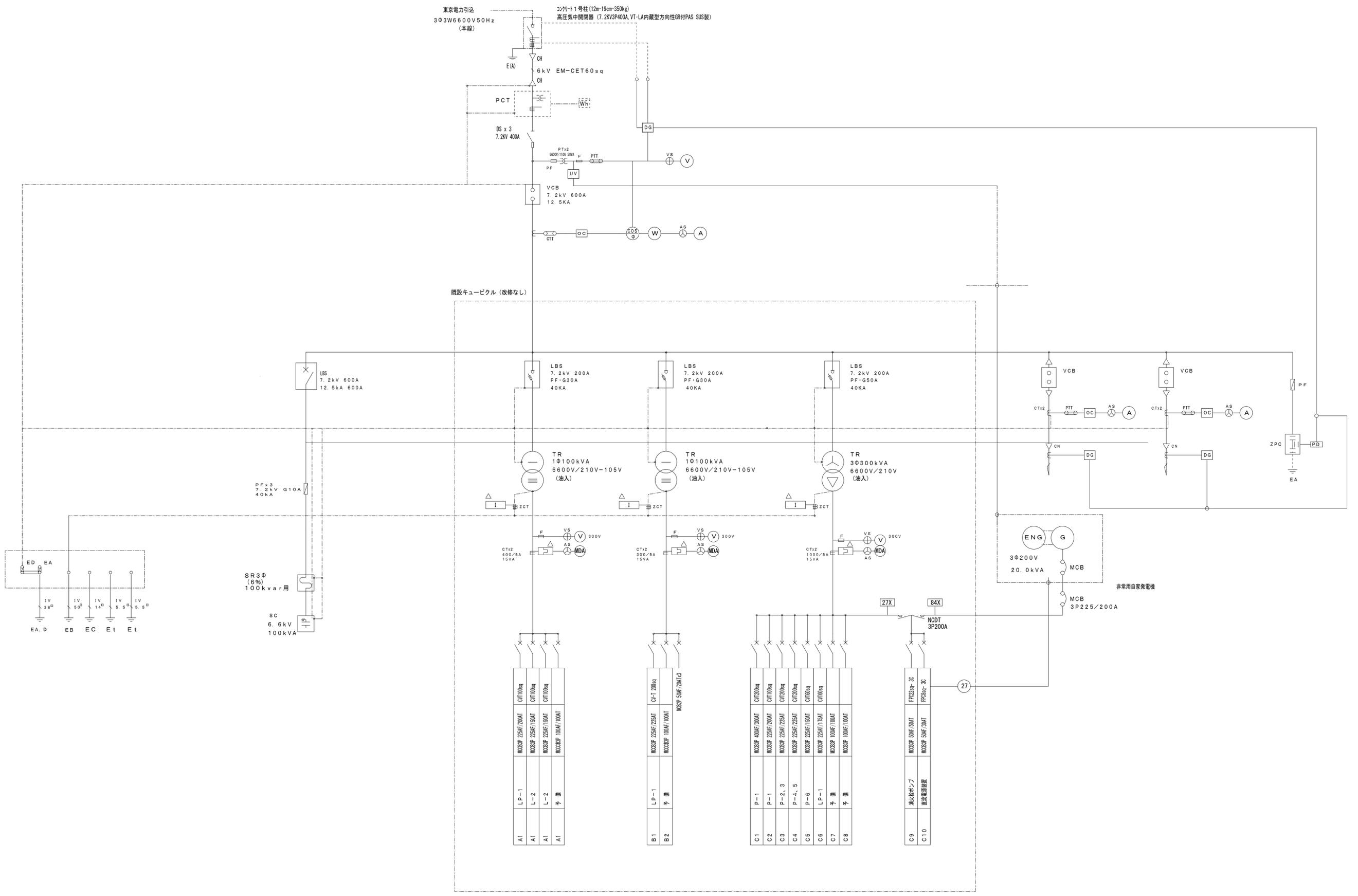




電気設備工事特記仕様書

■ 01 一般共通事項		■ 03 機器取付高さ		■ 07 工事区分		■ 10 メーカーリスト																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
総則	<p>本工事は本特記仕様書並びに設計図書に準拠し、当社電気設備工事共通仕様書を準用して施工すること。但し、当社電気設備工事共通仕様書に記載されていない事項については、日本建築家協会編、建築設備工事共通仕様書による。</p> <p>尚、本特記仕様書に於ける提出図書及び計画書、報告書等は工事管理者から工事監理者へ提出するものとする。</p>	取付高さ	<table border="1"> <tr> <th>機器名称</th> <th>取付高さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>引込開閉器盤</td> <td>地上+1800</td> <td>壁天端</td> </tr> <tr> <td>配分電盤</td> <td>地上+1800</td> <td>壁天端</td> </tr> <tr> <td>手元開閉器</td> <td>床上+1500</td> <td>ボックス中心</td> </tr> <tr> <td>警報盤</td> <td>床上+1800</td> <td>壁天端</td> </tr> <tr> <td>端子盤</td> <td>床上+1800</td> <td>壁天端</td> </tr> <tr> <td>積算電力量計</td> <td>地上+2000</td> <td>壁天端</td> </tr> <tr> <td>コンセント類</td> <td>床上+300</td> <td>ボックス中心</td> </tr> <tr> <td>コンセント類(和室)</td> <td>床上+150</td> <td>ボックス中心</td> </tr> <tr> <td>電話アウトレット</td> <td>床上+300</td> <td>ボックス中心</td> </tr> <tr> <td>テレビアウトレット</td> <td>床上+300</td> <td>ボックス中心</td> </tr> <tr> <td>インターホン</td> <td>床上+1400</td> <td>ボックス中心</td> </tr> <tr> <td>スイッチ類</td> <td>床上+1300</td> <td>ボックス中心</td> </tr> <tr> <td>押印スイッチ</td> <td>床上+1300</td> <td>ボックス中心</td> </tr> <tr> <td>チャイム</td> <td>床上+1800~</td> <td>ボックス中心</td> </tr> <tr> <td>プザー</td> <td>床上+1800</td> <td>ボックス中心</td> </tr> <tr> <td>音量調節器</td> <td>床上+1300</td> <td>ボックス中心</td> </tr> <tr> <td>自火報受信機</td> <td>床上+1200</td> <td>スイッチ部</td> </tr> <tr> <td>副受信機</td> <td>床上+1600</td> <td>壁天端</td> </tr> <tr> <td>総合盤</td> <td>床上+1200</td> <td>受信機</td> </tr> </table>	機器名称	取付高さ(mm)	備考	引込開閉器盤	地上+1800	壁天端	配分電盤	地上+1800	壁天端	手元開閉器	床上+1500	ボックス中心	警報盤	床上+1800	壁天端	端子盤	床上+1800	壁天端	積算電力量計	地上+2000	壁天端	コンセント類	床上+300	ボックス中心	コンセント類(和室)	床上+150	ボックス中心	電話アウトレット	床上+300	ボックス中心	テレビアウトレット	床上+300	ボックス中心	インターホン	床上+1400	ボックス中心	スイッチ類	床上+1300	ボックス中心	押印スイッチ	床上+1300	ボックス中心	チャイム	床上+1800~	ボックス中心	プザー	床上+1800	ボックス中心	音量調節器	床上+1300	ボックス中心	自火報受信機	床上+1200	スイッチ部	副受信機	床上+1600	壁天端	総合盤	床上+1200	受信機	<p>工事区分 該当する区別欄に ●印を記入のこと</p> <table border="1"> <tr> <th>工事項目</th> <th>区分</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1 鉄骨梁の貫通スリーブ</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 R C梁の貫通スリーブ</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 スリーブ・開口部廻りの鉄筋補強</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4 躯体壁・床の穴明及び構造体補強</td> <td>●</td> <td>電気用</td> </tr> <tr> <td>5 重量設備機器のための床構造補強</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6 特殊仕上材の穴明及び下地補強</td> <td>●</td> <td>ALC・PC板 大理石、テラゾー等</td> </tr> <tr> <td>7 天井穴明及び下地補強</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8 照明ボックス・ルーバー</td> <td>●</td> <td>器具設置品は 電気工事</td> </tr> <tr> <td>9 電気錠及び通電金具</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10 電気錠制御装置及び操作キー</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11 設備機器の基礎及び仕上げ</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12 設備機器囲壁(フェンス等)</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13 シャフト最上部の立上げ雨仕舞</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14 屋上配管出口(ハト小屋)</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>15 点検タラップ・ハッチ</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>16 点検口の取付及び補強工事</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>17 機械室・電気室内配線用ビット</td> <td>●</td> <td>鍍金物共</td> </tr> <tr> <td>18 同上 フタ</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>19 機械室等の防音</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>20 各種配管塗装</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>21 各部方アリ</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>22 換気扇及びフード(取付枠共)</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>23 同上 開口補強工事</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>24 有圧原電圧プラグ</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>25 換気扇温度スイッチ</td> <td>●</td> <td>設備支給品</td> </tr> <tr> <td>26 全熱交換器スイッチ</td> <td>●</td> <td>設備支給品</td> </tr> <tr> <td>27 設備機器の制御及び二次側配線工事</td> <td>●</td> <td>ポンプ 冷凍機など</td> </tr> <tr> <td>28 同上 接続工事</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>29 空調用屋内外機器間の配管配線工事</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>30 同上機器への接続工事</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>31 自動制御機器及び電気配管・配線工事</td> <td>●</td> <td>2次側共 インターホン 又はベル</td> </tr> <tr> <td>32 オイルタンク給油用連絡装置</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>33 電極棒及びフロートスイッチ</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>34 同上配管配線接続工事</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>35 生産設備機器への電源配線・配管工事</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>36 同上 接続工事</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>37 エレベーター非常用インターホンの配管配線工事</td> <td>●</td> <td>シャフト外の 配管配線工事 E L V工事</td> </tr> <tr> <td>38 同上機器取付及び接続工事</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>39 電動シャッター及び自動扉操作盤への供給電源</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>40 同上操作盤、制御配管配線工事(水圧開放装置含む)</td> <td>●</td> <td>押ボタン共</td> </tr> <tr> <td>41 自火報・消火栓検出総合盤の穴明</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>42 スプリンクラー用アラーム弁の電気配管・配線工事</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>43 ハロゲン、二酸化炭素、泡消火設備の警報、音響装置</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>44 煙感知器連動扉、シャッター、ダンパー、防煙たれ壁</td> <td>●</td> <td>電気錠共</td> </tr> <tr> <td>45 同上用煙感知器・制御盤及び配管配線工事</td> <td>●</td> <td>配管・配線共</td> </tr> <tr> <td>46 消火器(A B C 型×本)</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>47 避難器具</td> <td>●</td> <td></td> </tr> </table>	工事項目	区分	備考	1 鉄骨梁の貫通スリーブ	●		2 R C梁の貫通スリーブ	●		3 スリーブ・開口部廻りの鉄筋補強	●		4 躯体壁・床の穴明及び構造体補強	●	電気用	5 重量設備機器のための床構造補強	●		6 特殊仕上材の穴明及び下地補強	●	ALC・PC板 大理石、テラゾー等	7 天井穴明及び下地補強	●		8 照明ボックス・ルーバー	●	器具設置品は 電気工事	9 電気錠及び通電金具	●		10 電気錠制御装置及び操作キー	●		11 設備機器の基礎及び仕上げ	●		12 設備機器囲壁(フェンス等)	●		13 シャフト最上部の立上げ雨仕舞	●		14 屋上配管出口(ハト小屋)	●		15 点検タラップ・ハッチ	●		16 点検口の取付及び補強工事	●		17 機械室・電気室内配線用ビット	●	鍍金物共	18 同上 フタ	●		19 機械室等の防音	●		20 各種配管塗装	●		21 各部方アリ	●		22 換気扇及びフード(取付枠共)	●		23 同上 開口補強工事	●		24 有圧原電圧プラグ	●		25 換気扇温度スイッチ	●	設備支給品	26 全熱交換器スイッチ	●	設備支給品	27 設備機器の制御及び二次側配線工事	●	ポンプ 冷凍機など	28 同上 接続工事	●		29 空調用屋内外機器間の配管配線工事	●		30 同上機器への接続工事	●		31 自動制御機器及び電気配管・配線工事	●	2次側共 インターホン 又はベル	32 オイルタンク給油用連絡装置	●		33 電極棒及びフロートスイッチ	●		34 同上配管配線接続工事	●		35 生産設備機器への電源配線・配管工事	●		36 同上 接続工事	●		37 エレベーター非常用インターホンの配管配線工事	●	シャフト外の 配管配線工事 E L V工事	38 同上機器取付及び接続工事	●		39 電動シャッター及び自動扉操作盤への供給電源	●		40 同上操作盤、制御配管配線工事(水圧開放装置含む)	●	押ボタン共	41 自火報・消火栓検出総合盤の穴明	●		42 スプリンクラー用アラーム弁の電気配管・配線工事	●		43 ハロゲン、二酸化炭素、泡消火設備の警報、音響装置	●		44 煙感知器連動扉、シャッター、ダンパー、防煙たれ壁	●	電気錠共	45 同上用煙感知器・制御盤及び配管配線工事	●	配管・配線共	46 消火器(A B C 型×本)	●		47 避難器具	●		<p>機器及び材料</p> <p>製造業者名</p> <p>下記または同等品以上とする</p>																																																																																													
	機器名称		取付高さ(mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
引込開閉器盤	地上+1800	壁天端																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
配分電盤	地上+1800	壁天端																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
手元開閉器	床上+1500	ボックス中心																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
警報盤	床上+1800	壁天端																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
端子盤	床上+1800	壁天端																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
積算電力量計	地上+2000	壁天端																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
コンセント類	床上+300	ボックス中心																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
コンセント類(和室)	床上+150	ボックス中心																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
電話アウトレット	床上+300	ボックス中心																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
テレビアウトレット	床上+300	ボックス中心																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
インターホン	床上+1400	ボックス中心																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
スイッチ類	床上+1300	ボックス中心																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
押印スイッチ	床上+1300	ボックス中心																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
チャイム	床上+1800~	ボックス中心																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
プザー	床上+1800	ボックス中心																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
音量調節器	床上+1300	ボックス中心																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
自火報受信機	床上+1200	スイッチ部																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
副受信機	床上+1600	壁天端																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
総合盤	床上+1200	受信機																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
工事項目	区分	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
1 鉄骨梁の貫通スリーブ	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
2 R C梁の貫通スリーブ	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
3 スリーブ・開口部廻りの鉄筋補強	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
4 躯体壁・床の穴明及び構造体補強	●	電気用																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
5 重量設備機器のための床構造補強	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
6 特殊仕上材の穴明及び下地補強	●	ALC・PC板 大理石、テラゾー等																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
7 天井穴明及び下地補強	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
8 照明ボックス・ルーバー	●	器具設置品は 電気工事																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
9 電気錠及び通電金具	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
10 電気錠制御装置及び操作キー	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
11 設備機器の基礎及び仕上げ	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
12 設備機器囲壁(フェンス等)	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
13 シャフト最上部の立上げ雨仕舞	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
14 屋上配管出口(ハト小屋)	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
15 点検タラップ・ハッチ	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
16 点検口の取付及び補強工事	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
17 機械室・電気室内配線用ビット	●	鍍金物共																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
18 同上 フタ	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
19 機械室等の防音	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
20 各種配管塗装	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
21 各部方アリ	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
22 換気扇及びフード(取付枠共)	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
23 同上 開口補強工事	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
24 有圧原電圧プラグ	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
25 換気扇温度スイッチ	●	設備支給品																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
26 全熱交換器スイッチ	●	設備支給品																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
27 設備機器の制御及び二次側配線工事	●	ポンプ 冷凍機など																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
28 同上 接続工事	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
29 空調用屋内外機器間の配管配線工事	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
30 同上機器への接続工事	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
31 自動制御機器及び電気配管・配線工事	●	2次側共 インターホン 又はベル																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
32 オイルタンク給油用連絡装置	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
33 電極棒及びフロートスイッチ	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
34 同上配管配線接続工事	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
35 生産設備機器への電源配線・配管工事	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
36 同上 接続工事	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
37 エレベーター非常用インターホンの配管配線工事	●	シャフト外の 配管配線工事 E L V工事																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
38 同上機器取付及び接続工事	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
39 電動シャッター及び自動扉操作盤への供給電源	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
40 同上操作盤、制御配管配線工事(水圧開放装置含む)	●	押ボタン共																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
41 自火報・消火栓検出総合盤の穴明	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
42 スプリンクラー用アラーム弁の電気配管・配線工事	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
43 ハロゲン、二酸化炭素、泡消火設備の警報、音響装置	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
44 煙感知器連動扉、シャッター、ダンパー、防煙たれ壁	●	電気錠共																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
45 同上用煙感知器・制御盤及び配管配線工事	●	配管・配線共																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
46 消火器(A B C 型×本)	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
47 避難器具	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
<p>製作図及び施工図</p> <p>各種申請</p> <p>施工</p> <p>材料及び試験</p> <p>引渡図書</p>	<p>引渡図書</p> <table border="1"> <tr> <th>引渡図書</th> <th>部数</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>○ 竣工図</td> <td>2</td> <td>施主提出用 A1・2部、A3・2部</td> </tr> <tr> <td>○ 納入機器完成図</td> <td>2</td> <td>施主提出用2部</td> </tr> <tr> <td>○ 請願又は申請副本</td> <td>2</td> <td>施主提出用2部<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td>○ 官公署の検査済書又は検査合格書</td> <td>2</td> <td>施主提出用2部<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td>○ 施工業者及び機器納入者一覧表</td> <td>2</td> <td>施主提出用2部</td> </tr> <tr> <td>○ 機器保証書</td> <td>2</td> <td>施主提出用2部<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td>○ 試験成績表</td> <td>2</td> <td>施主提出用1部</td> </tr> <tr> <td>○ 機器取扱説明書</td> <td>2</td> <td>施主提出用2部</td> </tr> <tr> <td>○ 緊急連絡先一覧表</td> <td>2</td> <td>施主提出用2部</td> </tr> <tr> <td>○ その他( )</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※1 原本は施主提出用とし、1部は複製とする ※2 部数は原則2部とするが、必要に応じて工事監理者の指示に従う</p>	引渡図書	部数	備考	○ 竣工図	2	施主提出用 A1・2部、A3・2部	○ 納入機器完成図	2	施主提出用2部	○ 請願又は申請副本	2	施主提出用2部 <sup>※1</sup>	○ 官公署の検査済書又は検査合格書	2	施主提出用2部 <sup>※1</sup>	○ 施工業者及び機器納入者一覧表	2	施主提出用2部	○ 機器保証書	2	施主提出用2部 <sup>※1</sup>	○ 試験成績表	2	施主提出用1部	○ 機器取扱説明書	2	施主提出用2部	○ 緊急連絡先一覧表	2	施主提出用2部	○ その他( )																																																																																																																																																																																																																																																																														
引渡図書	部数	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
○ 竣工図	2	施主提出用 A1・2部、A3・2部																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
○ 納入機器完成図	2	施主提出用2部																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
○ 請願又は申請副本	2	施主提出用2部 <sup>※1</sup>																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
○ 官公署の検査済書又は検査合格書	2	施主提出用2部 <sup>※1</sup>																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
○ 施工業者及び機器納入者一覧表	2	施主提出用2部																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
○ 機器保証書	2	施主提出用2部 <sup>※1</sup>																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
○ 試験成績表	2	施主提出用1部																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
○ 機器取扱説明書	2	施主提出用2部																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
○ 緊急連絡先一覧表	2	施主提出用2部																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
○ その他( )																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
■ 02 使用配管・配線材		■ 04 耐震処理		■ 08 御支給品		□ 11 凡例																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
電線管	<table border="1"> <tr> <th>打込み</th> <th>隠</th> <th>ベ</th> <th>イ</th> <th>屋内露出</th> <th>屋外露出</th> <th>地</th> <th>中</th> </tr> <tr> <td>薄鋼電線管(CP管)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>厚鋼電線管(GP管)ドブ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ねじなし電線管(EP管)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>硬質ビニル電線管(VE管)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>H I V E 管</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合成樹脂製可とう電線管(CD管)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合成樹脂製可とう電線管(PF管)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>F E P 管</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>φ1/2インチ鋼管(PE管)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>φ1/2インチ鋼管(KMS管)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	打込み	隠	ベ	イ	屋内露出	屋外露出	地	中	薄鋼電線管(CP管)								厚鋼電線管(GP管)ドブ								ねじなし電線管(EP管)								硬質ビニル電線管(VE管)								H I V E 管								合成樹脂製可とう電線管(CD管)								合成樹脂製可とう電線管(PF管)								F E P 管								φ1/2インチ鋼管(PE管)								φ1/2インチ鋼管(KMS管)								<p>○ 建築基準法に定める機器のみ耐震処理 ○ 「建築設備耐震設計・施工指針 2005年版」による耐震処理 (○クラスS : ○クラスA : ○クラスB)</p>	<p>●印をつけたものは別途工事</p> <p>●電力負担金 ○ 電話局線引込工事並びに施設設置負担金、加入金 ○ 電話機器及び配線取付工事 ○ 電波障害補償等の公害対策費 ● 保安協会・主任技術者協会等による経済産業局手続申請費用</p>	<table border="1"> <tr> <th>記号</th> <th>名称</th> <th>備考</th> <th>記号</th> <th>名称</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>—</td> <td>配管配線</td> <td>天井隠蔽配線</td> <td>⊗</td> <td>セレクトスイッチ</td> <td>6回路用ランプ付</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>配管配線</td> <td>露出配線</td> <td>⊕</td> <td>換気扇</td> <td>壁換気扇・天井扇</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>配管配線</td> <td>床隠蔽配線</td> <td>⊙</td> <td>電動機</td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>配管配線</td> <td>地中埋込又は架空</td> <td>□</td> <td>開閉器</td> <td>容量傷欠・電流計付</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>配管配線</td> <td>空配管</td> <td>⊗</td> <td>フロートスイッチ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>配管配線</td> <td>立上り・素通し・引下げ</td> <td>⊕</td> <td>フロートレススイッチ</td> <td>複数併記</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>配管配線</td> <td>フルボックス</td> <td>⊕</td> <td>電力量計</td> <td>箱入り又はフード付</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>配管配線</td> <td>ジャンクションボックス</td> <td>⊕</td> <td>引込開閉器盤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>接地</td> <td>WPは防水型</td> <td>⊕</td> <td>動力制御盤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>回路番号</td> <td>A・B・C・D種接地工事</td> <td>⊕</td> <td>電灯分電盤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>回路番号</td> <td>1φ200V</td> <td>⊕</td> <td>警報受信機</td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>回路番号</td> <td>1φ100V</td> <td>⊕</td> <td>電話用アウトレット</td> <td>床付・壁付</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>蛍光灯</td> <td>2灯用</td> <td>⊕</td> <td>電線電話機</td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>蛍光灯</td> <td>1灯用(天井・壁付)</td> <td>⊕</td> <td>端子盤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>蛍光灯</td> <td>サークライン</td> <td>⊕</td> <td>本配線盤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>非常照明</td> <td></td> <td>⊕</td> <td>チャイム</td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>誘導灯</td> <td>方向表示</td> <td>⊕</td> <td>プザー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>白熱灯・H I D 灯</td> <td>天井・壁付</td> <td>⊕</td> <td>インターホン</td> <td>観機・子機</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>ボール灯</td> <td></td> <td>⊕</td> <td>電気時計</td> <td>観時計・小時計</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>シーリング</td> <td>シーリング止め</td> <td>⊕</td> <td>ジャック</td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>コンセント</td> <td>1ヶ口・2ヶ口</td> <td>⊕</td> <td>テレビアンテナ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>コンセント</td> <td>床付</td> <td>⊕</td> <td>混合器</td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>コンセント</td> <td>接地極付</td> <td>⊕</td> <td>増幅器</td> <td>T V 用</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>コンセント</td> <td>接地端子付</td> <td>⊕</td> <td>電列ユニット</td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>コンセント</td> <td>防水型</td> <td>⊕</td> <td>増幅器</td> <td>放送用</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>コンセント</td> <td>3極</td> <td>⊕</td> <td>遠隔操作盤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>コンセント</td> <td>20A・30A</td> <td>⊕</td> <td>スピーカー</td> <td>天井・壁付</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>引掛コンセント</td> <td></td> <td>⊕</td> <td>スピーカー</td> <td>ホーン型</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>スイッチ</td> <td>単極・3路・4路</td> <td>⊕</td> <td>アッテネーター</td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>スイッチ</td> <td>W P スイッチ</td> <td>⊕</td> <td>避雷突針</td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>自動点滅器</td> <td></td> <td>⊕</td> <td>避雷導線</td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>リモコンスイッチ</td> <td></td> <td>⊕</td> <td>接地用端子</td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>スイッチ</td> <td>パイロットランプ付</td> <td>⊕</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>パイロットランプ</td> <td></td> <td>⊕</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	記号	名称	備考	記号	名称	備考	—	配管配線	天井隠蔽配線	⊗	セレクトスイッチ	6回路用ランプ付	—	配管配線	露出配線	⊕	換気扇	壁換気扇・天井扇	—	配管配線	床隠蔽配線	⊙	電動機		—	配管配線	地中埋込又は架空	□	開閉器	容量傷欠・電流計付	—	配管配線	空配管	⊗	フロートスイッチ		—	配管配線	立上り・素通し・引下げ	⊕	フロートレススイッチ	複数併記	—	配管配線	フルボックス	⊕	電力量計	箱入り又はフード付	—	配管配線	ジャンクションボックス	⊕	引込開閉器盤		—	接地	WPは防水型	⊕	動力制御盤		—	回路番号	A・B・C・D種接地工事	⊕	電灯分電盤		—	回路番号	1φ200V	⊕	警報受信機		—	回路番号	1φ100V	⊕	電話用アウトレット	床付・壁付	—	蛍光灯	2灯用	⊕	電線電話機		—	蛍光灯	1灯用(天井・壁付)	⊕	端子盤		—	蛍光灯	サークライン	⊕	本配線盤		—	非常照明		⊕	チャイム		—	誘導灯	方向表示	⊕	プザー		—	白熱灯・H I D 灯	天井・壁付	⊕	インターホン	観機・子機	—	ボール灯		⊕	電気時計	観時計・小時計	—	シーリング	シーリング止め	⊕	ジャック		—	コンセント	1ヶ口・2ヶ口	⊕	テレビアンテナ		—	コンセント	床付	⊕	混合器		—	コンセント	接地極付	⊕	増幅器	T V 用	—	コンセント	接地端子付	⊕	電列ユニット		—	コンセント	防水型	⊕	増幅器	放送用	—	コンセント	3極	⊕	遠隔操作盤		—	コンセント	20A・30A	⊕	スピーカー	天井・壁付	—	引掛コンセント		⊕	スピーカー	ホーン型	—	スイッチ	単極・3路・4路	⊕	アッテネーター		—	スイッチ	W P スイッチ	⊕	避雷突針		—	自動点滅器		⊕	避雷導線		—	リモコンスイッチ		⊕	接地用端子		—	スイッチ	パイロットランプ付	⊕			—	パイロットランプ		⊕		
	打込み	隠	ベ	イ	屋内露出	屋外露出	地	中																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
薄鋼電線管(CP管)																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
厚鋼電線管(GP管)ドブ																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
ねじなし電線管(EP管)																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
硬質ビニル電線管(VE管)																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
H I V E 管																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
合成樹脂製可とう電線管(CD管)																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
合成樹脂製可とう電線管(PF管)																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
F E P 管																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
φ1/2インチ鋼管(PE管)																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
φ1/2インチ鋼管(KMS管)																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
記号	名称	備考	記号	名称	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
—	配管配線	天井隠蔽配線	⊗	セレクトスイッチ	6回路用ランプ付																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
—	配管配線	露出配線	⊕	換気扇	壁換気扇・天井扇																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
—	配管配線	床隠蔽配線	⊙	電動機																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
—	配管配線	地中埋込又は架空	□	開閉器	容量傷欠・電流計付																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
—	配管配線	空配管	⊗	フロートスイッチ																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
—	配管配線	立上り・素通し・引下げ	⊕	フロートレススイッチ	複数併記																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
—	配管配線	フルボックス	⊕	電力量計	箱入り又はフード付																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
—	配管配線	ジャンクションボックス	⊕	引込開閉器盤																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
—	接地	WPは防水型	⊕	動力制御盤																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
—	回路番号	A・B・C・D種接地工事	⊕	電灯分電盤																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
—	回路番号	1φ200V	⊕	警報受信機																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
—	回路番号	1φ100V	⊕	電話用アウトレット	床付・壁付																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
—	蛍光灯	2灯用	⊕	電線電話機																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
—	蛍光灯	1灯用(天井・壁付)	⊕	端子盤																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
—	蛍光灯	サークライン	⊕	本配線盤																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
—	非常照明		⊕	チャイム																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
—	誘導灯	方向表示	⊕	プザー																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
—	白熱灯・H I D 灯	天井・壁付	⊕	インターホン	観機・子機																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
—	ボール灯		⊕	電気時計	観時計・小時計																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
—	シーリング	シーリング止め	⊕	ジャック																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
—	コンセント	1ヶ口・2ヶ口	⊕	テレビアンテナ																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
—	コンセント	床付	⊕	混合器																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
—	コンセント	接地極付	⊕	増幅器	T V 用																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
—	コンセント	接地端子付	⊕	電列ユニット																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
—	コンセント	防水型	⊕	増幅器	放送用																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
—	コンセント	3極	⊕	遠隔操作盤																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
—	コンセント	20A・30A	⊕	スピーカー	天井・壁付																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
—	引掛コンセント		⊕	スピーカー	ホーン型																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
—	スイッチ	単極・3路・4路	⊕	アッテネーター																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
—	スイッチ	W P スイッチ	⊕	避雷突針																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
—	自動点滅器		⊕	避雷導線																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
—	リモコンスイッチ		⊕	接地用端子																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
—	スイッチ	パイロットランプ付	⊕																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
—	パイロットランプ		⊕																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
電線	<table border="1"> <tr> <th>屋内隠蔽</th> <th>屋内管路</th> <th>屋内露出</th> <th>屋外管路</th> <th>屋外露出</th> <th>地中管路</th> </tr> <tr> <td>ビニル絶縁電線(EM-1V)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>二種ビニル絶縁電線(EM-H1V)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ビニル絶縁ビニルシースケーブル(EM-E E F)</td> <td>●</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>炭素ポリエチレンケーブル(EM-GE)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>トリプレックス型 炭素ポリエチレンケーブル(EM-CE T)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> </table>	屋内隠蔽	屋内管路	屋内露出	屋外管路	屋外露出	地中管路	ビニル絶縁電線(EM-1V)						二種ビニル絶縁電線(EM-H1V)						ビニル絶縁ビニルシースケーブル(EM-E E F)	●		●			炭素ポリエチレンケーブル(EM-GE)						トリプレックス型 炭素ポリエチレンケーブル(EM-CE T)					●	<p>□ 06 諸官庁に対する打合せ事項</p>	<p>■ 09 別途工事</p>	<p>色別</p> <table border="1"> <tr> <th>電圧種別</th> <th>配線方式</th> <th>接地側</th> <th>電圧側</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">高圧</td> <td>三相3線式</td> <td>—</td> <td>赤・白・青</td> </tr> <tr> <td>単相2線式</td> <td>白又は灰</td> <td>赤又は黒</td> </tr> <tr> <td>単相3線式</td> <td>白又は灰</td> <td>赤・黒</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">低圧</td> <td>三相3線式</td> <td>白又は灰</td> <td>赤・黒</td> </tr> <tr> <td>三相4線式</td> <td>白又は灰</td> <td>赤・黒・青</td> </tr> <tr> <td>直流</td> <td>負極 青</td> <td>正極 赤</td> </tr> </table> <p>※ 接地線は緑色とする</p>	電圧種別	配線方式	接地側	電圧側	高圧	三相3線式	—	赤・白・青	単相2線式	白又は灰	赤又は黒	単相3線式	白又は灰	赤・黒	低圧	三相3線式	白又は灰	赤・黒	三相4線式	白又は灰	赤・黒・青	直流	負極 青	正極 赤																																																																																																																																																																																																																																														
	屋内隠蔽	屋内管路	屋内露出	屋外管路	屋外露出	地中管路																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
ビニル絶縁電線(EM-1V)																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
二種ビニル絶縁電線(EM-H1V)																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
ビニル絶縁ビニルシースケーブル(EM-E E F)	●		●																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
炭素ポリエチレンケーブル(EM-GE)																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
トリプレックス型 炭素ポリエチレンケーブル(EM-CE T)					●																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
電圧種別	配線方式	接地側	電圧側																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
高圧	三相3線式	—	赤・白・青																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	単相2線式	白又は灰	赤又は黒																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	単相3線式	白又は灰	赤・黒																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
低圧	三相3線式	白又は灰	赤・黒																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	三相4線式	白又は灰	赤・黒・青																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	直流	負極 青	正極 赤																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
<p>引渡し</p> <p>本工事後完了、竣工図書を遅滞なく作成し、工事監理者に提出すると共に機器及び装置の取扱説明書を行い、引渡しを行うこと。</p>	<p>いずれも取付高さは原則とするが、機器仕様によって取付位置を変更する場合は工事監理者と充分打合わせを行う事</p>		<p>□ 08 御支給品</p>		<p>□ 11 凡例</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																									





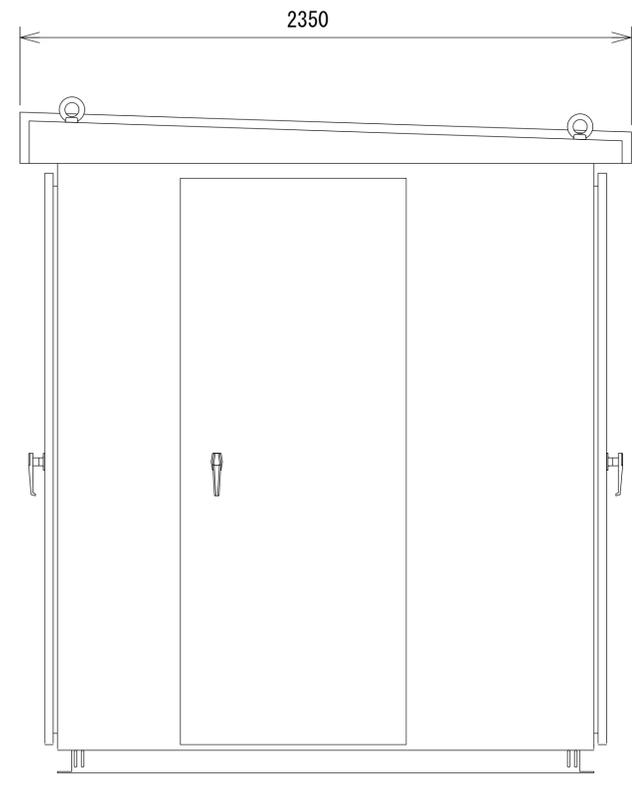
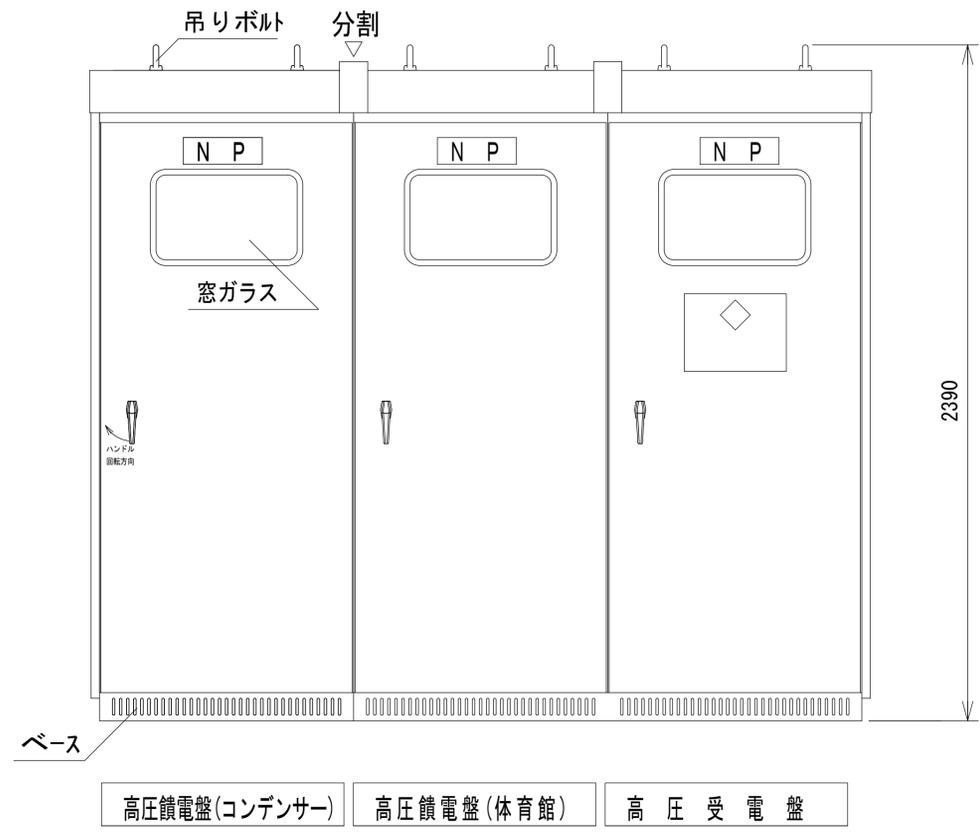


 一級建築士事務所 (有) クボタ建築設計事務所  
 茨城県 第A2210号 (2805)  
 建設大臣登録第210340号  
 一級建築士 久保田 吉文

設計	担当	製図

縮尺  
設計年月日  
H30.

工事名称	平成30年度 石岡運動公園体育館改修工事
図面名称	既設・新設単線結線図





註記 特記なき配管配線は下記とする。

	EM-EEF 2.0 - 2C(天井コログシ配線)
	EM-EEF 2.0 - 2C(パルモール A型) (ローネックス共)
	EM-EEF 2.0 - 3C(天井コログシ配線)
	EM-EEF 2.0 - 3C(パルモール B型) (バニーション取付)

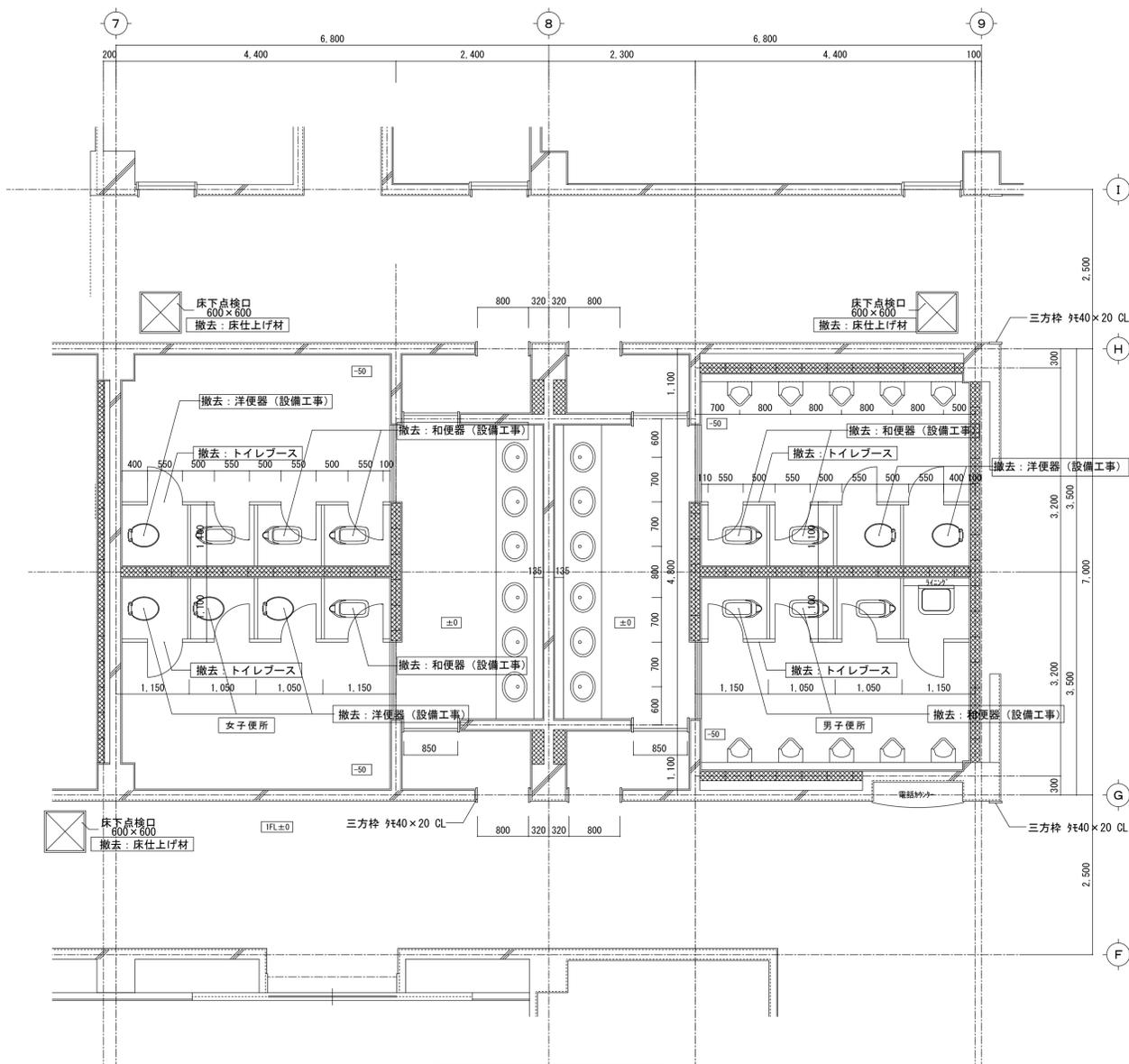
改修前1階平面図 S=1/200

一級建築士事務所 (有) クボタ建築設計事務所  
 茨城県 第A2210号 (2805)  
 建設大臣登録第210340号 一級建築士 久保田 吉文

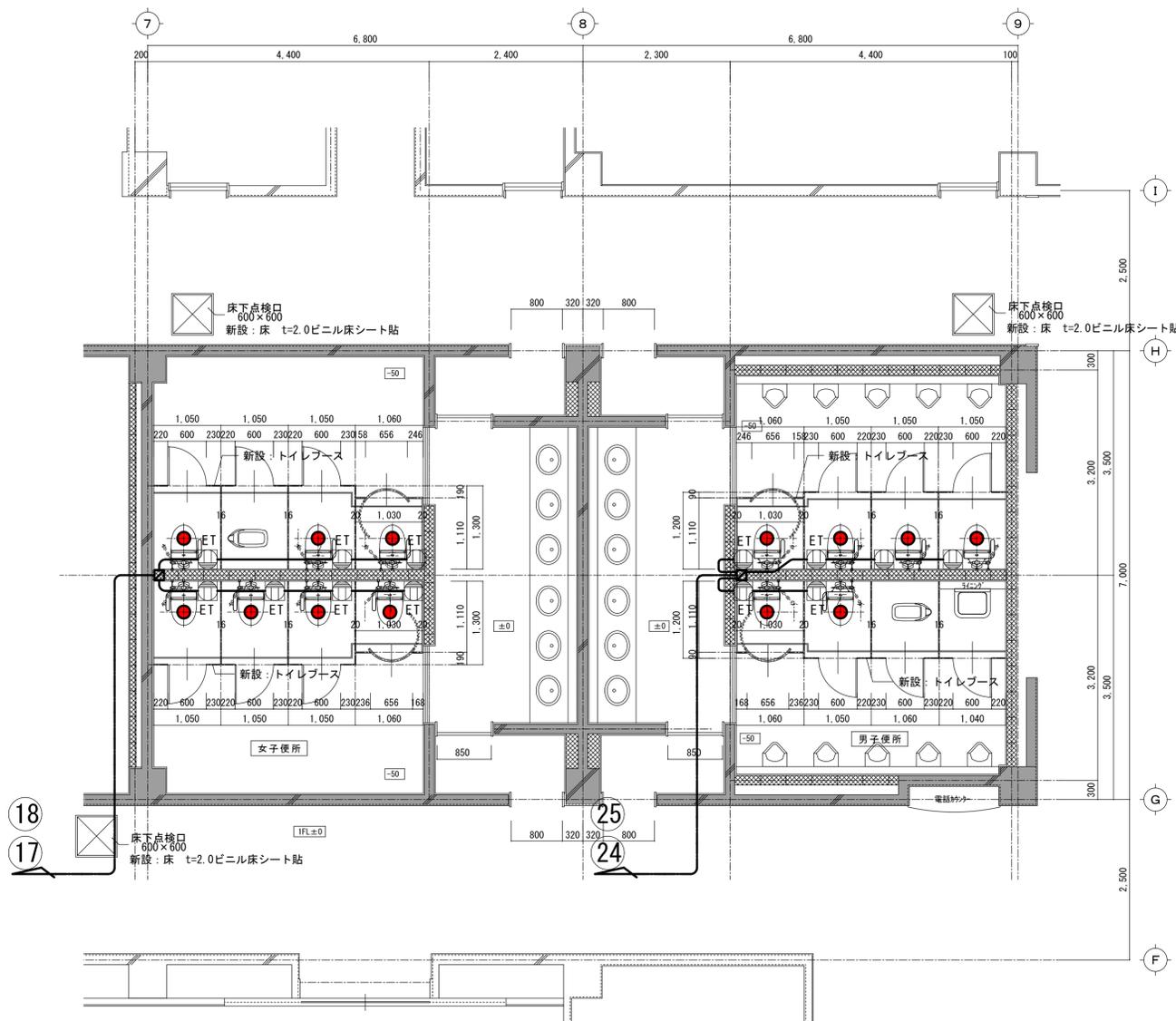
設計 担当 製図

縮尺 S=1/200  
設計年月日 H30.

工事名称 平成30年度 石岡運動公園体育館改修工事  
 図面名称 1階 トイレコンセント設備配線図 (1)



改修前 平面詳細図 S=1/50

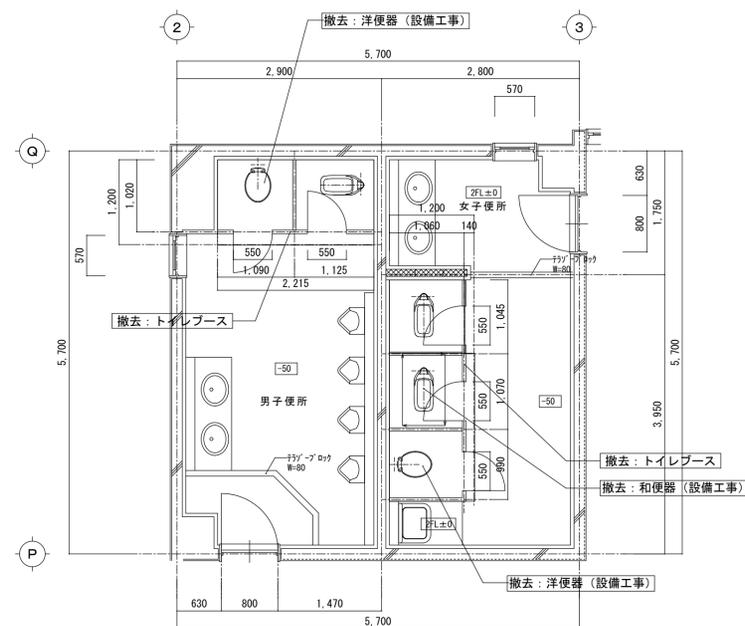


改修後 平面詳細図 S=1/50

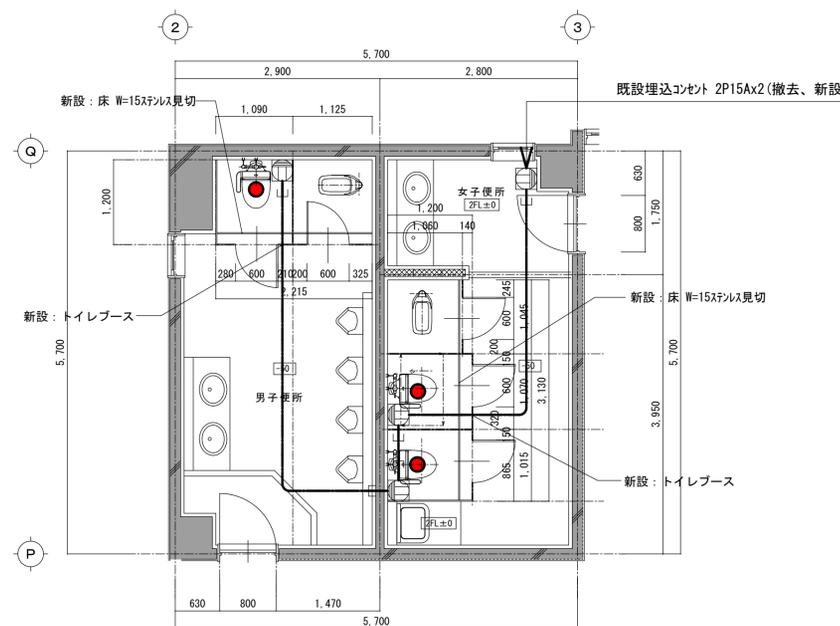
註記 特記なき配管配線は下記とする。

- // —— EM-EEF 2.0 - 2C (天井コログシ配線)
- // —— EM-EEF 2.0 - 2C (マルモル A型) (コーナーボックス共)
- EM-EEF 2.0 - 3C (天井コログシ配線)
- EM-EEF 2.0 - 3C (マルモル B型) (ハレーション取付)

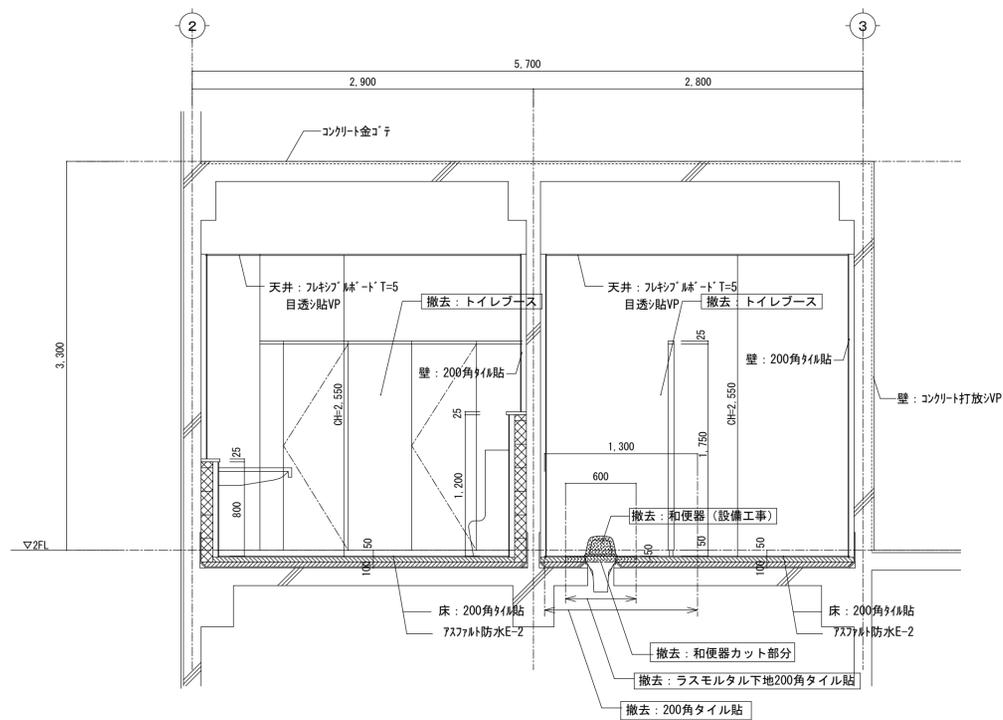
記号	名称
⊙ 2	埋込コンセント 2P15A x 2 (新金属プレート) (マルモルスイッチボックス 1個用共)
⊙ ET	埋込コンセント 2P15A x 1 ET付 (新金属プレート) (マルモルスイッチボックス 1個用共)
☑	マルモルジャンクションボックス



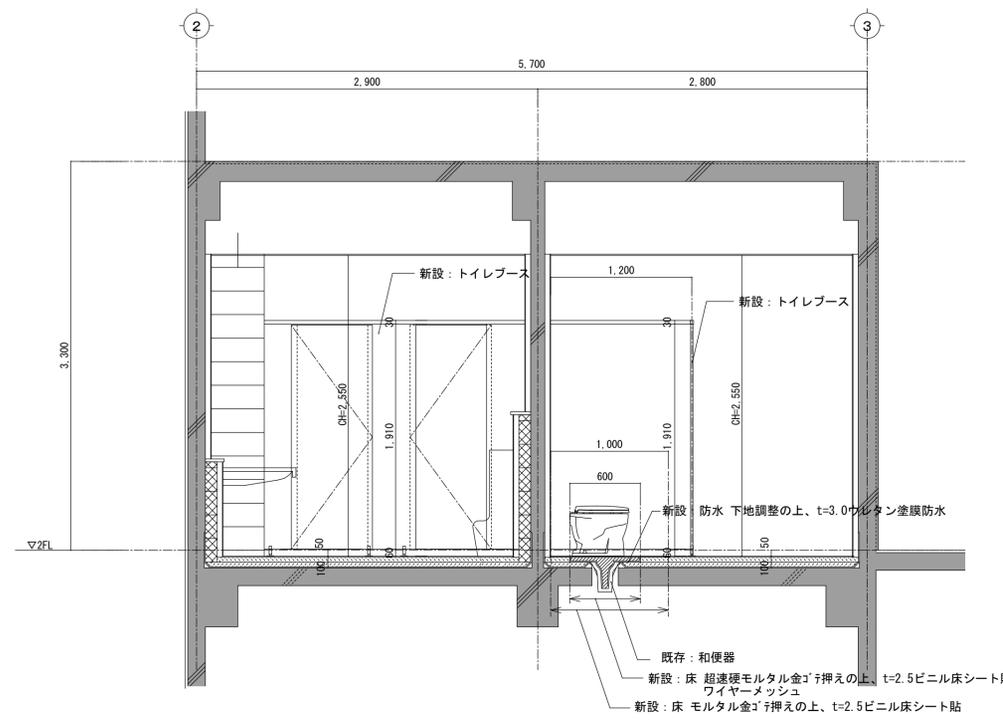
改修前 2階便所平面詳細図 S=1:50



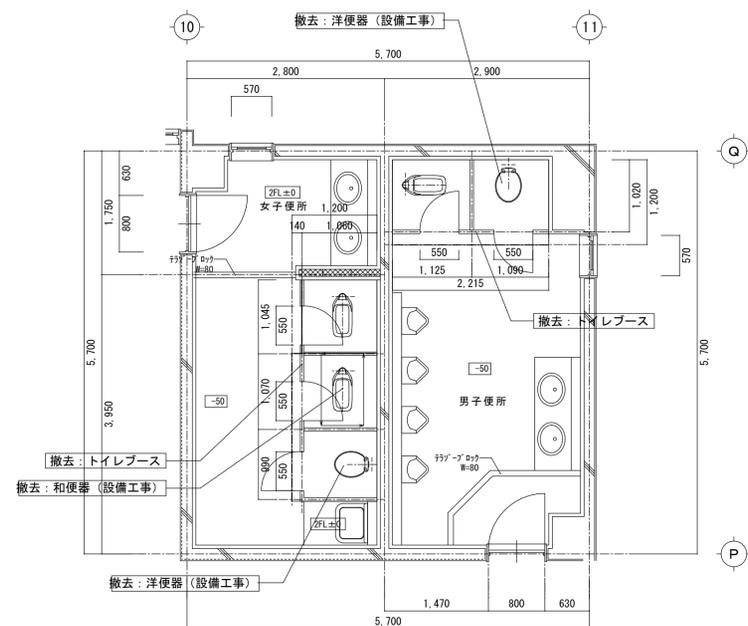
改修後 2階便所平面詳細図 S=1:50



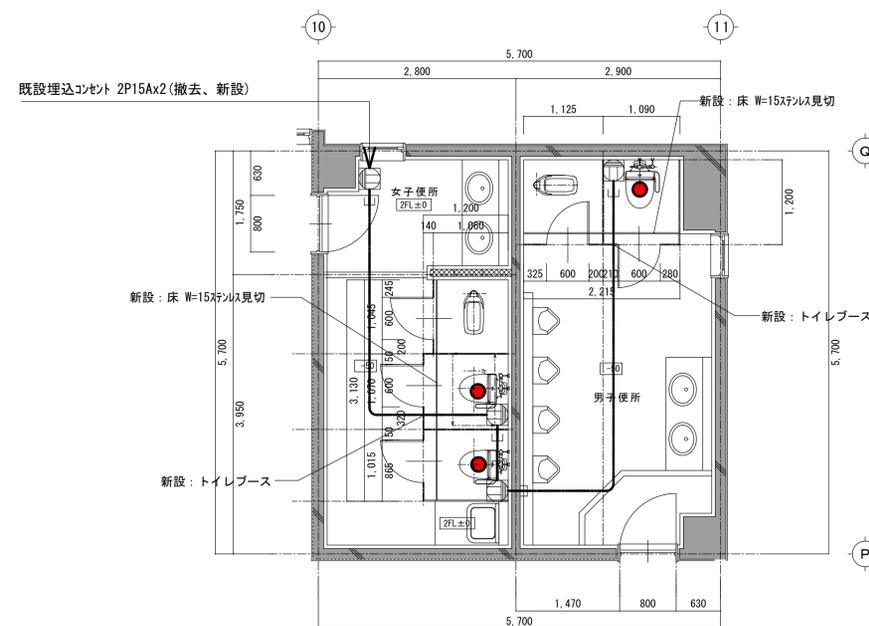
改修前 2階便所断面詳細図 S=1:30



改修後 2階便所断面詳細図 S=1:30

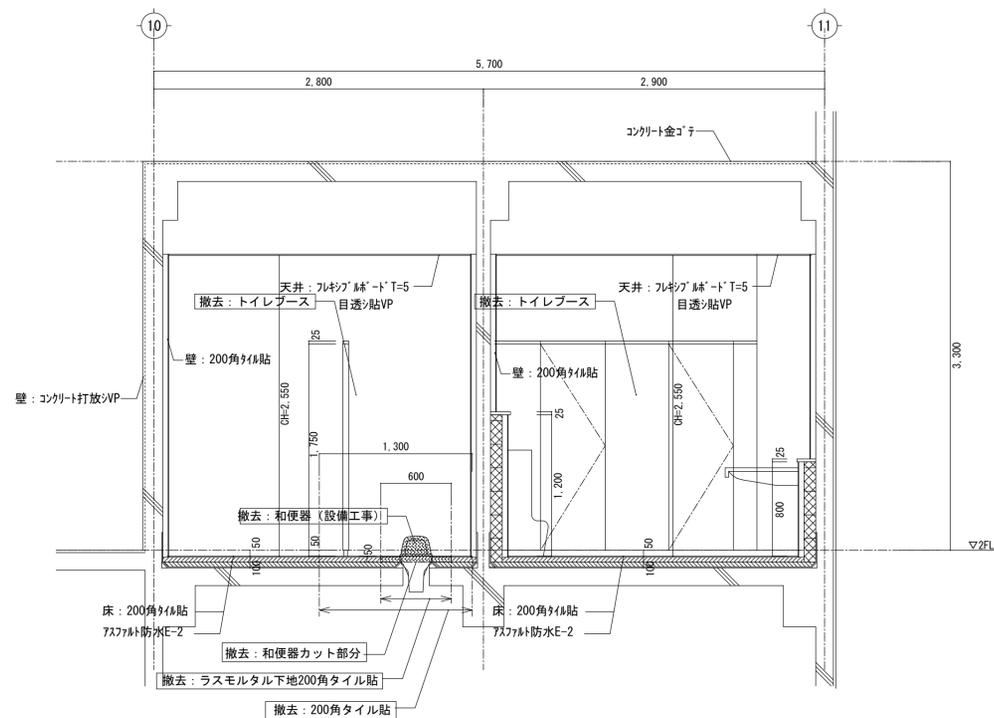


改修前 2階便所平面詳細図 S=1:50

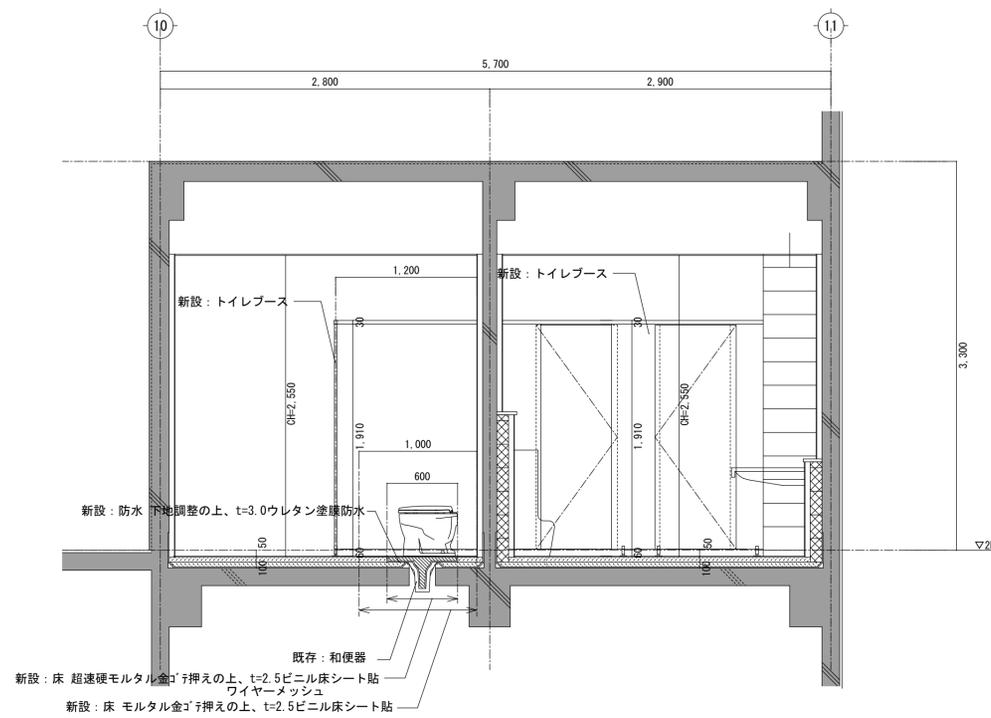


改修後 2階便所平面詳細図 S=1:50

凡例  
... 工事対象範囲を示す。



改修前 2階便所断面詳細図 S=1:30



改修後 2階便所断面詳細図 S=1:30

**機 械 設 備 特 記 仕 様 書 1**

<b>工 事 名 称</b>	平成29年度 石岡運動公園体育館改修工事								②有害物質が含まれないこと。
<b>工 事 場 所</b>	〒315-0035 茨城県石岡市南台三丁目3番地1号								③産業廃棄物が混入していないこと。
<b>建 物 概 要</b>	建物構造及び規模 2階建て								④品質管理については、必要に応じてコーン指数試験（ポータブルコーンペネトロメーター測定）、粗土試験、含水比試験を行い、監督員の確認を受けること。
	建築面積：5,076.54㎡ 延床面積：5,936.28㎡								(2)利用規定について
<b>一 般 事 項</b>	本設備は特記仕様書、設計図、関係官庁その他の条例、規則・指導及び係員の指示に従い施工する。尚、特記なき仕様は『国土交通大臣官房官庁営繕部監修 機械設備工事共通仕様書』及び『機械設備標準図』（いずれも最新年度版）を参考にして施工する。								詳細については「ストックヤード利用規則」を参照し、利用手続きに従って所定の手続きを行う。
									(3)その他
<b>疑 義</b>	図面及び仕様書に、内容の相違がある場合及び明記なき場合、又は、疑いを生じた場合は、係員と協議のうえ処理する。但し、軽微なものについては、係員の指示に従い、予算内で処理する。								質疑が生じた場合には、監督員と別途協議をする。
									(4)土質区分基準
<b>施工図及び工程表</b>	工事着工に先立ち、工程表、工事計画書、メーカーリスト、機器機材承認図・製作図及び施工図を遅滞なく作成し、係員の承認を受けた後、施工に着手する。				排出ガス対策型建設機械使用の原則化				発生土の土質区分は、原則として、コーン指数と日本統一土質分類を指標とし、別紙3-1表に示す土質基準によるものとする。尚、土質改良を行った場合には、改良後の性状で判定するものとする。
<b>官公署その他への手続</b>	工事施工に必要な、官公署その他への手続は、遅滞なく行うとし、これに要する費用は、全て請負業者の負担とする。				リサイクル関係書類				下記の建設機械は排出ガス対策型を使用することとする。
<b>機材等の検査及び試験</b>	検査及び試験を必要とする機材は、共通仕様書によるほか、係員と打合せの上、各機器類能力試験及び各種配管の水圧、気密試験を行うものとする。尚、試験方式、基準は関係官庁の基準に順ずることが出来る。								①ブルドーザー、バックホウ、トラクタシャベル
									②ホイールクレーン、マカダムローラー、タイヤローラー、振動ローラー搭載されているエンジンから排出されるガス成分及び黒煙の量は、別紙値以下とする。
<b>記 録 写 真</b>	工事記録写真は、「工事写真の撮り方（改訂版設備編）」（国土交通大臣官房官庁営繕部監修）に準じて、又、係員と打合せの上、工事中の各工程について重要と認められる箇所（竣工時見えなくなってしまう部分等）を撮影し、工事記録写真帳にファイルし、竣工時に1部提出すること。								(1)再生資源利用計画書
<b>竣工検査及び引渡</b>	工事完成の上は、係員による竣工検査を行い、手直しがある場合はその完了後再検査を受け、官公署その他の許可証、検査済証、機器類保証書、取扱説明書及び試験データ表等を各1部、又竣工図（中折製本3部、金文字製本3部、CDR3部）及び機器類予備部品、付属工具、使用工具等を添えて提出し、引渡を行うものとする。								下記の工事については、着工に先立ち作成し施工計画書に添付する。
<b>建設発生土の処理</b>	構外搬出適切処分とする。								・建設リサイクル法の対象工事。 ・土砂を100m3以上搬入する工事。
<b>建設発生材等の処理</b>	構外搬出適切処分とする。								・砕石（再生砕石を含む）を50トン以上搬入する工事。 ・加熱アスファルト20トン搬入する工事。
<b>建設廃棄物の処理</b>	建設工事に関わる資材の再資源化等に関する法律。廃棄物の処理及び清掃に関する等、関係法律に従い適切に処理する。								(2)再生資源利用促進計画
<b>材料及び工法・資格</b>	(1)本工事に使用する材料は全て新品とし、JIS規格のあるものはJIS規格製品を使用する。 (2)本工事に使用する材料は全て、監督員の検査を受けた後、施工に着手する。 (3)各配管材料は配管凡例の備考欄記載の材料を使用する。 (4)施工に際しては、現場代理人は管工事施工管理技士、空調衛生工学会の設備士、によって施工する。 (5)消防設備は、消防設備士の有資格者によって施工する。 (6)上水道配管、公共下水道配管及びLPG配管を施工する時は規定の有資格者に、又は同等以上の経験者とする。 (7)施工上必要とされる場合は、1級配管技能士、熱絶縁技能士、冷凍空調調和機器施工技能士等の有資格者によって施工する。								下記の工事については、着工に先立ち作成し施工計画書に添付する。
<b>共 通 事 項</b>	(1)地中埋設標を設置する。(・給水 ・ガス ・消火 ・油) (2)識別色は共通仕様書によるほか、ビニールテープ及び埋設標示杭の識別色は、給水は青、排水はシルバー、消火は赤、ガスは黄とする。 (3)地中埋設深さは、一般敷地内500H、敷地内車輛通路部分750H、公道等車輛通路部分1200H以下とする。 (4)給水、ガス、消火、及び油配管を地中に埋設する場合は、150Wの埋設標示テープを敷いて埋め戻すこと。 (5)既設のコンクリート部分の床、壁、梁等の配管貫通部の穴空けは原則としてダイヤモンドカッターを使用する。 (6)鍵及び弁等に取り付ける名札は、プラスチック製（白）とし、系統名及び常時開又は閉の彫込文字（黒）を記入する。 (7)機械室及び屋上等の機器及び機器廻りの配管等には、黒ベイント等にて、機器名、系統名、管名、方向等の表示をする。				不正軽油使用禁止				・建設リサイクル法の対象工事。 ・土砂を100m3以上搬出する工事。
<b>機器の規格</b>	機器の仕様は特記仕様による。特記なき場合は、当該製品の製造者指定工法による。								(3)産廃物処理計画
<b>測定表</b>	試運転調整後は、速やかに測定し、監督員に提出する。尚、測定内容及び測定箇所等は監督員の指示による。								下記の工事については、着工に先立ち作成し施工計画書に添付する。
<b>容量の表示</b>	・ 温度 ・ 湿度 ・ 風 量 ・ 騒 音 ・ 振 動 ・ 水 圧 ・ 機 密								・建設リサイクル法の対象工事。 ・土砂を100m3以上搬入する工事。
	(1)電動機出力などは、表示された出力以下の容量とする。但し、防災機器は除く。								(4)再生資源利用実施書
	(2)冷・温熱源機器等及び防災機器の能力、容量は、その数値以上のものとする。								下記の工事については、完成書類に添えて発注者に提出する。
<b>土工事</b>	根伐りは、周辺の土質などに適した工法とし、土砂が崩壊しないように、関係法令に基づき施工する。(山止めを行う場合は監督員と協議をして行うものとする)								・建設発生土、コンクリート塊、アスファルトコンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥、建設混合物を搬出する全ての工事。混合物を使用する全ての工事。
換気ダクトの保温・防露	空調SA、OAダクトの全て、及び排気ダクトは外壁より1m迄を保温及び防露工事を行うものとする。								作成部数等は、発注者へ一部提出、実態調査用にFDを提出、請負者一部保管（工事竣工後1年間）
<b>温湿度設計条件</b>	外 気								(5)再生資源利用促進実施書
	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)					下記の工事については、完成書類に添えて発注者に提出する。
夏 季									・建設発生土、コンクリート塊、アスファルトコンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥、建設混合物を搬出する全ての工事。混合物を使用する全ての工事。
冬 季									作成部数等は、発注者へ一部提出、実態調査用にFDを提出、請負者一部保管（工事竣工後1年間）
<b>発生土のストックヤード</b>	本工事による発生土をストックヤードに搬出する場合（原則20Km以内）				過積載による違法運行防止対策について				(6)廃棄物処理実施書
	(1)搬入建設発生土の種類								・建設リサイクル法の対象工事。 発注者へ一部提出、請負者一部保管（工事竣工後5年間）
	①第1・2・3・4種建設発生土（建設発生土利用技術マニュアルの土質区分基準）を搬出すること。								①現場で不正軽油を使用しないこと。

機 械 設 備 特 記 仕 様 書 2

配管凡例		[註記] ● 本工事使用材料。 ○ 本工事外材料。												
本工事	記号	管種	仕様	規格	本工事	記号	管種	仕様	規格	本工事	記号	管種	仕様	規格
○		揚水管 (埋設用)	耐衝撃性塩化ビニール管	JIS-K-6721	○		二酸化炭素消火管	配管用炭素鋼々管 (白)	JIS-G-3452	○		可とう継手	合成ゴム製、JIS10K	
○		"	硬質塩化ビニール管 (VP)	JIS-K-6741・2	○		"	外面塩ビ被覆鋼管	※埋設用	○		防振継手	合成ゴム製、JIS10K	
○		"	硬質塩化ビニール管 (VVD)	JWWA-K-116VD	○		補給水管	硬質塩化ビニール管	JWWA-K-116VA	○		伸縮継手	・単式、 ・複式	
○		"	軟質ポリエチレン管	JIS-K-6761	○		"	硬質塩化ビニール管	JWWA-K-116VD	○		自動エア抜管	・JIS10K、	
○		揚水管	硬質塩化ビニール管	JWWA-K-116VA	○		温水管 (往・還管)	水道用亜鉛鍍鋼管	JIS-G-3442	○		減圧弁		
○		"	ステンレス鋼々管	JIS-G-3448	○		"	配管用炭素鋼々管 (白)	JIS-G-3452	○		電動2方弁		
○		給水管 (埋設用)	耐衝撃性塩化ビニール管	JIS-K-6721	○		"	外面被覆鋼管	※埋設用	○		電動3方弁		
○		"	硬質塩化ビニール管 (VP)	JIS-K-6741・2	○		"	耐熱塩化ビニール管	VS-P-043	○		電磁弁		
○		"	軟質ポリエチレン管	JIS-K-6761	○		"	ステンレス鋼々管	JIS-G-3448	○		圧力計		
○		"	硬質塩化ビニール管 (VVD)	JWWA-K-116VD	○		"	耐熱塩化ビニール管	JIS-K-6776	○		連成計		
●		給水管	硬質塩化ビニール管	JWWA-K-116VB	○		冷水管 (往・還管)	水道用亜鉛鍍鋼管	JIS-G-3442	○		温度計		給湯ヒーター出口に設置
○		"	耐衝撃性塩化ビニール管	JIS-K-6721	○		"	配管用炭素鋼々管 (白)	JIS-G-3452	○		サーモスタット		
○		中水管 (埋設用)	耐衝撃性塩化ビニール管	JIS-K-6721	○		"	外面被覆鋼管	※埋設用	○		ヒューミディスタット		
○		"	硬質塩化ビニール管 (VP)	JIS-K-6741・2	○		"	硬質塩化ビニール管	JWWA-K-116VA	○		給水栓・給湯栓	クロームメッキ製	
○		"	軟質ポリエチレン管	JIS-K-6761	○		"	ステンレス鋼々管	JIS-G-3448	○		混合水栓	クロームメッキ製	
○		"	硬質塩化ビニール管 (VVD)	JWWA-K-116VD	○		"	硬質塩化ビニール管 (VP)	JIS-K-6741・2	○		ガスヒューズコック	クロームメッキ製	
●		中水管	硬質塩化ビニール管	JWWA-K-116VA	○		冷媒管 (往・還管)	被覆断熱銅管 (硬質直管)	25.40φ以下	○		埋込形ガスヒューズコック	クロームメッキ製	
○		"	ステンレス鋼々管	JWWA-G-115VA	○		"	被覆断熱銅管 (フレア管)	22.22φ以下	○		通気金物	アルミ合金製	
○		給湯管 (往・還管)	耐熱塩化ビニール管	WSP-043	○		冷水水管 (往・還管)	水道用亜鉛鍍鋼管	JIS-G-3442	●		床上掃除口	クロームメッキ製	
○		"	銅管 (M・Lタイプ)	JIS-H-3300	○		"	配管用炭素鋼々管 (白)	JIS-G-3452	○		床排水金物	本体鍍鉄製	
○		"	ステンレス鋼々管	JWWA-G-115VA	○		"	外面被覆鋼管	※埋設用	○		流し排水金物	本体鍍鉄製	
○		"	耐熱塩化ビニール管	※埋設用	○		"	耐熱塩化ビニール管	VS-P-043	○		ホース挿入形排水金物	本体鍍鉄製	
●		汚水管	排水用鍍鉄管 (メカニカル型)	HASS-210	○		"	ステンレス鋼々管	JIS-G-3448	○		排水共栓	クロームメッキ製	
○		"	タールエポキシ・コーティング鋼管		○		"	耐熱塩化ビニール管	VS-P-043	○		屋内消火栓箱	本体鋼板製	補助放水栓箱も同様
●		"	硬質塩化ビニール管 (VP)	JIS-K-6741・2	○		冷却水管 (往・還管)	水道用亜鉛鍍鋼管	JIS-G-3442	○		"	本体鋼板製	連結送水口付
○		"	硬質塩化ビニール管 (VU)	JIS-K-6741	○		"	配管用炭素鋼々管 (白)	JIS-G-3452	○		連結送水口箱	本体鋼板製	
○		"	排水用塩化ビニール管		○		"	外面被覆鋼管	※埋設用	○		SPヘッド	◎高感度ヘッド・従来ヘッド (1種)	
●		"	耐火二層管	建設大臣認定品	○		"	耐衝撃性塩化ビニール管	JIS-K-6721	○		"	・従来ヘッド (2種)	
○		"	排水用鉛管	HASS-203	○		"	ステンレス鋼々管	JIS-G-3448	○		テスト弁	クロームメッキ製	
○		排水管	配管用炭素鋼々管 (白)	JIS-G-3452	○		"	硬質塩化ビニール管 (VP)	JIS-K-6741・2	○		送水口	・壁付、 ・自立形	
○		"	外面被覆鋼管	※埋設用	○		膨脹管	水道用亜鉛鍍鋼管	JIS-G-3442	○		雨水用溜樹		
○		"	タールエポキシ・コーティング鋼管		○		"	配管用炭素鋼々管 (白)	JIS-G-3452	○		"		
●		"	硬質塩化ビニール管 (VP)	JIS-K-6741・2	○		"	外面被覆鋼管	※埋設用	○		汚水用インパート樹		樹リスト仕様による
○		"	硬質塩化ビニール管 (VU)	JIS-K-6741	○		"	耐熱塩化ビニール管	VS-P-043	○		ダクト (平面)	※亜鉛引鉄板製・SUS製・塩ビ製	
●		"	耐火二層管	建設大臣認定品	○		"	ステンレス鋼々管	JIS-G-3448	○		ダクト (断面)	※給気 ※排気 ※外気 ※排煙	
○		"	排水鉛管	HASS-203	○		"	エア抜管	JIS-G-3459	○		ポリウムダンパー	鋼板製	
○		"	遠心力鉄筋コンクリート管	JIS-A-5303B	○		"	配管用炭素鋼々管 (白)	JIS-G-3452	○		ファイアダンパー	鋼板製	
○		"	厚型陶管	JIS-R-1201	○		"	耐熱塩化ビニール管	VS-P-043	○		ファイアポリウムダンパー	鋼板製	
○		通気管	配管用炭素鋼々管 (白)	JIS-G-3452	○		ドレーン管	配管用炭素鋼々管 (白)	JIS-G-3452	○		チャッキダンパー	鋼板製	
○		"	外面被覆鋼管	※埋設用	○		"	硬質塩化ビニール管 (VP)	JIS-K-6741・2	○		スモークファイアダンパー	鋼板製	
○		"	耐火二層管	建設大臣認定品	○		"	耐火二層管	建設大臣認定品	○		モーターダンパー	鋼板製	
○		"	硬質塩化ビニール管 (VLP)	JIS-K-6741・2	○		"	外面被覆鋼管	※埋設用	○		たわみ継手		
○		ガス管	水道用亜鉛鍍鋼管	JIS-G-3442	○		"	耐熱塩化ビニール管	※埋設用	○		フレキシブルダクト	鋼製	アルミ製は使用不可
○		"	配管用炭素鋼々管 (白)	JIS-G-3452	○		オイル管 (往・還管)	ポリエチレン被覆鋼管	JIS-G-3469	○		吹出口類	・アルミ製、 ・鋼板製	
○		"	ポリエチレン被覆鋼管	JIS-G-3469	○		オイル供給管	ポリエチレン被覆鋼管	JIS-G-3469	○		吸込口類	・アルミ製、 ・鋼板製	
○		屋内消火栓管	水道用亜鉛鍍鋼管	JIS-G-3442	○		オイル通気管	配管用炭素鋼々管 (黒)	JIS-G-3452	○		排煙口	鋼板製	
○		"	配管用炭素鋼々管 (白)	JIS-G-3452	○		ゲートバルブ	・JIS5K (-般用)、 ・◎JIS10K (直結用)		○		リターンガラリ	・アルミ製、 ・鋼板製	
○		"	外面被覆鋼管	※埋設用	○		チャッキバルブ	◎JIS10K、		○		給気ガラリ	・アルミ製、 ・鋼板製	
○		SP管	圧力配管用炭素鋼々管	JIS-G-3454 (sch40)	○		ストップバルブ	・JIS5K、 ・JIS10K		○		排気ガラリ	・アルミ製、 ・鋼板製	
○		"	配管用炭素鋼々管 (白)	JIS-G-3452	○		マレーブルバルブ	・JIS10K、		●		壁付換気扇		
○		"	外面塩ビ被覆鋼管	※埋設用	○		マレーブルチャッキ	・JIS10K、		○		天井埋込形換気扇		
○		連結送水管	圧力配管用炭素鋼々管	JIS-G-3454 (sch40)	○		KRバルブ	・JIS10K、		○		全熱交換機ユニット		
○		"	配管用炭素鋼々管 (白)	JIS-G-3452	○		ガスコック	本体=鍍鉄製						
○		"	外面塩ビ被覆鋼管	※埋設用	○		Y形ストレーナー	・JIS10K、						
○		泡消火管	配管用炭素鋼々管 (白)	JIS-G-3452	○		オイルストレーナー	・単式、 ・複式						
○		"	外面塩ビ被覆鋼管	※埋設用	○		可とう継手	SUS製、JIS10K						

機 械 設 備 特 記 仕 様 書 3

保温・塗装仕様				機 材 指 定 表						
= 下記の仕様により施工する。				下記の製造業社名簿による。尚、下記以外の製造業者の機材を使用したい場合は、係員の承認を受けるものとする。						
注	● 本工事使用材料	○ 本工事外材料	管種	施工箇所	保温・塗装仕様	注	● 本工事使用材料	○ 本工事外材料	機材名	製造業者
	●	○	給水・排水管	屋内露出	グラスウール保温筒(A)+鉄 線+合成樹脂製カバー	●	○	○	鋼管類	JISマーク・水マーク表示品
	○	○	〃	機械室露出	グラスウール保温筒(A)+鉄 線+アルミガラスクロス(JIS-R-3414)		○	○	硬質塩化ビニール管類	〃
	○	○	〃	屋外露出及び多湿箇所	グラスウール保温筒(A)+鉄 線+ポリエチレンフィルム+ステンレス鋼板ラッキング(0.2t以上)		○	○	遠心力鉄筋コンクリート管類	〃
	○	○	〃	屋内隠蔽	グラスウール保温筒(A)+鉄 線+アルミガラスクロス(JIS-R-3414)		○	○	陶管類	〃
	○	○	給水管	床下トレンチ・ピット内	グラスウール保温筒(A)+鉄 線+ポリエチレンフィルム+着色アルミガラスクロス		○	○	ステンレス鋼々管類	〃
	○	○	(鋼管類)	コンクリート内	プラスチックテープ1/2重ね1回巻		○	○	コーティング鋼管類	〃
	○	○	エア・油管	地中埋設	ベトロタム系防蝕テープ1/2重1回巻+プラスチックテープ1/2重ね1回巻		○	○	硬質塩ビ・ライニング鋼管類	〃
	○	○	(鋼管類)	屋内外露出	エッチングプライマー1回+錆止塗料1回+合成樹脂調合塗料2回(黒管の場合は合成樹脂調合塗料2回)		○	○	耐熱塩ビ・ライニング鋼管類	〃
	○	○	(〃)	床下トレンチ・ピット内	錆止塗料2回		○	○	ポリエチレン被覆鋼管	〃
	○	○	排水鉛管	コンクリート内	プラスチックテープ1/2重ね1回巻		○	○	排水用鋳鉄管	〃
	○	○	〃	地中埋設	ベトロタム系防蝕テープ1/2重1回巻+プラスチックテープ1/2重ね1回巻		○	○	鉛管類	大同化工機
	○	○	温水・給湯・膨張管	屋内露出	グラスウール保温筒(A)+鉄 線+合成樹脂製カバー		○	○	弁類	北沢バルブ 大和バルブ
	○	○	〃	機械室露出	グラスウール保温筒(A)+鉄 線+アルミガラスクロス(JIS-R-3414)		○	○	ポンプ類	川本製作所 テラル
	○	○	〃	屋外露出及び多湿箇所	グラスウール保温筒(A)+鉄 線+ポリエチレンフィルム+ステンレス鋼板ラッキング(0.2t以上)		○	○	簡易水洗便器類	松下電工 ネボン
	○	○	〃	屋内隠蔽	グラスウール保温筒(A)+鉄 線+アルミガラスクロス(JIS-R-3414)		○	○	衛生陶器及び水栓類	TOTO LIXIL
	○	○	〃	床下トレンチ・ピット内	グラスウール保温筒(A)+鉄 線+ポリエチレンフィルム+着色アルミガラスクロス		○	○	受水槽及び高集水槽(FRP製)	川本製作所
	○	○	〃	地中埋設	グラスウール保温筒(A)+鉄 線+ポリエチレンフィルム+着色アルミガラスクロス		○	○	〃(鋼製・SUS製)	積水アクアシステム
	○	○	冷水・冷温水管	屋内露出	グラスウール保温筒1号(B)+鉄 線+ポリエチレンフィルム+原 紙+綿 布+目止1回+調合塗料2回		○	○	製缶類	温水工業 仙都工業
	○	○	〃	機械室露出	グラスウール保温筒1号(B)+鉄 線+ポリエチレンフィルム+原 紙+綿 布+目止1回+調合塗料2回		○	○	消火栓箱類	横井製作所 東海鉄工製作所
	○	○	〃	屋外露出及び多湿箇所	グラスウール保温筒1号(B)+鉄 線+ポリエチレンフィルム+鉄 線+アルミガラスクロス(JIS-R-3414)		○	○	泡及びスプリンクラーヘッド類	南北製作所 岸本産業
	○	○	〃	屋内隠蔽	グラスウール保温筒1号(B)+鉄 線+ポリエチレンフィルム+鉄 線+アルミガラスクロス(JIS-R-3414)		○	○	伸縮継手類	東和防災 ニッタン
	○	○	〃	床下トレンチ・ピット内	グラスウール保温筒1号(B)+鉄 線+ポリエチレンフィルム+防水麻布巻+アスファルトプライマー2回		○	○	ボイラー及び真空給湯暖房機	日本ペロー工業 トーゼン産業
	○	○	〃	地中埋設	グラスウール保温筒1号(B)+鉄 線+ポリエチレンフィルム+防水麻布巻+アスファルトプライマー2回		○	○	厨房器具類	タクマ 昭和鉄工
	○	○	冷却水管	屋内外露出	調合塗料2回		○	○	排水金物及び鋳鉄製品類	日本調理機 サンウェーブ
	○	○	〃	屋内露出	ロックウール保温筒1号(C)+鉄 線+原 紙+綿 布+目止1回+調合塗料2回		○	○	伊藤鉄工	長谷川鑄工所 小島製作所
	○	○	〃	機械室露出	ロックウール保温筒1号(C)+鉄 線+原 紙+アルミガラスクロス(JIS-R-3414)		○	○	RO排水処理槽	チュールE・G
	○	○	〃	屋外露出及び多湿箇所	ロックウール保温筒1号(C)+鉄 線+ポリエチレンフィルム+ステンレス鋼板ラッキング(0.2t以上)		○	○	合併処理浄化槽	フジクリーン 大栄産業
	○	○	〃	屋内隠蔽	ロックウール保温筒1号(C)+鉄 線+アルミガラスクロス(JIS-R-3414)		○	○	空冷ヒートポンプ式空調機	ダイキン 三菱電機
	○	○	〃	床下トレンチ・ピット内	ロックウール保温筒1号(C)+鉄 線+ポリエチレンフィルム+防水麻布巻+アスファルトプライマー2回		○	○	ガスヒートポンプ式空調機	ダイキン 日立
	○	○	〃	地中埋設	ロックウール保温筒1号(C)+鉄 線+ポリエチレンフィルム+防水麻布巻+アスファルトプライマー2回		○	○	水冷式空調機	東芝キャリア工業 三洋電機
	○	○	〃	コンクリート内	プラスチックテープ1/2重ね1回巻		○	○	エアハンドリングユニット	暖冷工業 新晃工業
	○	○	〃	地中埋設	ベトロタム系防蝕テープ1/2重1回巻+プラスチックテープ1/2重ね1回巻		○	○	ファンコイルユニット	〃 〃
	○	○	〃	屋内外露出	エッチングプライマー1回+錆止塗料1回+合成樹脂調合塗料2回(黒管の場合は合成樹脂調合塗料2回)		○	○	空冷式チラー	東芝キャリア工業 三洋電機
	○	○	空調用・ダクト	屋内露出(居室等)	アルミ鉄+ロックウール保温板1号(50mm)+鉄 線+着色亜鉛鉄板ラッキング(0.35t以上)		○	○	水冷式チラー	〃 〃
	○	○	〃	〃	アルミ鉄+ロックウール保温板1号(50mm)+鉄 線+亜鉛鉄板+エッチングプライマー1回+錆止塗料1回+調合塗料2回		○	○	クーリングタワー	荏原シンワ 空研工業
	○	○	〃	屋内露出(機械室等)	アルミ鉄+アルミガラスクロス化粧保温板(ロックウール・50mm)+アルミガラスクロス粘着テープ		○	○	吸収式冷温水発生機	三洋電機 日立製作所
	○	○	〃	屋外露出及び多湿箇所	アルミ鉄+ロックウール保温板1号(50mm)+アルミガラスクロス粘着テープ+アスファルトルーフィング+鉄線+着色亜鉛鉄板ラッキング(0.35t以上)		○	○	電気集塵機	三菱重工 三菱電機
	○	○	〃	〃	アルミ鉄+ロックウール保温板1号(50mm)+アルミガラスクロス粘着テープ+アスファルトルーフィング+鉄線+ステンレス鋼板ラッキング(0.2t以上)		○	○	自動回転空気ろ過機	東洋空気調和 日本エアフィルター
	○	○	〃	屋内隠蔽	アルミ鉄+アルミガラスクロス化粧保温板(GW25mm)+アルミガラスクロス粘着テープ		○	○	吹出口・吸込口・排煙口類	西邦工業 寿空調
	○	○	〃	〃	(リターンのみ)保温無し		○	○	ダンパー・ガラリ類	寿空調 千代田技研産商
	○	○	〃	OA用・ダクト	アルミ鉄+ロックウール保温板1号(25mm)+鉄 線+着色亜鉛鉄板ラッキング(0.35t以上)		○	○	熱風炉	ネボン 三菱重工
	○	○	〃	屋外露出及び多湿箇所	アルミ鉄+ロックウール保温板1号(25mm)+鉄線+アスファルトルーフィング+鉄線+着色亜鉛鉄板ラッキング(0.35t以上)		○	○	自動制御機器類	オーテック 鷲宮製作所
	○	○	〃	屋内隠蔽	アルミ鉄+アルミガラスクロス化粧保温板(ロックウール・25mm)+アルミガラスクロス粘着テープ		○	○	送風機類	テラルキョクトウ 荏原製作所
	○	○	排気用・ダクト	屋内外露出	エッチングプライマー1回+錆止塗料1回+調合塗料2回		○	○	換気扇類	三菱電機 パナソニック
	○	○	〃	屋内隠蔽	エッチングプライマー1回+錆止塗料1回+調合塗料2回		○	○	全熱交換機	〃 〃
	○	○	排煙用・ダクト	〃	アルミ鉄+アルミガラスクロス化粧保温板(ロックウール・50mm)+アルミガラスクロス粘着テープ		○	○	消音ファンユニット	〃 日立製作所
	○	○	消音内貼	機械室内他	アルミ鉄+ロックウール保温板2号(50mm・40K)+エマルジョン接着剤+ガラスクロス+銅亀甲金網(網目10・線径0.5)		○	○	ガス給湯器類	リンナイ ノーリツ
	○	○	〃	屋内隠蔽・DS内	アルミ鉄+ロックウール保温板2号(25mm・40K)+エマルジョン接着剤+ガラスクロス(EP18・上記も同様)		○	○	電気温水器類	TOTO イトミック
	○	○	空調及び換気用・ダクト	屋内外露出	エッチングプライマー1回+錆止塗料1回+調合塗料2回		○	○	ペーパーライザー	矢崎総業 伊藤工機
	○	○	〃	室内より見える範囲内	黒艶消塗料2回		○	○	太陽熱機器類	三洋電機 タクマ
	○	○	〃	煙導	ロックウールブランケット1号(75mm)+鉄 線+着色亜鉛鉄板ラッキング(0.35t以上)		○	○	脱臭装置類	山武ハネウエル システムアンドコントロールジャパン
	○	○	〃	〃	ロックウールブランケット1号(75mm)+鉄 線+ステンレス鋼板ラッキング(0.2t以上)		○	○	密閉形膨張タンク	藤田商事 日立機材
	○	○	温水及び膨張水槽・熱交換器	屋内外露出	アルミ鉄+ロックウール保温板2号(50mm)+鉄 線+アルミニウム板ラッキング(0.8t以上)		○	○	ろ過機類	十字屋
	○	○	〃	〃	アルミ鉄+ロックウール保温板2号(25mm)+鉄 線+アルミニウム板ラッキング(0.8t以上)		○	○	遠赤外線暖房機	東京電気工業 日本シーズ線
	○	○	冷媒管	屋外露出	スリムダクト(高耐食製鋼板)		○	○	ドライミスト	ナノスケール
	○	○	〃	〃	塩化ビニール樹脂製スリムダクト					
					(A)15A~80A=20mm、100A~150A=25mm、200A=40mm、					
					(B)15A~25A=20mm、32A~200A=40mm、250A以上=50mm、					
					(C)15A~25A=30mm、32A~200A=40mm、					

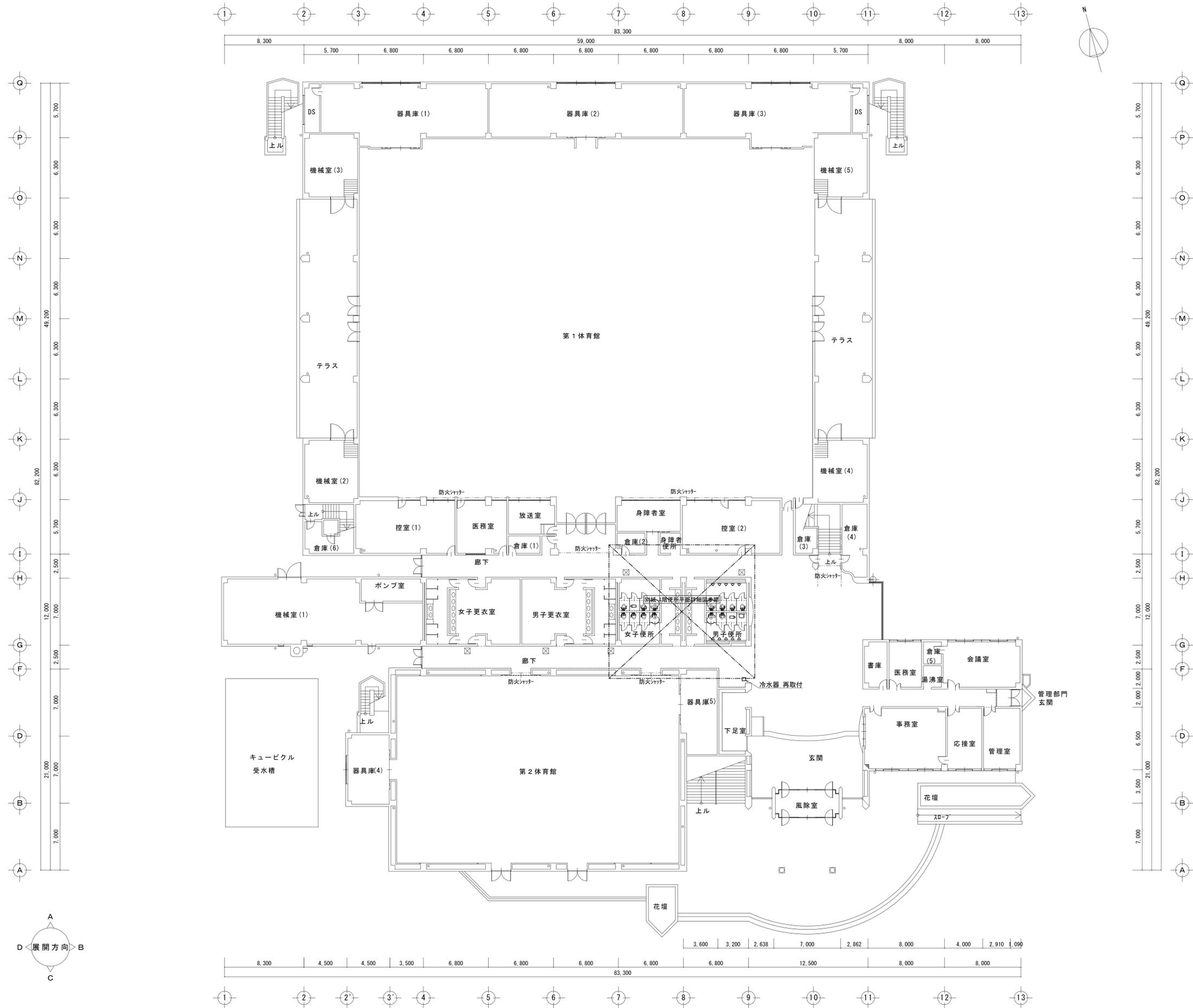
衛生器具表(撤去)

名 称	型 番	付 属 品	合 計	1階		2階				備 考
				女子便所	男子便所	男子便所 (②)~(③通り)	女子便所 (②)~(③通り)	男子便所 (⑩)~(⑪通り)	女子便所 (⑩)~(⑪通り)	
和風大便器	(建築工事)	節水型FV、紙巻器(TS116RAY)、他付属品一式共	9	3	4		1		1	
洋風大便器	C-21	節水型FV、紙巻器(TS116RAY)、他付属品一式共	10	4	2	1	1	1	1	

衛生器具表(改修)

名 称	型 番	付 属 品	合 計	1階		2階				備 考
				女子便所	男子便所	男子便所 (②)~(③通り)	女子便所 (②)~(③通り)	男子便所 (⑩)~(⑪通り)	女子便所 (⑩)~(⑪通り)	
フラッシュタンク式洋風大便器	CFS497BMC	掃除口付、ウォシュレット(TCF585R、擬音装置付)棚付二連紙巻器(YH702)、他付属品一式	11	7			2		2	1φ100V、316W
フラッシュタンク式洋風大便器	CFS497BMC	掃除口付、ウォシュレット(TCF6621棚付二連紙巻器(YH702)、他付属品一式	8		6		1		1	1φ100V、321W

※紙巻器設置位置については協議の上決定とする。



改修後1階平面図 S=1/200

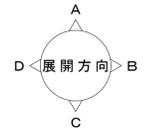
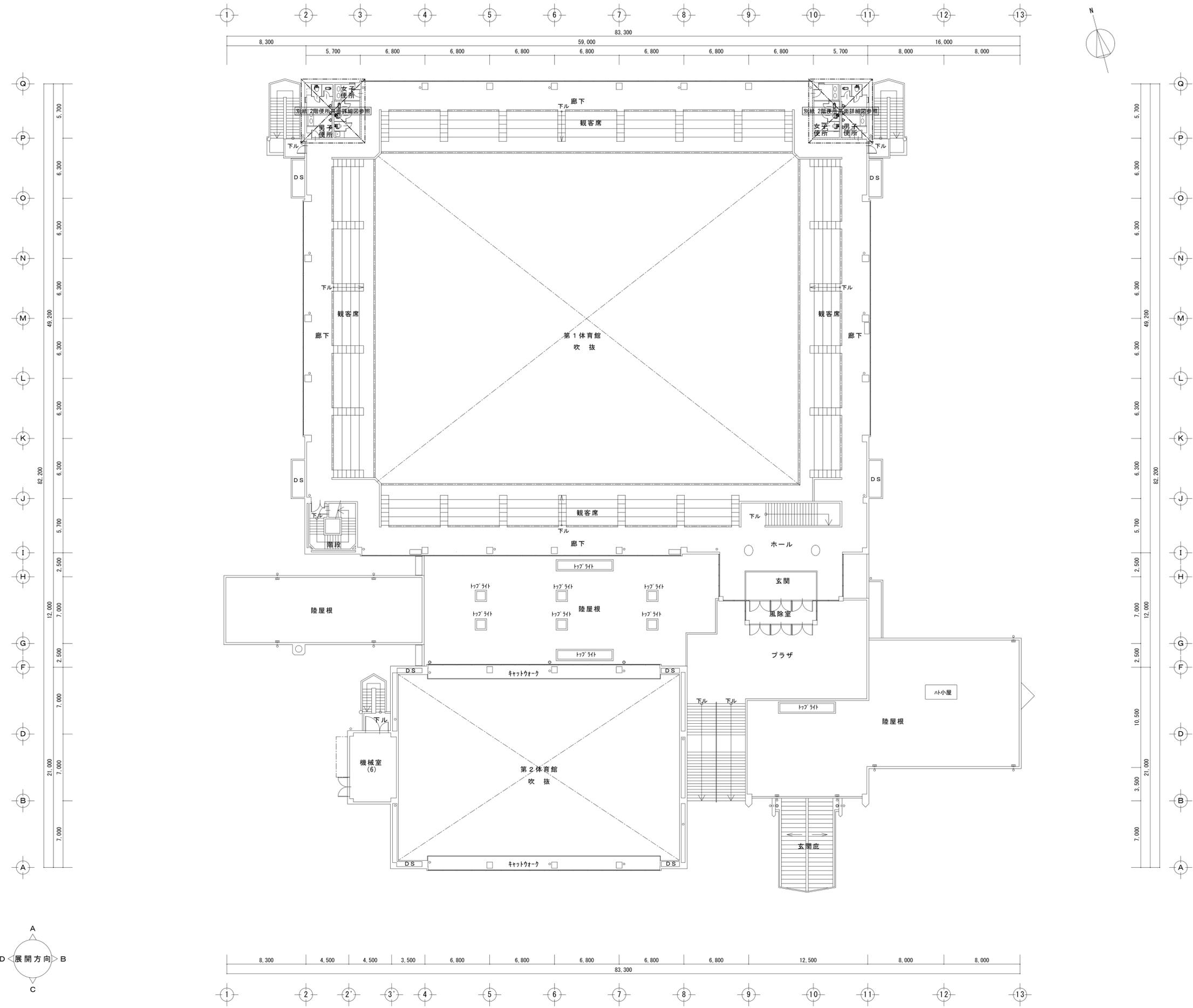


一級建築士事務所 (有)クボタ建築設計事務所  
 茨城県 第A2210号(2805)  
 建設大臣登録第210340号  
 一級建築士 久保田 吉文

設計 担当 製図

縮尺 S=1/200  
 設計年月日 H30.

工事名称 平成30年度 石岡運動公園体育館改修工事  
 図面名称 給排水衛生設備 1階平面図(改修)



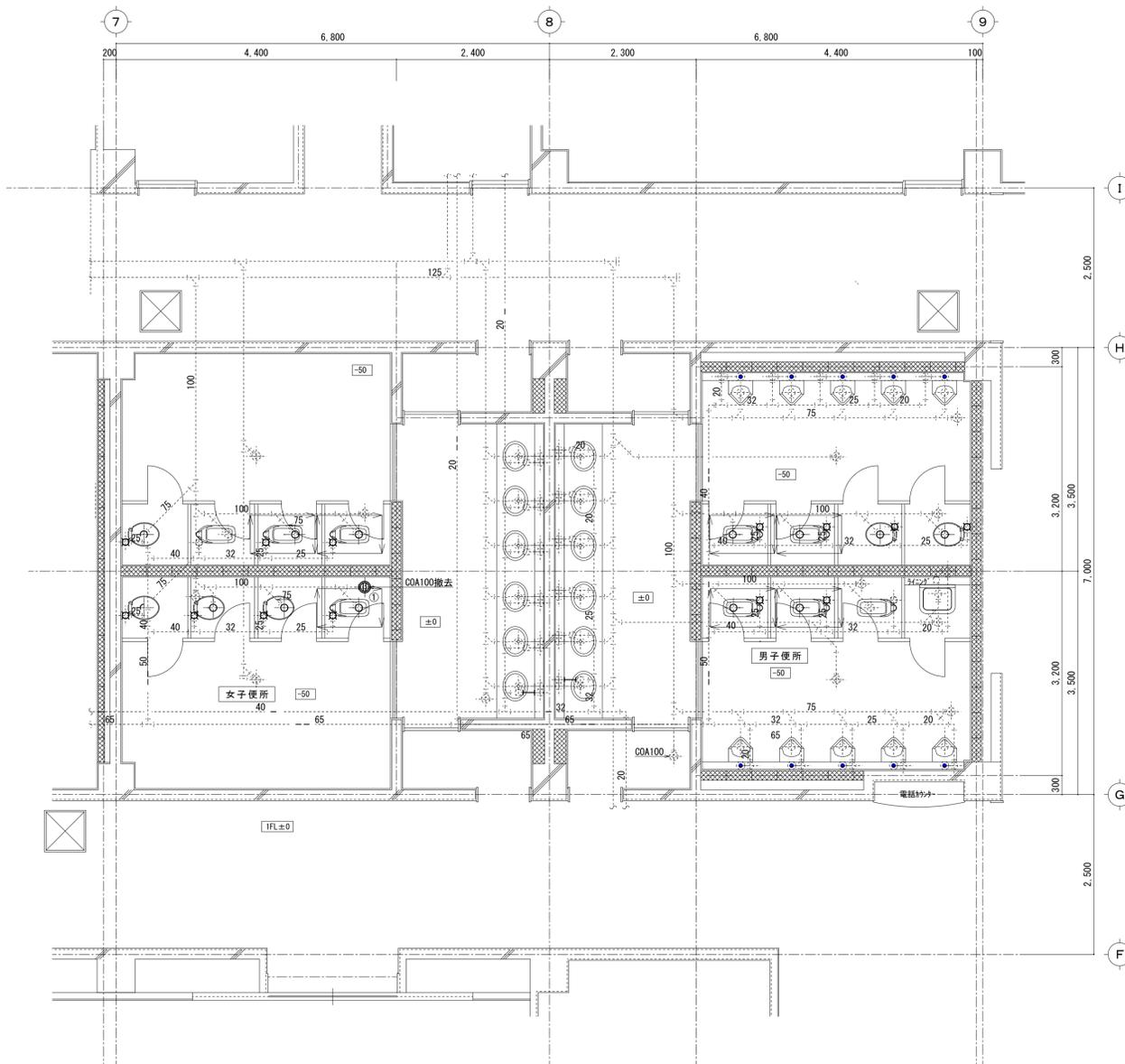
改修後2階平面図 S=1/200


 一級建築士事務所 (有) クボタ建築設計事務所  
 茨城県 第A2210号(2805)  
 建設大臣登録第210340号  
 一級建築士 久保田 吉文

設計 担当 製図

縮尺 S=1/200  
設計年月日 H30.

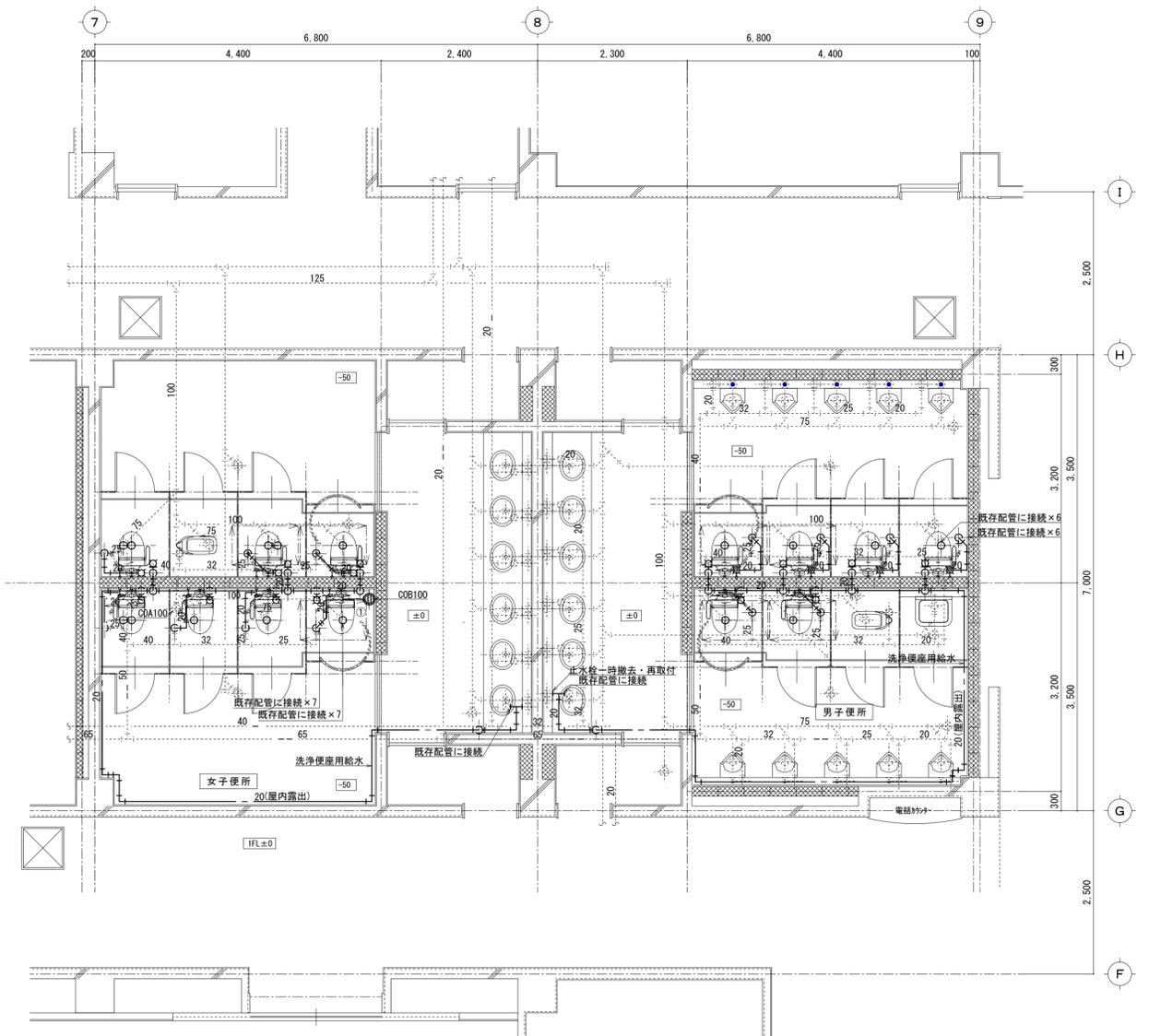
工事名称 平成30年度 石岡運動公園体育館改修工事  
 図面名称 給排水衛生設備 2階平面図(改修)



※実線部分を撤去工事とし、点線部分は既存設備を示す。

改修前 平面詳細図 S=1/50

① = 配管撤去に伴う床はつり (配管交換後床補修(防水)は建築工事)



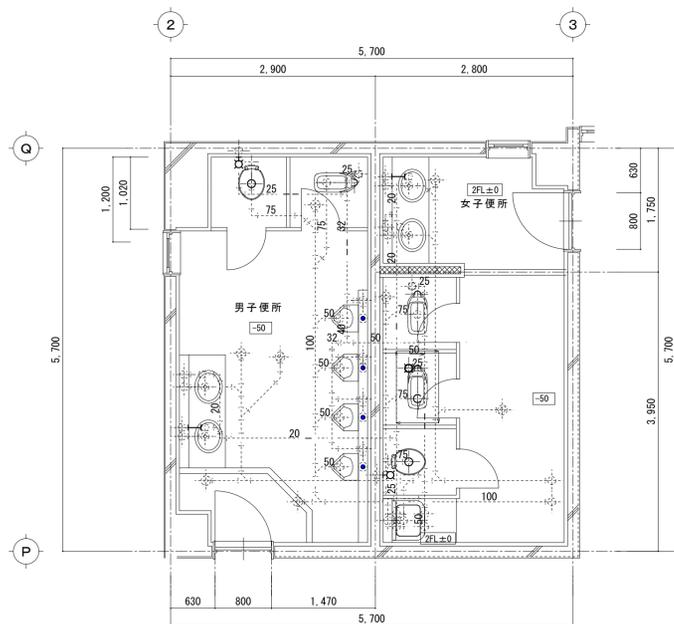
※実線部分を改修工事とし、点線部分は既存設備を示す。

※便器洗浄水は既存中水利用とし、  
洗浄便座用給水は既存上水系統より供給とする。

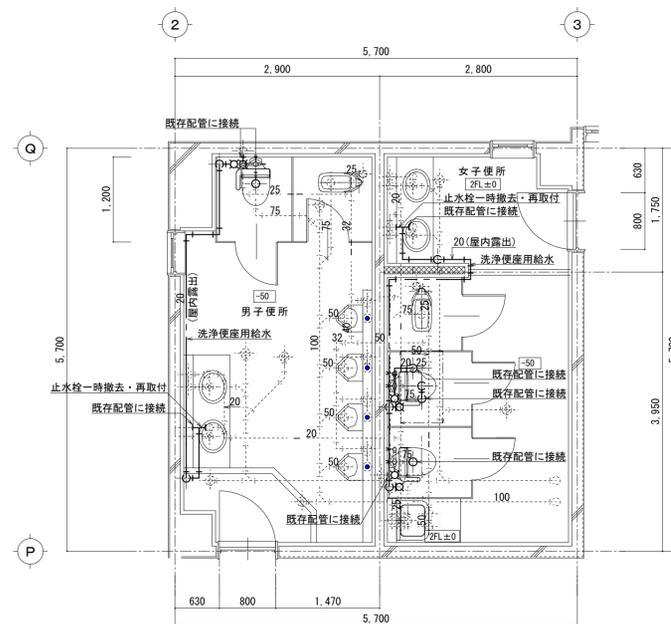
改修後 平面詳細図 S=1/50

① = 床コア抜150φ

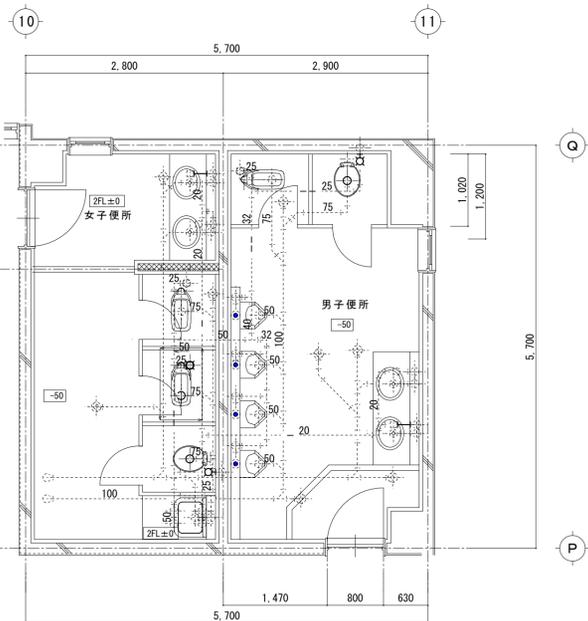
※ コンクリート床コア抜きは、鉄筋調査の上、コア抜きを行う事。



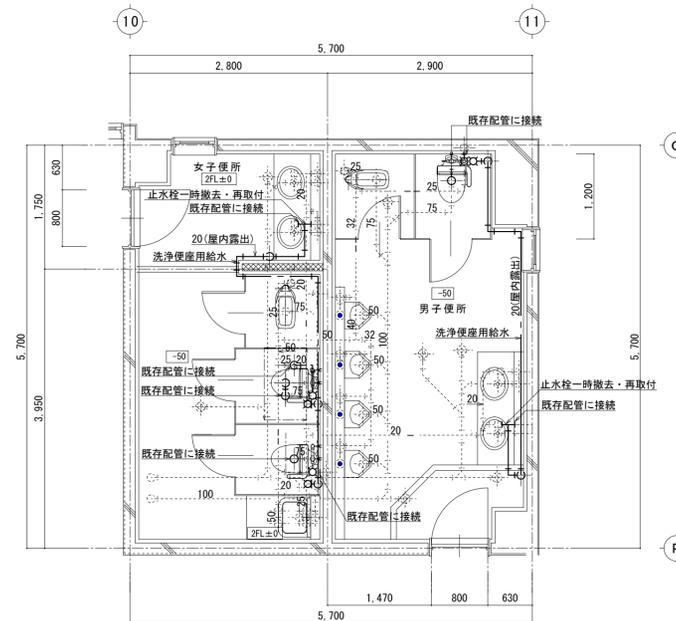
※実線部分を撤去工事とし、点線部分は既存設備を示す。  
2階便所(②~③通り)平面詳細図(撤去) S=1:50



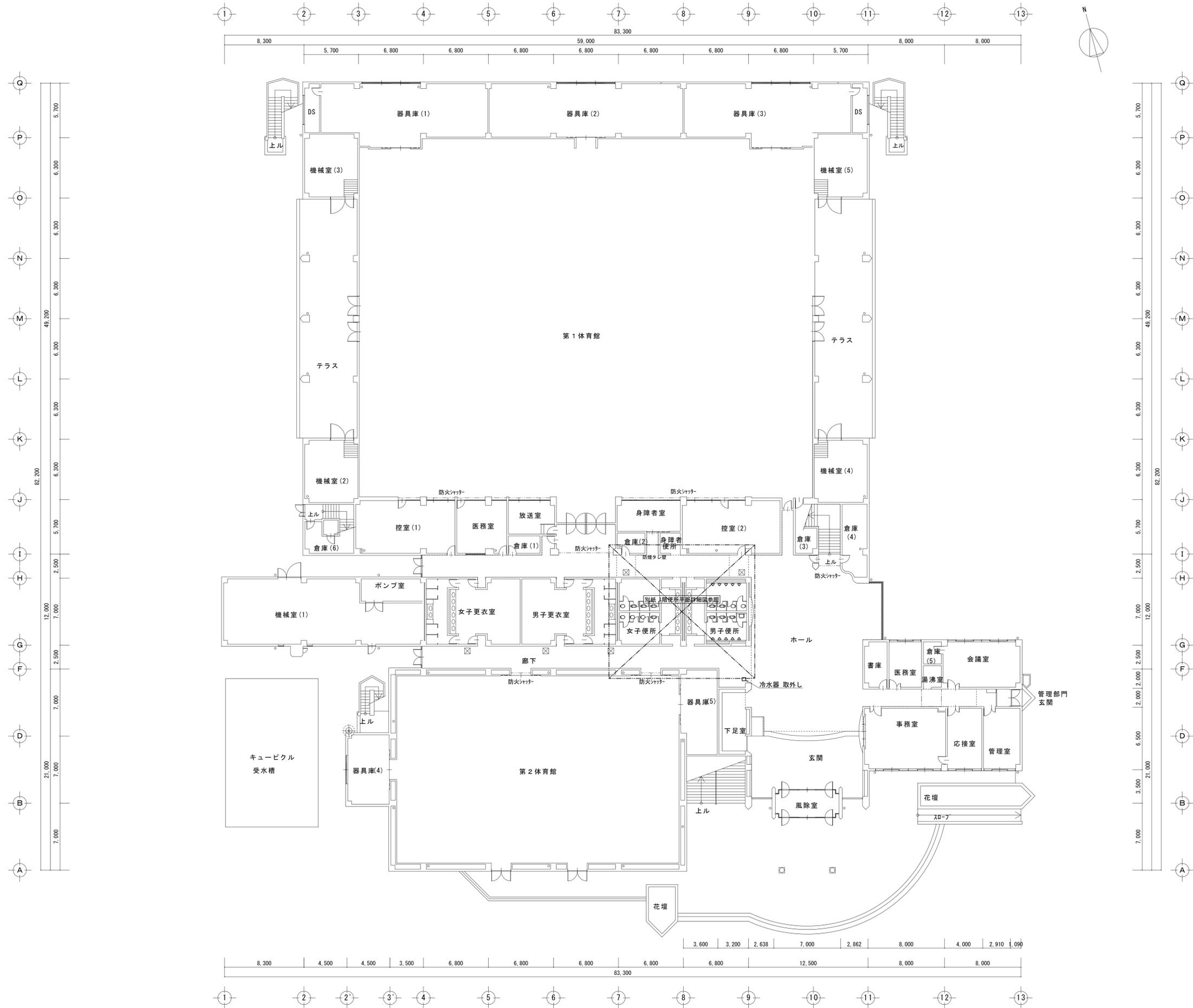
※実線部分を改修工事とし、点線部分は既存設備を示す。  
※便器洗浄水は既存中水利用とし、  
洗浄便座用給水は既存上水系統より供給とする。  
2階便所(②~③通り)平面詳細図(改修) S=1:50



※実線部分を撤去工事とし、点線部分は既存設備を示す。  
2階便所(⑩~⑪通り)平面詳細図(撤去) S=1:50



※実線部分を改修工事とし、点線部分は既存設備を示す。  
※便器洗浄水は既存中水利用とし、  
洗浄便座用給水は既存上水系統より供給とする。  
2階便所(⑩~⑪通り)平面詳細図(改修) S=1:50



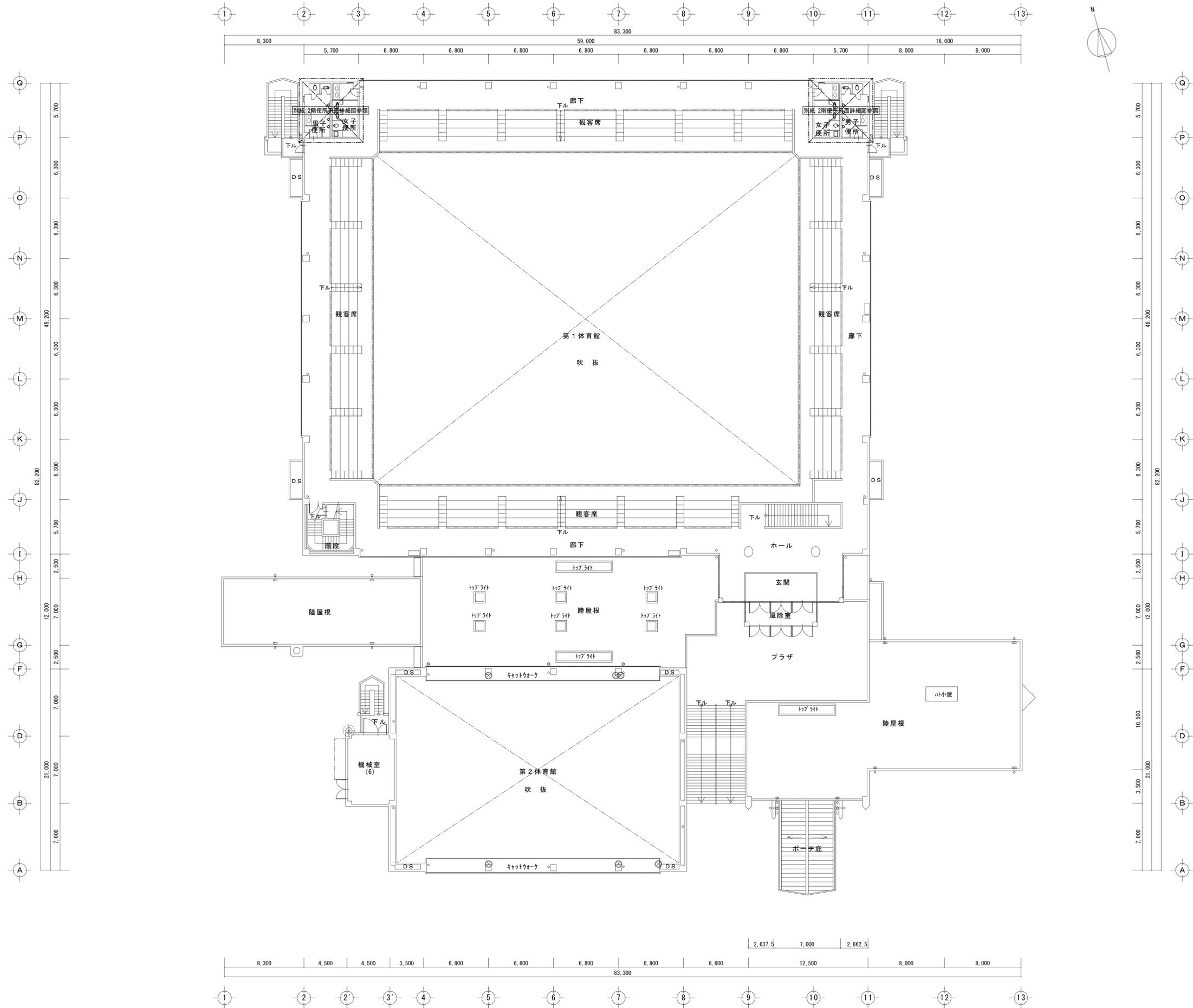
改修前1階平面図 S=1/200


 一級建築士事務所 (有)クボタ建築設計事務所  
 茨城県 第A2210号(2805)  
 建設大臣登録第210340号  
 一級建築士 久保田 吉文

設計担当製図

縮尺 S=1/200  
設計年月日 H30.

工事名称 平成30年度 石岡運動公園体育館改修工事  
 図面名称 給排水衛生設備 1階平面図(撤去)



改修前2階平面図 S=1/200


 一級建築士事務所 (有) クボタ建築設計事務所  
 茨城県 第A2210号(2805)  
 建設大臣登録第210340号  
 一級建築士 久保田 吉文

設計 担当 製図  
 縮尺 S=1/200  
 設計年月日 H30.

工事名称 平成30年度 石岡運動公園体育館改修工事  
 図面名称 給排水衛生設備 2階平面図(撤去)

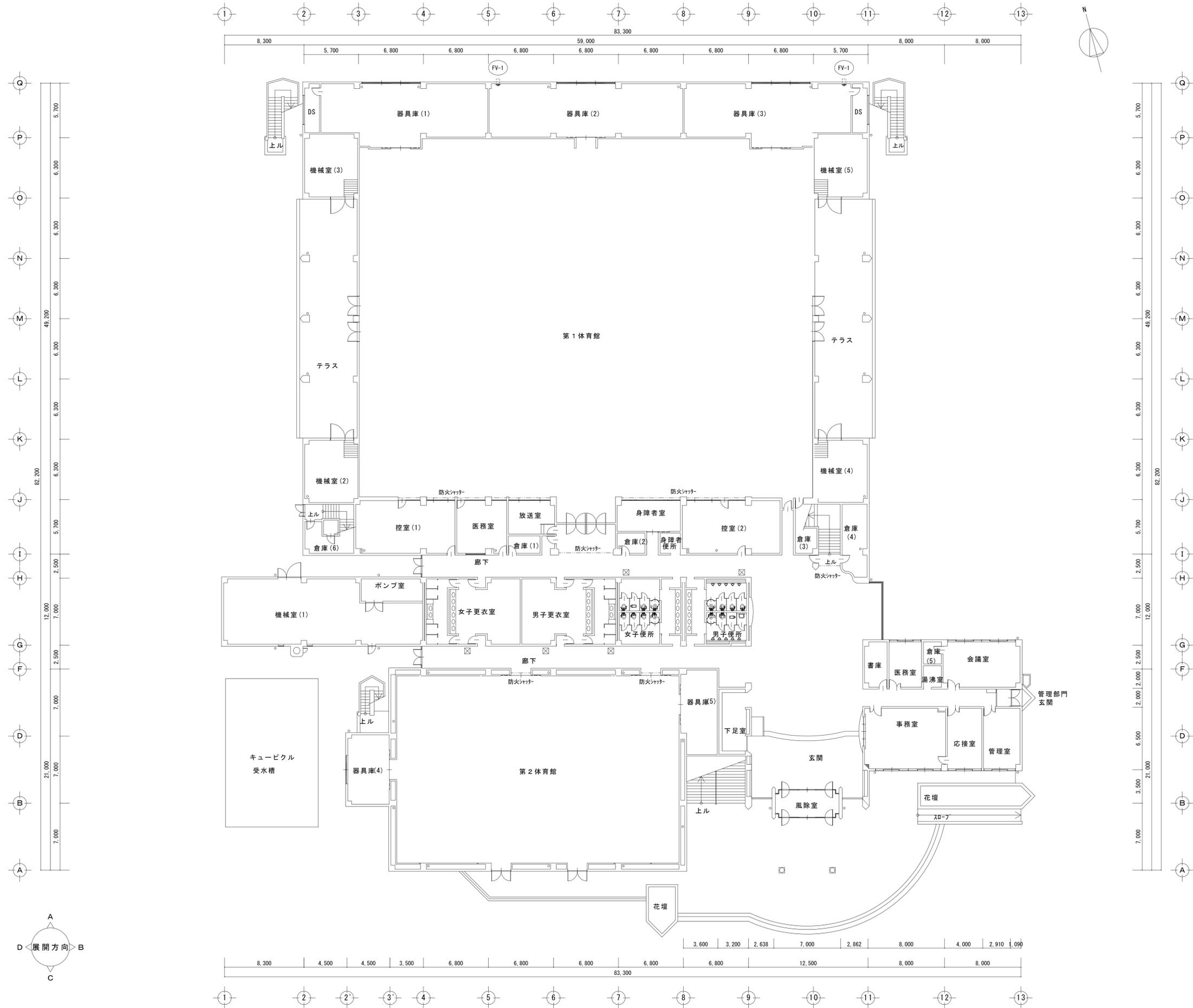
換気設備機器表（撤去）

記号	機器名称	室名	仕様	台数	出力		消費電力 w	支給 スイッチ	連動 運転	備考
					Φ-V	kw (fan)				
FV-1	有圧換気扇	1階 器具庫 (2) 1階 器具庫 (3)	低騒音形 能力 : 250Φ × 1000CMH その他 : シャッター付、他付属品一式共	1 1 計 2	3-200	0.025				

換気設備機器表（改修）

記号	機器名称	室名	仕様	台数	出力		消費電力 w	支給 スイッチ	連動 運転	備考 (参考型番・同等品以上とする)
					Φ-V	kw (fan)				
FV-1	有圧換気扇	1階 器具庫 (2) 1階 器具庫 (3)	低騒音形 能力 : 250Φ × 1000CMH × 20Pa その他 : 電動式シャッター (PS-25SMTA)、付属品一式	1 1 計 2	3-200	-	35.0			EWF-25ATA





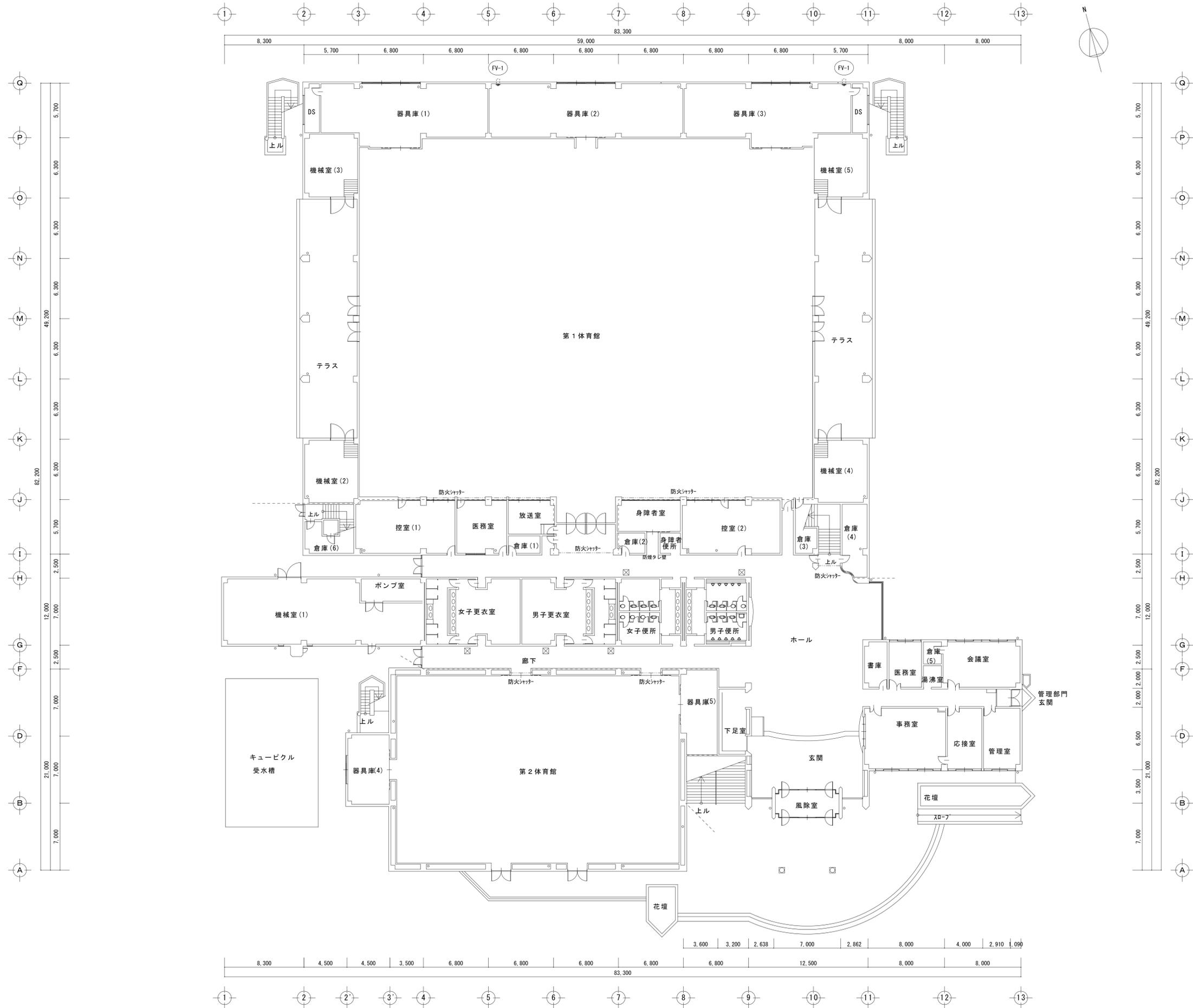
改修後1階平面図 S=1/200


 一級建築士事務所 (有)クボタ建築設計事務所  
 茨城県 第A2210号(2805)  
 建設大臣登録第210340号  
 一級建築士 久保田 吉文

設計担当製図

縮尺 S=1/200  
設計年月日 H30.

工事名称 平成30年度 石岡運動公園体育館改修工事  
 図面名称 換気設備 1階平面図(改修)



改修前1階平面図 S=1/200



一級建築士事務所 (有)クボタ建築設計事務所  
 茨城県 第A2210号(2805)  
 建設大臣登録第210340号  
 一級建築士 久保田 吉文

設計担当製図

縮尺  
 S=1/200  
 設計年月日  
 H30.

工事名称 平成30年度 石岡運動公園体育館改修工事  
 図面名称 換気設備 1階平面図(撤去)